

# 保健医療に関する県民意識調査結果

2017(平成29)年12月

和歌山県 福祉保健部 健康局

# 目次

|    |                         |    |
|----|-------------------------|----|
| I  | 「保健医療に関する県民意識調査」の概要     | 1  |
| II | 調査結果                    | 3  |
| 1  | 調査対象者の性別、年齢構成、居住地域等について | 3  |
| 2  | 医療に関して感じていることについて       | 10 |
| 3  | 医療機関への受診について            | 12 |
| 4  | 医薬品の使用について              | 18 |
| 5  | 医療費について                 | 24 |
| 6  | 救急医療について                | 26 |
| 7  | 小児医療について                | 31 |
| 8  | 「かかりつけ医」などについて          | 34 |
| 9  | 健康診断について                | 40 |
| 10 | 健康づくりについて               | 50 |
| 11 | がん対策について                | 56 |
| 12 | 「人生の最終段階における医療」について     | 72 |
| 13 | 地域の医療提供体制について           | 78 |
| 14 | 医療行政について                | 83 |
| 15 | 医療に関する意見について            | 86 |

# I 「保健医療に関する県民意識調査」の概要

|        |   |                           |
|--------|---|---------------------------|
| 調査目的   | 第七次和歌山県保健医療計画など、今後の保健医療行政推進の参考とするため、保健医療に関する県民の意識や希望を調査するもの                   |                           |
| 調査対象者  | 満20歳以上79歳以下の県民 4,000人   |                           |
| 抽出方法   | 住民基本台帳に基づき、市町村別・年齢層別は無作為抽出<br>(抽出基準日:平成29年6月1日)                               |                           |
| 調査期間   | 平成29年7月19日～平成29年8月4日<br>(ただし、調査期間終了後であっても、平成29年9月11日までに返信のあった回答については、集計に加えた。) |                           |
| 調査方法   | 調査票の郵送によるアンケート方式(設問数:55)  |                           |
| 調査状況   | 配布数   | 4,000(うち未達分を除く有効配布数3,982) |
|        | 回答数   | 2,093                     |
|        | 回収率   | 52.6%(=回答数/有効配布数)         |
| 調査実施機関 | 和歌山県  |                           |
| その他    | 回答の集計や分析等、一部業務を外部委託(受託事業者:株式会社貴志)   |                           |

## 【参考】男女別、年齢層別、保健医療圏別の回収率

| 男女別 |       |
|-----|-------|
| 男性  | 46.6% |
| 女性  | 57.4% |

| 年齢層別   |       |
|--------|-------|
| 20～29歳 | 33.4% |
| 30～39歳 | 40.1% |
| 40～49歳 | 41.7% |
| 50～59歳 | 52.4% |
| 60～64歳 | 62.4% |
| 65～69歳 | 70.3% |
| 70～74歳 | 70.1% |
| 75～79歳 | 63.5% |

| 保健医療圏別 |       |
|--------|-------|
| 和歌山    | 50.7% |
| 那賀     | 50.8% |
| 橋本     | 53.5% |
| 有田     | 53.7% |
| 御坊     | 53.3% |
| 田辺     | 52.7% |
| 新宮     | 46.2% |

(注) 男女別、年齢層別、保健医療圏別の回収率は、性別、年齢、居住市町村の各項目において無回答の方がいる等の理由により、以下の式により算出

<例1> 男性の場合(…女性の場合も同様に算出)

回収率=男性からの回答数(性別を明記した回答に限る)/男性への配布数(未達分含む)

<例2> 20～29歳の場合(…他の年齢層の場合も同様に算出)

回収率=20歳代の方からの回答数(年齢層を明記した回答に限る)/20歳代の方への配布数(未達分含む)

<例3> 和歌山圏域の場合(…他の圏域の場合も同様に算出)

回収率=和歌山圏域における回答数(居住市町村を明記した回答に限る)/和歌山圏域に居住する方への配布数(未達分含む)

## 調査結果の見方

### 1 回答者の居住地について

- 回答者の居住地については、第六次和歌山県保健医療計画における二次保健医療圏(※)を単位として整理しています。
- 各二次保健医療圏の構成市町村は、以下のとおりです。

| 二次保健医療圏名 | 和歌山保健医療圏            | 那賀保健医療圏     | 橋本保健医療圏                     | 有田保健医療圏                   | 御坊保健医療圏                                 | 田辺保健医療圏                            | 新宮保健医療圏                                   |
|----------|---------------------|-------------|-----------------------------|---------------------------|---|------------------------------------|---|
| 構成市町村    | 和歌山市<br>海南市<br>紀美野町 | 紀の川市<br>岩出市 | 橋本市<br>かつらぎ町<br>九度山町<br>高野町 | 有田市<br>湯浅町<br>広川町<br>有田川町 | 御坊市<br>美浜町<br>日高町<br>由良町<br>印南町<br>日高川町 | 田辺市<br>みなべ町<br>白浜町<br>上富田町<br>すさみ町 | 新宮市<br>那智勝浦町<br>太地町<br>古座川町<br>北山村<br>串本町 |

(※) 医療法第30条の4第2項第12号の規定に基づき設定するもので、入院を中心とする一般的な医療サービスと、広域的・専門的な保健医療サービスを提供するための圏域です。(地理的条件や交通事情等を考慮のうえ設定)

### 2 グラフの形式等について

- 単数回答の設問については、男女別、年齢層別、保健医療圏別に構成比をグラフで示しています(県全体の構成比も各グラフ中に表示)。
- 複数回答の設問については、県全体の構成比のみグラフで示し、男女別、年齢層別、保健医療圏別の構成比は、上位3項目のみ表形式で示しています。
- 各設問の標本数(回答者数)は、グラフ中に「N=●●」と表示していますが、性別、年齢、居住市町村の各項目において無回答の方がいる関係上、男女別の標本数の合計、年齢層別の標本数の合計、保健医療圏別の標本数の合計は、いずれも県全体の標本数と一致しません。

### 3 回答の構成比について

- 回答の構成比は、四捨五入により小数第1位までの表示としています。
- 単数回答の設問のグラフにおいては、表示が煩雑となるため、3.0%未満の構成比を非表示としています(3.0%未満の数値を確認されたい場合は、巻末の「資料1 集計表」をご覧ください)。また、四捨五入により、構成比の合計が100%とならない場合があります。
- 複数回答の設問のグラフにおいては、構成比の合計が100%を超えます。

### 4 自由回答の内容等について

- 自由回答(問7及び問55)の内容については、主なものを抜粋して記載しています。
- 選択式の設問において「その他」を選択した場合には、その具体的な内容を記載いただいておりますが、当該内容については、巻末の「資料1 集計表」において、主なものを抜粋して記載しています。

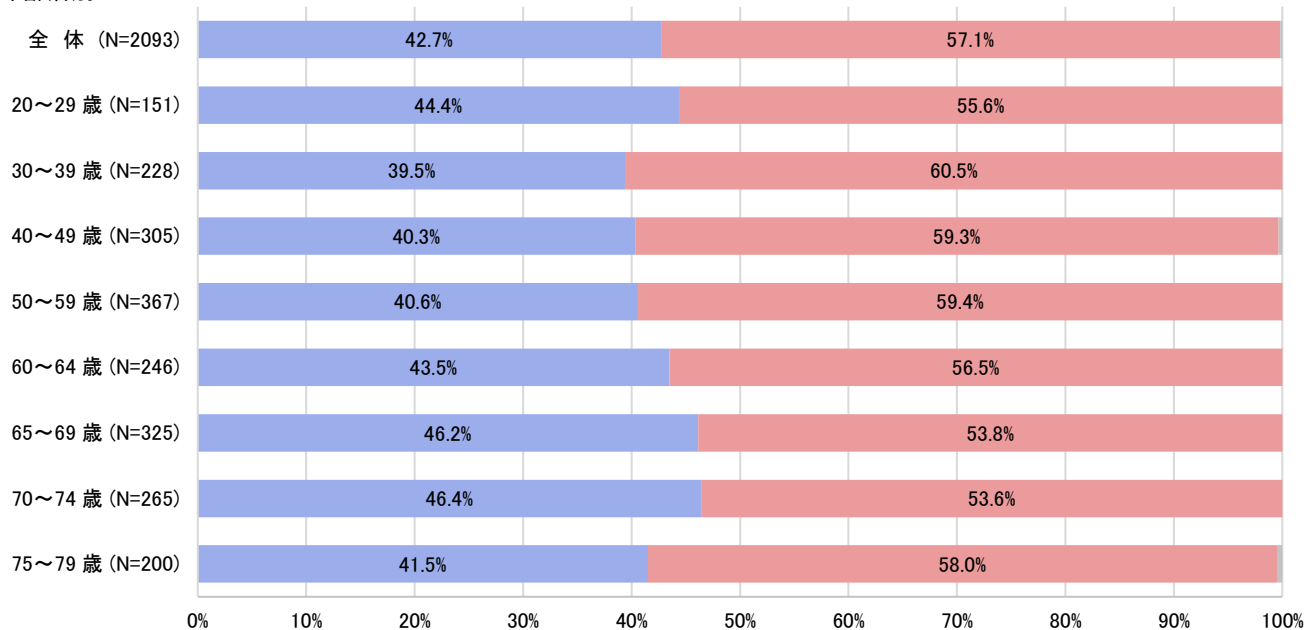
## Ⅱ 調査結果

### 1 調査対象者の性別、年齢構成、居住地域等について

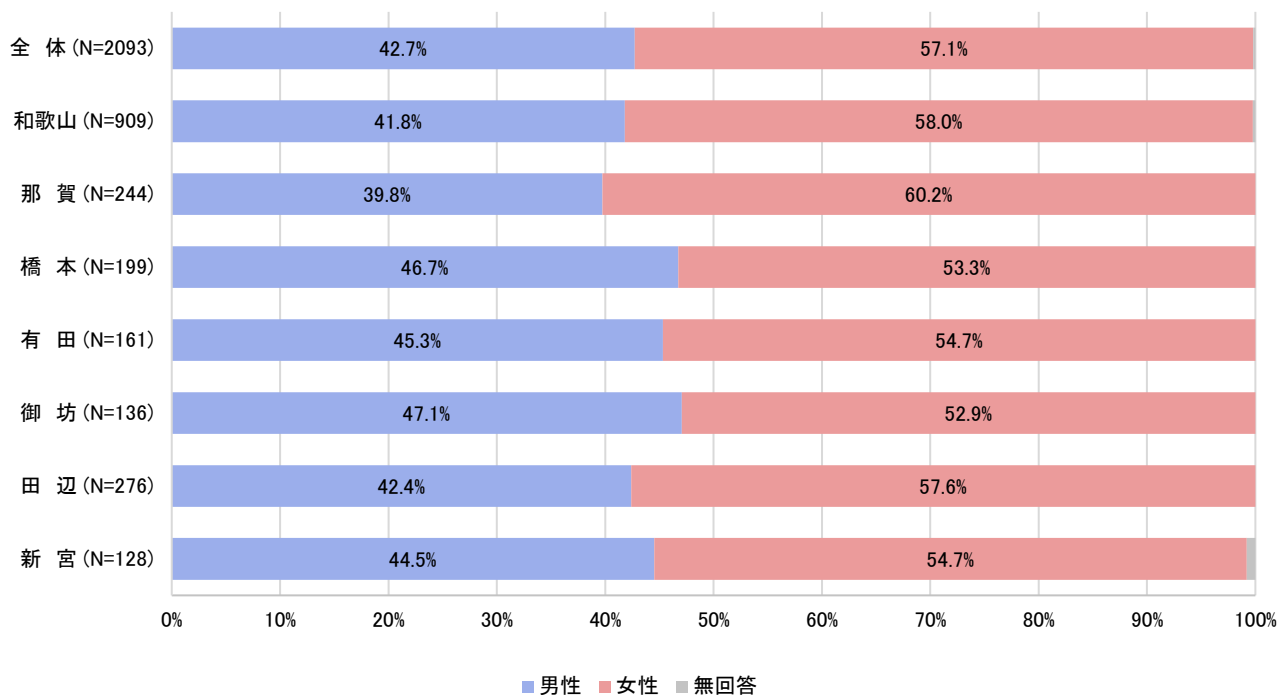
問1 あなたの性別を、お答えください。

- 男女別の構成比は、全ての年齢層及び保健医療圏において、男性より女性の方が多くなっています。
- 全体の構成比は、男性が42.7%、女性が57.1%となっています。

#### 年齢層別



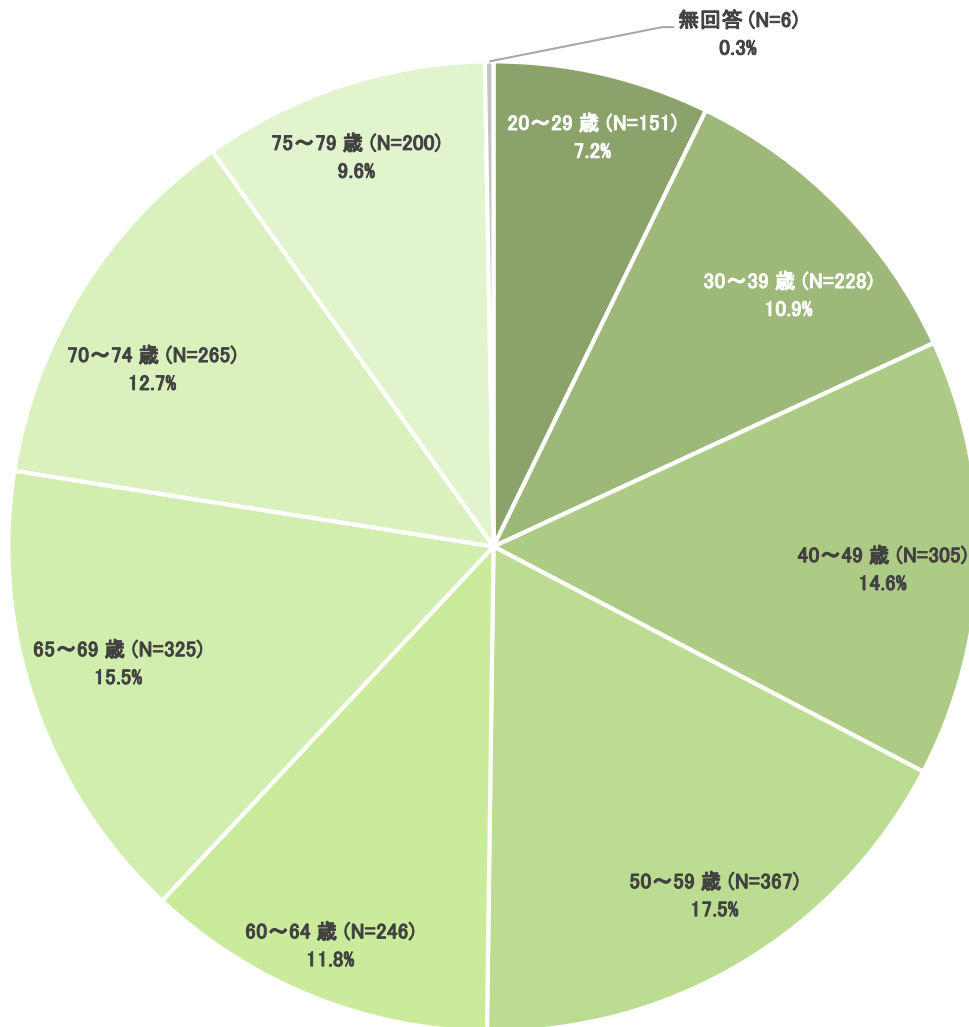
#### 保健医療圏別



■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答

問2 あなたの満年齢(平成29年6月1日現在)を、お答えください。

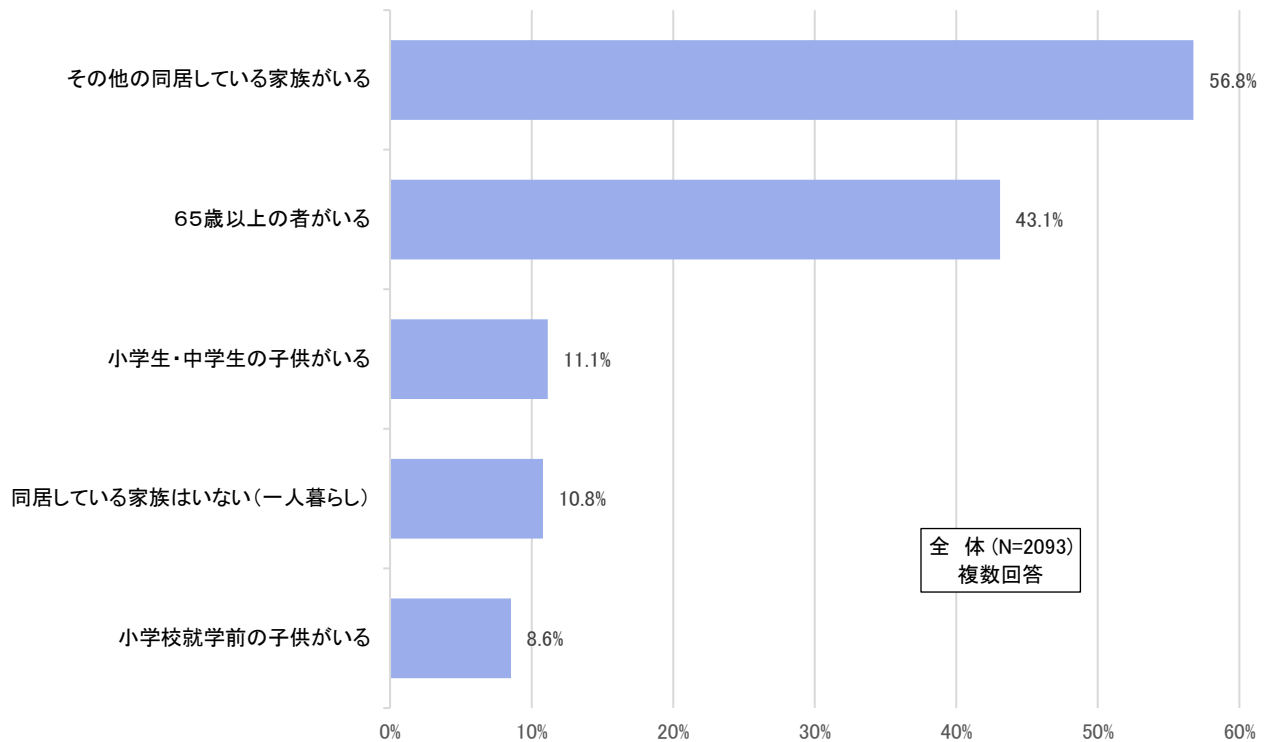
○ 回答者の年齢層は、60歳代が最も多く、以下、70歳代、50歳代となっており、最も少ないのは20歳代となっています。



問3 現在同居されているご家族について、あてはまるものを全てお選びください。

○ 同居家族については、「その他の同居している家族(注)がいる」(56.8%)が最も多く、次いで「65歳以上の者がいる」(43.1%)となっています。

(注) この設問における「その他の同居している家族」とは、「小学校就学前の子供」「小学生・中学生の子供」「65歳以上の者」を除く家族をいいます。



### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                 | 2位    |            | 3位    |                         |
|----------------|-------|-----------------|-------|------------|-------|-------------------------|
|                | 割合(%) | 項目              | 割合(%) | 項目         | 割合(%) | 項目                      |
| 男性<br>(N=894)  | 59.6  | その他の同居している家族がいる | 44.1  | 65歳以上の者がいる | 10.3  | 小学生・中学生の子どもがいる          |
| 女性<br>(N=1195) | 54.8  | その他の同居している家族がいる | 42.4  | 65歳以上の者がいる | 12.2  | 同居している家族はいない<br>(一人暮らし) |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                 | 2位    |                 | 3位    |                         |
|--------------------|-------|-----------------|-------|-----------------|-------|-------------------------|
|                    | 割合(%) | 項目              | 割合(%) | 項目              | 割合(%) | 項目                      |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 75.5  | その他の同居している家族がいる | 23.8  | 65歳以上の者がいる      | 17.9  | 小学校就学前の子どもがいる           |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 54.8  | その他の同居している家族がいる | 37.7  | 小学校就学前の子どもがいる   | 26.8  | 65歳以上の者がいる              |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 53.1  | その他の同居している家族がいる | 36.1  | 小学生・中学生の子どもがいる  | 33.1  | 65歳以上の者がいる              |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 75.2  | その他の同居している家族がいる | 35.1  | 65歳以上の者がいる      | 7.6   | 同居している家族はいない<br>(一人暮らし) |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 66.7  | その他の同居している家族がいる | 41.5  | 65歳以上の者がいる      | 8.1   | 同居している家族はいない<br>(一人暮らし) |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 57.8  | 65歳以上の者がいる      | 52.3  | その他の同居している家族がいる | 13.8  | 同居している家族はいない<br>(一人暮らし) |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 66.0  | 65歳以上の者がいる      | 37.0  | その他の同居している家族がいる | 14.3  | 同居している家族はいない<br>(一人暮らし) |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 53.5  | 65歳以上の者がいる      | 38.5  | その他の同居している家族がいる | 26.5  | 同居している家族はいない<br>(一人暮らし) |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

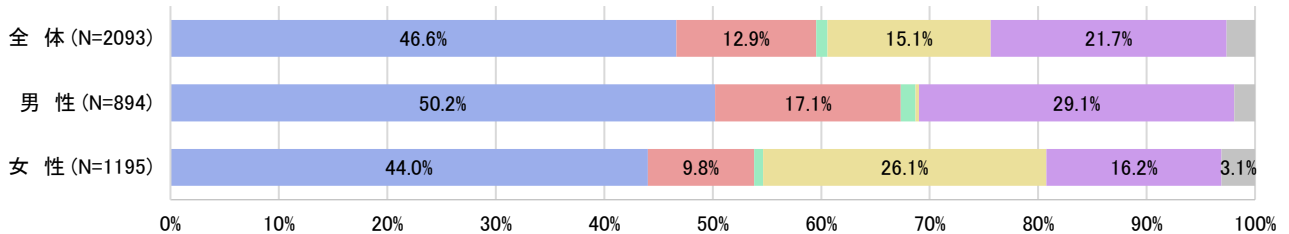
| 保健医療圏          | 1位    |                 | 2位    |            | 3位    |   |
|----------------|-------|-----------------|-------|------------|-------|---|
|                | 割合(%) | 項目              | 割合(%) | 項目         | 割合(%) | 項目  |
| 和歌山<br>(N=909) | 56.0  | その他の同居している家族がいる | 40.2  | 65歳以上の者がいる | 12.2  | 同居している家族はいない<br>(一人暮らし)                   |
| 那賀<br>(N=244)  | 57.0  | その他の同居している家族がいる | 42.6  | 65歳以上の者がいる | 10.2  | 小学生・中学生の子どもがいる<br>同居している家族はいない<br>(一人暮らし) |
| 橋本<br>(N=199)  | 66.3  | その他の同居している家族がいる | 44.7  | 65歳以上の者がいる | 13.1  | 小学生・中学生の子どもがいる                            |
| 有田<br>(N=161)  | 59.0  | その他の同居している家族がいる | 50.3  | 65歳以上の者がいる | 14.9  | 小学生・中学生の子どもがいる                            |
| 御坊<br>(N=136)  | 55.1  | その他の同居している家族がいる | 50.7  | 65歳以上の者がいる | 14.7  | 小学生・中学生の子どもがいる                            |
| 田辺<br>(N=276)  | 55.8  | その他の同居している家族がいる | 43.8  | 65歳以上の者がいる | 12.7  | 小学生・中学生の子どもがいる                            |
| 新宮<br>(N=128)  | 50.0  | その他の同居している家族がいる | 43.8  | 65歳以上の者がいる | 12.5  | 同居している家族はいない<br>(一人暮らし)                   |



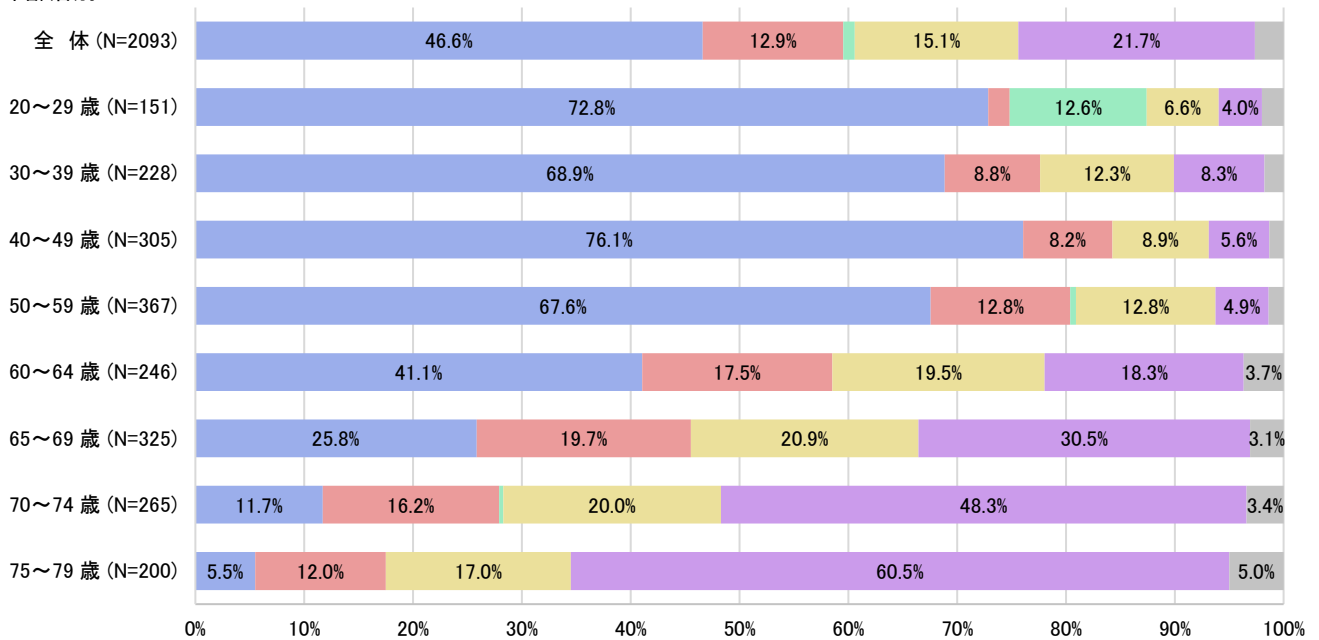
問4 あなたのご職業は何ですか。

○ 回答者の職業については、全体では「勤め人(臨時・パート・アルバイトも含む)」(46.6%)が最も多くなっており、以下「その他、無職」(21.7%)、「家事専業」(15.1%)が続いています。

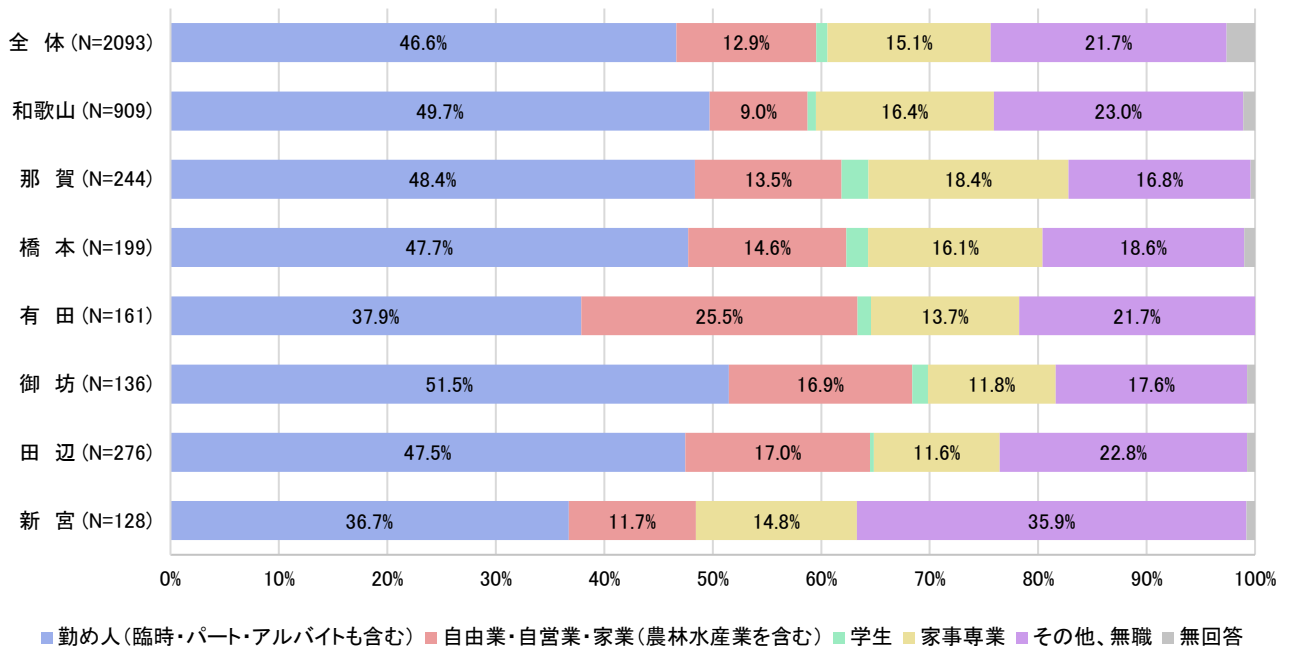
男女別



年齢層別



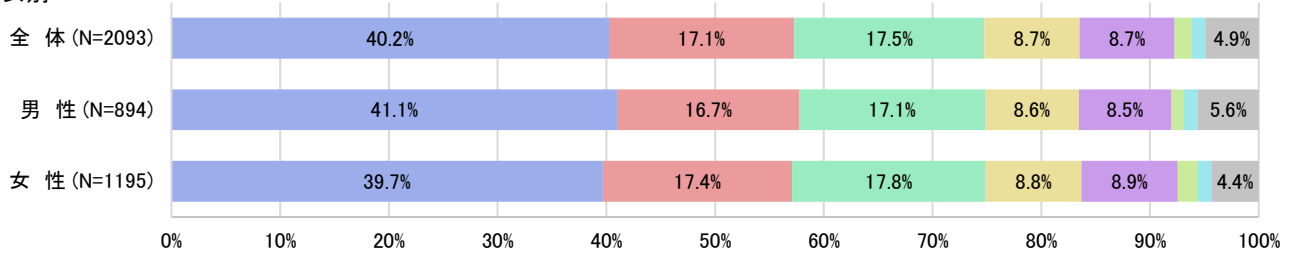
保健医療圏別



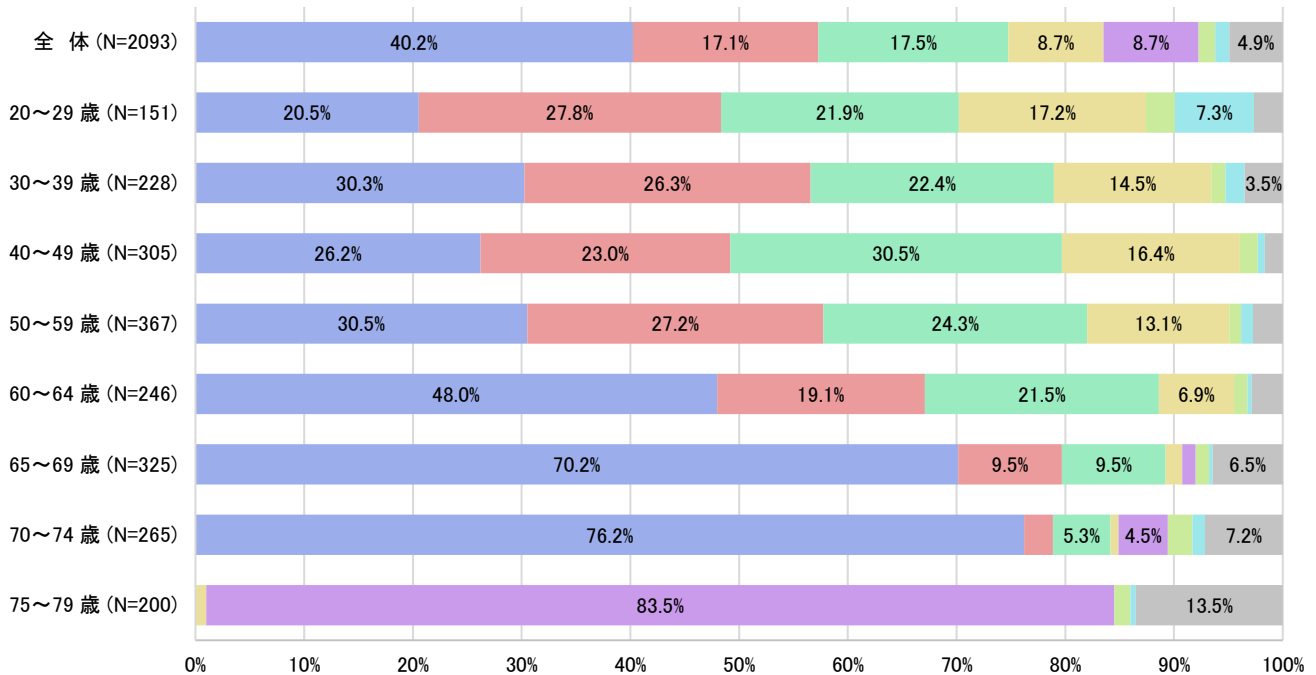
問5 あなたが現在加入している医療保険は、次のどれですか。

○ 加入している医療保険は、全体では「国民健康保険」(40.2%)が最も多く、以下「全国健康保険協会(協会けんぽ)」(17.5%)、「健康保険組合」(17.1%)が続いています。

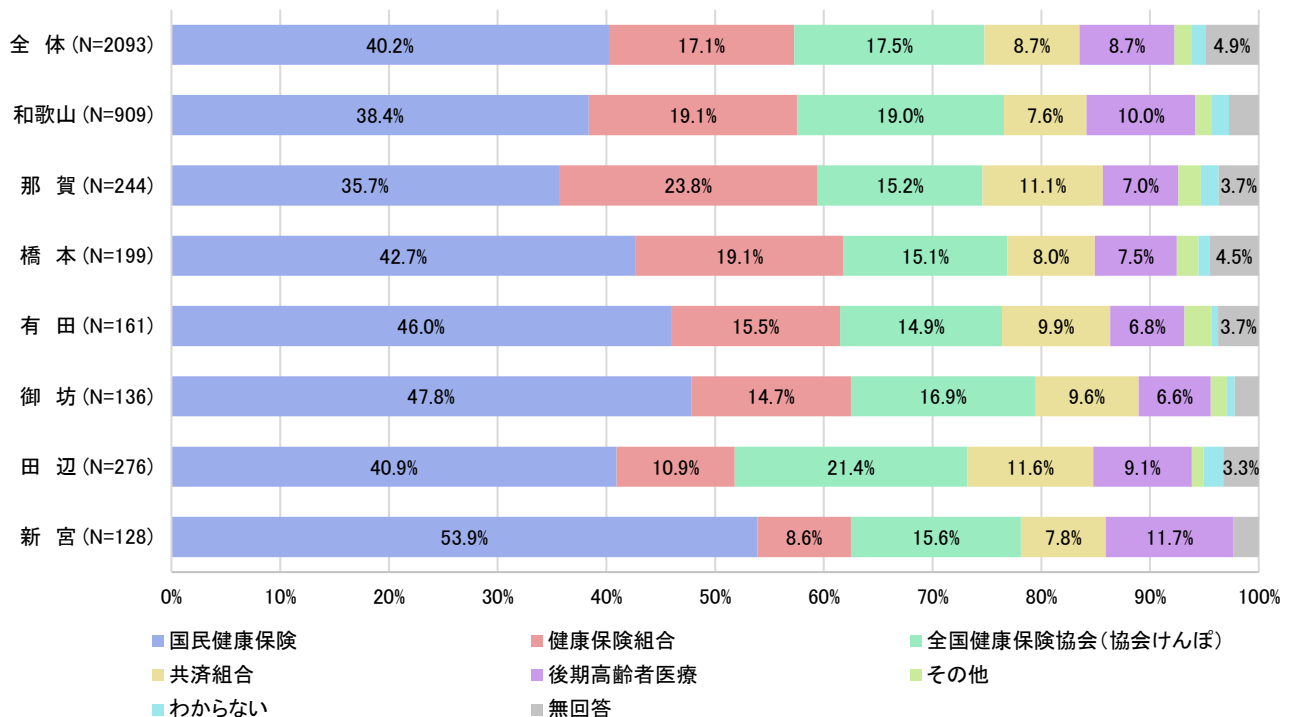
男女別



年齢層別

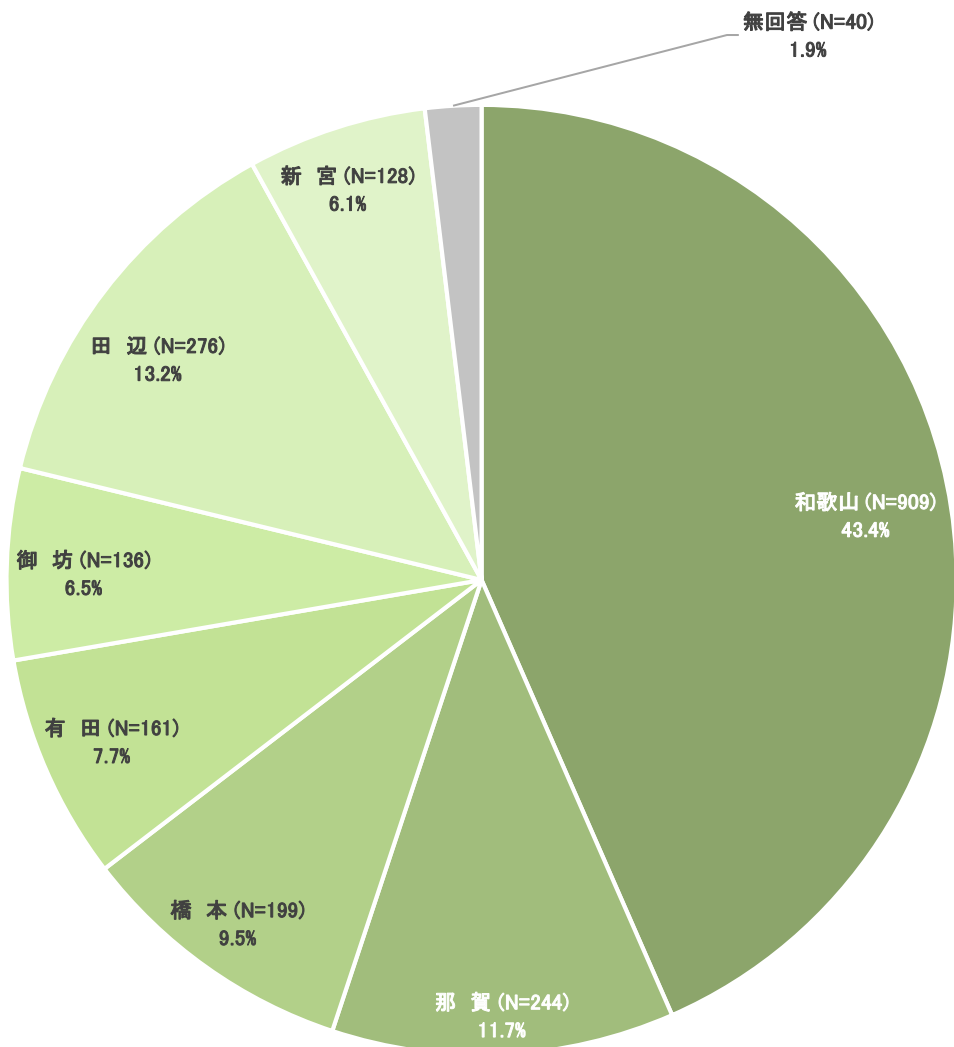


保健医療圏別



問6 あなたのお住まいの市町村を、お答えください。

○ 回答者の居住地(保健医療圏別)については、和歌山圏域(43.4%)が最も多く、以下、田辺圏域(13.2%)、那賀圏域(11.7%)が続いており、最も少ないのは新宮圏域(6.1%)となっています。



## 2 医療に関して感じていることについて

問7 医療に関して日頃から感じていることについて、ご自由にお書きください。〈主なものを抜粋〉

### ○ 医療機関に関すること

- ・ 田舎に住んでおり自宅から医療機関まで距離があり、診療科も少ないので心配だ。
- ・ 身近に診療所がなくて困っている。自宅近くに診療所が欲しい。
- ・ 仕事の関係などで平日の受診が難しく、土日に受診できればありがたい。
- ・ 平日の午後や夜間にも診察していただければありがたい。
- ・ 耳鼻科、皮膚科、産婦人科などが身近に無いので不便だ。
- ・ 紀南地方の医療体制が不十分であり、例えば小児科や産婦人科が不足している。
- ・ 医療の地域格差(都市と地方)を感じている。
- ・ 金銭的負担、また身体的負担を軽減するためにも、複数の医療機関間で電子カルテを共有するなど、検査や撮影などを重複して受けずに済むようにしてほしい。
- ・ 診察を受けるまでの待ち時間が長いので、困る。常に混んでいると思う。
- ・ 待ち時間が長い一方で、診療時間が短い。もっと時間をかけて診察してほしい。
- ・ 「セカンド・オピニオン」(※)についてもさらに充実を求めたい。

### ○ 医療従事者に関すること

- ・ 地域の病院などの医師が少なくなってきたのではないかと感じている。
- ・ 医師や看護師など、医療従事者のさらなるレベルアップを望んでいる。(個々人により、差があるように感じる)
- ・ 医師や看護師の労働時間や勤務体系が過酷であり、問題ではないのか。
- ・ 派遣医師が増えており、特定の曜日にしかその医師がいなかったりするので不便だ。
- ・ かかりつけ医を見つけるのが難しい。

### ○ 医療費に関すること

- ・ 医療費の負担が大きいので、自己負担を下げしてほしい。
- ・ 子どもの医療費自己負担が無料でありありがたい。対象年齢の引き上げを期待。
- ・ 初診料・再診料が高いと思う。
- ・ 医療費のみならず、介護保険料も高く負担に感じている。
- ・ 介護保険料や国保料なども高いので、負担に感じる。

### ○ 救急医療に関すること

- ・ 救急医療を要する際には、どんな状況でもたらい回しはやめてほしい。
- ・ 地域的に医療機関との距離があり、緊急時に時間を要するので心配している。
- ・ 急病の際にはとりわけ、待ち時間を辛く感じる。早急に対応してほしい。

### ○ 検診・予防・健康づくり等に関すること

- ・ がん検診の機会を増やしてほしい。市町村の検診等をさらに充実してほしい。
- ・ がんを早期発見するためにも、人間ドックの自己負担を軽減してほしい。
- ・ 日頃から生活習慣病等には気をつけている。病気にならない知識を次世代等に広げていくことも大事だ。

○ 医薬品に関して

- ・ 薬に係る自己負担額が高い。また、安易に薬を出し過ぎではないのかと感じる。
- ・ ジェネリック医薬品をさらに充実してほしい。
- ・ 個人に出される薬を把握できる体制を確立してほしい。

○ 行政に感じていること

- ・ 地域の自治体立病院の充実を図ってほしい。
- ・ どの科を受診すればよいのかがよく分からないので、総合窓口を設けてほしい。
- ・ へき地や過疎地域においても安心して医療を受けられるようにしてほしい。
- ・ 難病者や障害者に対する医療の充実を望む。

○ その他

- ・ 高齢者は安易に病院に行きすぎるのではないか。その一方で、子供に対する医療費助成が不足しているように思う。
- ・ 「延命治療」は見直すべきではないか、と思う。

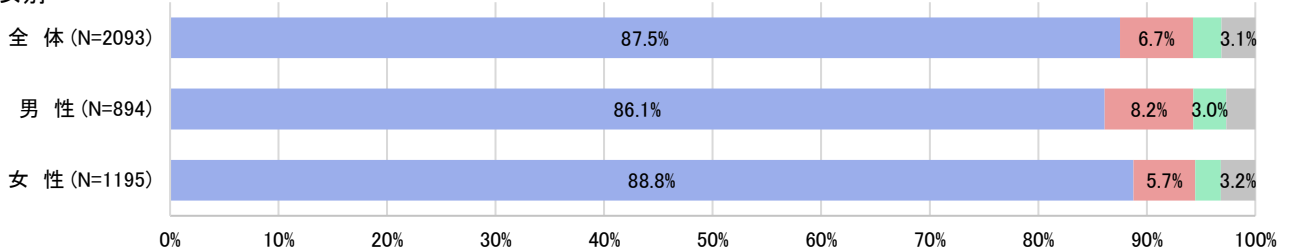
(※) 「セカンド・オピニオン」とは、治療法を決定するなどの際に、主治医以外の医師の意見を聞く方法をいいます。

### 3 医療機関への受診について

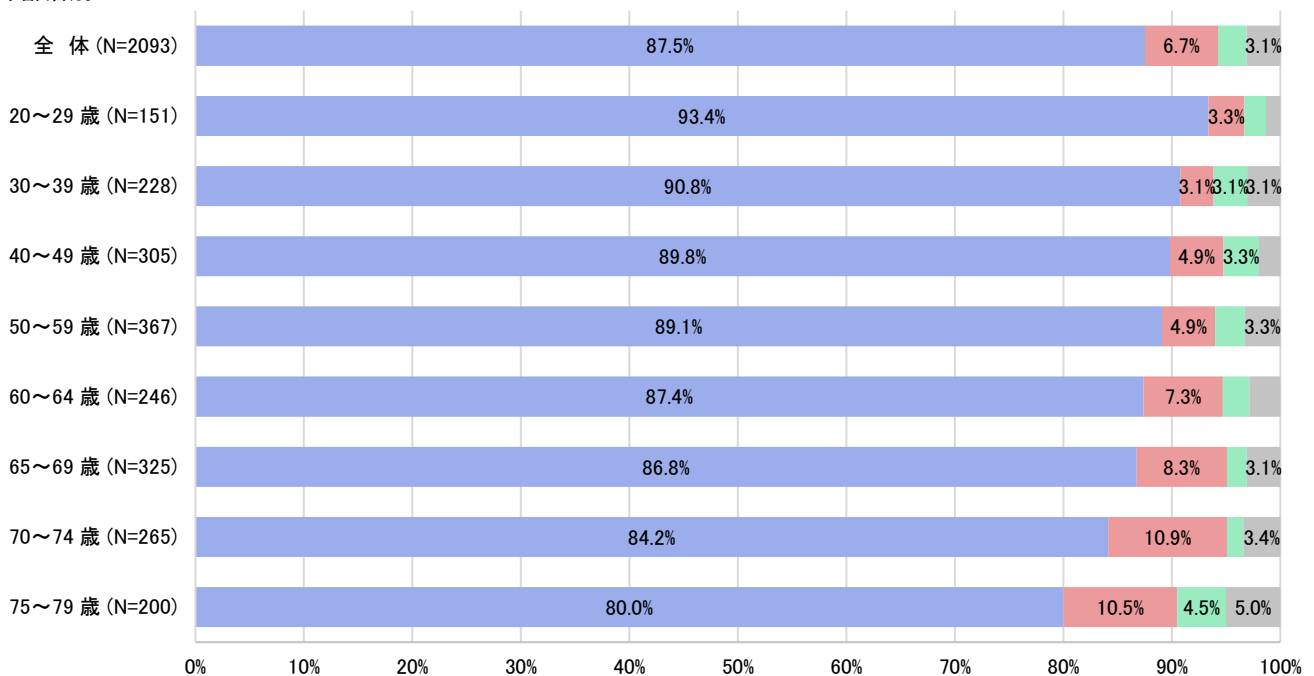
問8 あなたが、医療機関が診察している時間帯に、体調が少し悪く(発熱や腹痛等)医師に診てもらいたいと思ったとき、どうしますか。

- 医療機関が診察している時間帯で、体調が少し悪い程度であれば、「身近な診療所(医院、クリニック)へ行く」との回答が、全体の9割近くを占めています。
- 男女別、年齢層別、保健医療圏別に見た場合でも、概ね同様の傾向です。

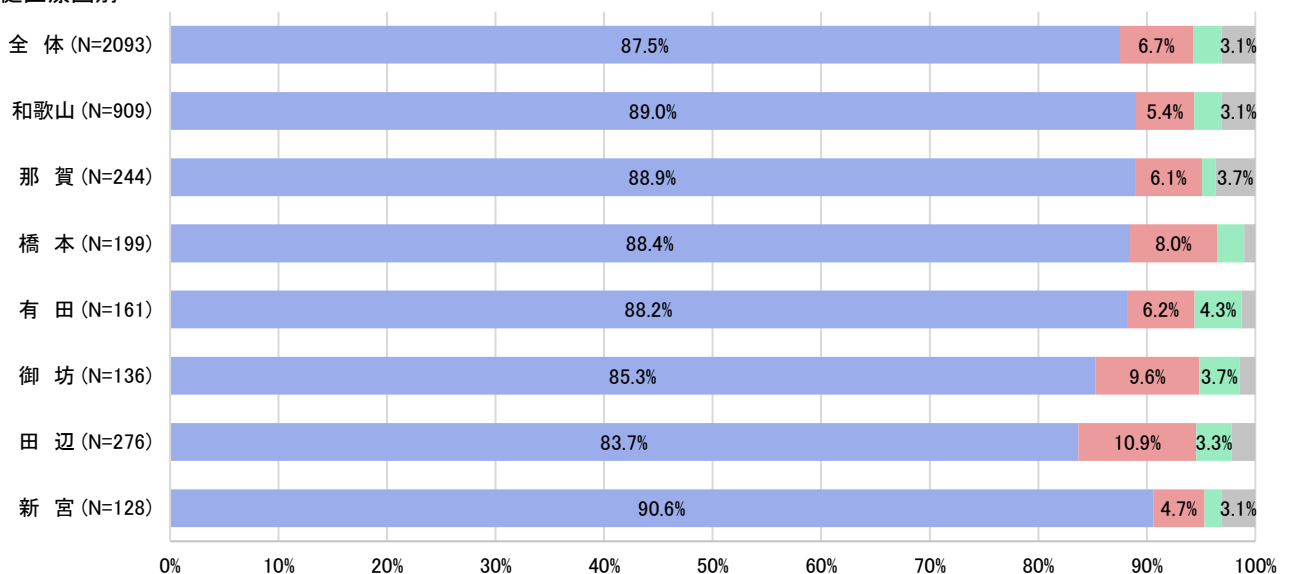
#### 男女別



#### 年齢層別



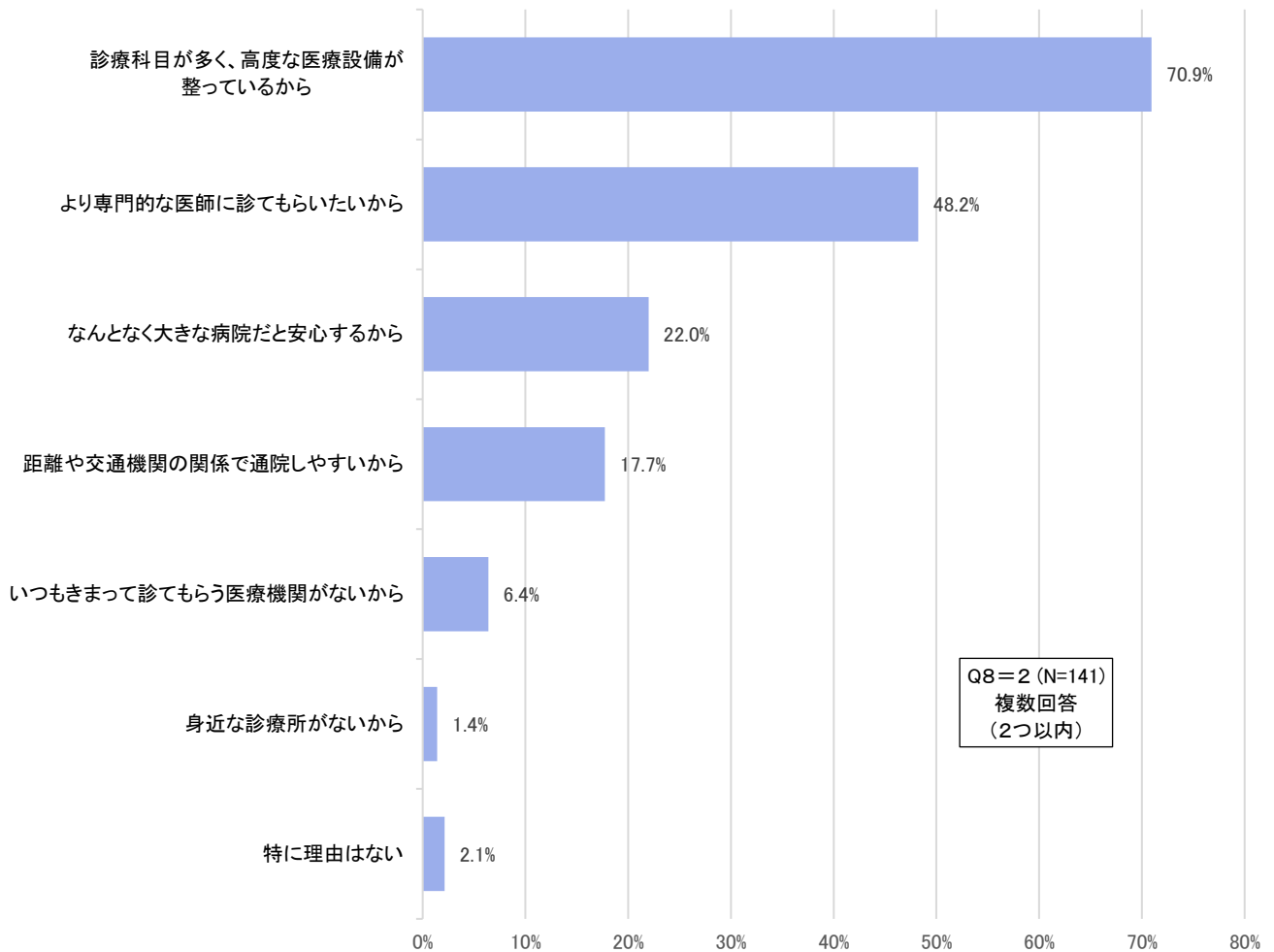
#### 保健医療圏別



■ 身近な診療所(医院、クリニック)へ行く ■ なるべく大きな病院へ行く ■ その他 ■ 無回答

問9 問8で「②なるべく大きな病院へ行く」と回答した方にお尋ねします。その理由は、なぜですか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- 問8で「②なるべく大きな病院へ行く」と回答した理由としては、「診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから」(70.9%)が最も多く、以下「より専門的な医師に診てもらいたいから」(48.2%)、「なんとなく大きな病院だと安心するから」(22.0%)が続いています。



男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別         | 1位    |                         | 2位    |                    | 3位    |                    |
|--------------|-------|-------------------------|-------|--------------------|-------|--------------------|
|              | 割合(%) | 項目                      | 割合(%) | 項目                 | 割合(%) | 項目                 |
| 男性<br>(N=73) | 76.7  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 53.4  | より専門的な医師に診てもらいたいから | 19.2  | なんとなく大きな病院だと安心するから |
| 女性<br>(N=68) | 64.7  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 42.6  | より専門的な医師に診てもらいたいから | 25.0  | なんとなく大きな病院だと安心するから |

年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層               | 1位    |                         | 2位    |  | 3位    |                       |
|-------------------|-------|-------------------------|-------|--|-------|-----------------------|
|                   | 割合(%) | 項目                      | 割合(%) | 項目                                       | 割合(%) | 項目                    |
| 20～29 歳<br>(N=5)  | 60.0  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 40.0  | より専門的な医師に診てもらいたいから<br>なんとなく大きな病院だと安心するから |       |                       |
| 30～39 歳<br>(N=7)  | 57.1  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 42.9  | なんとなく大きな病院だと安心するから                       | 28.6  | 距離や交通機関の関係で通院しやすいから   |
| 40～49 歳<br>(N=15) | 66.7  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 60.0  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 40.0  | なんとなく大きな病院だと安心するから    |
| 50～59 歳<br>(N=18) | 72.2  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 50.0  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 22.2  | いつもきまって診てもらう医療機関がないから |
| 60～64 歳<br>(N=18) | 88.9  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 61.1  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 16.7  | なんとなく大きな病院だと安心するから    |
| 65～69 歳<br>(N=27) | 66.7  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 55.6  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 33.3  | 距離や交通機関の関係で通院しやすいから   |
| 70～74 歳<br>(N=29) | 65.5  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 41.4  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 31.0  | なんとなく大きな病院だと安心するから    |
| 75～79 歳<br>(N=21) | 81.0  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 42.9  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 19.0  | 距離や交通機関の関係で通院しやすいから   |

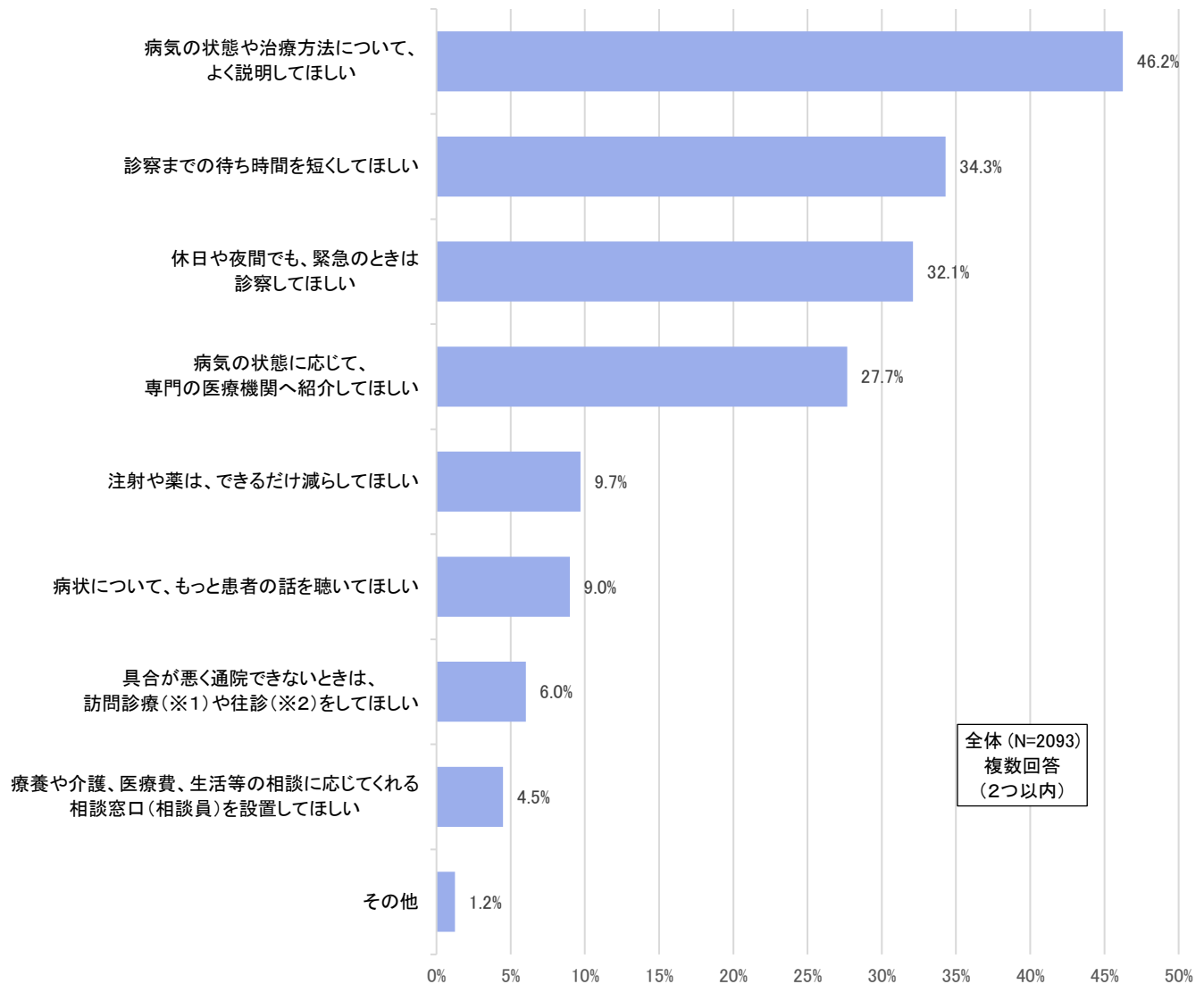
保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏         | 1位    |                         | 2位    |  | 3位    |   |
|---------------|-------|-------------------------|-------|--|-------|---|
|               | 割合(%) | 項目                      | 割合(%) | 項目                                       | 割合(%) | 項目  |
| 和歌山<br>(N=49) | 67.3  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 55.1  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 20.4  | なんとなく大きな病院だと安心するから<br>距離や交通機関の関係で通院しやすいから |
| 那賀<br>(N=15)  | 66.7  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 53.3  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 26.7  | なんとなく大きな病院だと安心するから<br>距離や交通機関の関係で通院しやすいから |
| 橋本<br>(N=16)  | 75.0  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 43.8  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 25.0  | なんとなく大きな病院だと安心するから                        |
| 有田<br>(N=10)  | 60.0  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 20.0  | より専門的な医師に診てもらいたいから<br>なんとなく大きな病院だと安心するから |       |   |
| 御坊<br>(N=13)  | 76.9  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 46.2  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 23.1  | 距離や交通機関の関係で通院しやすいから                       |
| 田辺<br>(N=30)  | 76.7  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 50.0  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 23.3  | なんとなく大きな病院だと安心するから                        |
| 新宮<br>(N=6)   | 83.3  | 診療科目が多く、高度な医療設備が整っているから | 50.0  | より専門的な医師に診てもらいたいから                       | 16.7  | なんとなく大きな病院だと安心するから<br>距離や交通機関の関係で通院しやすいから |



問10 医療機関での病気の診察や治療に関して、特にどのようなことを望みますか。あてはまるものを2つまでお選びください。

○ 医療機関での病気の診察や治療に関する要望としては、「病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい」(46.2%)が最も多く、以下「診察までの待ち時間を短くしてほしい」(34.3%)、「休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい」(32.1%)が続いています。



(※1) 「訪問診療」とは、あらかじめ訪問する日時を決め、医師が定期的に自宅に赴き診療することをいいます。

(※2) 「往診」とは、必要な時に、患者さんの要請を受けて、医師がその都度、自宅に赴き診療することをいいます。

### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                          | 2位    |                   | 3位    |                       |
|----------------|-------|--------------------------|-------|-------------------|-------|-----------------------|
|                | 割合(%) | 項目                       | 割合(%) | 項目                | 割合(%) | 項目                    |
| 男性<br>(N=894)  | 45.1  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 35.5  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい | 31.2  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい |
| 女性<br>(N=1195) | 47.2  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 33.6  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい | 32.7  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                          | 2位    |                           | 3位    |                           |
|--------------------|-------|--------------------------|-------|---------------------------|-------|---------------------------|
|                    | 割合(%) | 項目                       | 割合(%) | 項目                        | 割合(%) | 項目                        |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 52.3  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 44.4  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい         | 35.1  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい     |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 53.9  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 44.3  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい         | 33.3  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい     |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 46.2  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 41.6  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい         | 38.4  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい     |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 49.9  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 36.8  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい         | 32.7  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい     |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 48.0  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 34.6  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい         | 31.3  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい     |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 45.8  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 34.5  | 病気の状態に応じて、専門の医療機関へ紹介してほしい | 29.5  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい         |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 38.5  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 30.9  | 病気の状態に応じて、専門の医療機関へ紹介してほしい | 28.7  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい     |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 36.0  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 30.5  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい     | 27.0  | 病気の状態に応じて、専門の医療機関へ紹介してほしい |

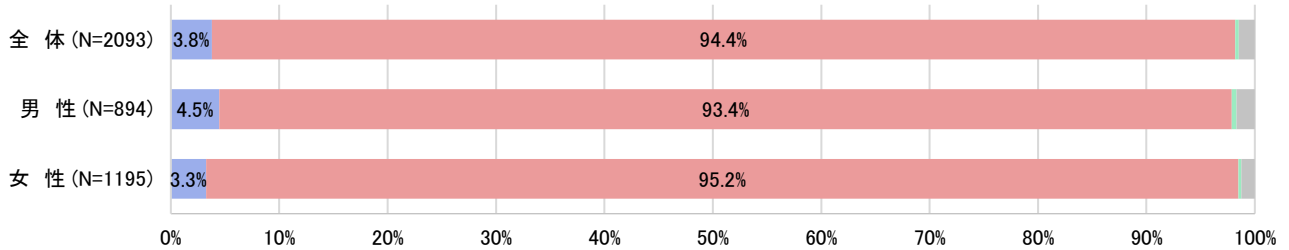
### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |                          | 2位    |                           | 3位    |  |
|----------------|-------|--------------------------|-------|---------------------------|-------|--|
|                | 割合(%) | 項目                       | 割合(%) | 項目                        | 割合(%) | 項目   |
| 和歌山<br>(N=909) | 49.7  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 34.5  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい         | 28.8  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい<br>病気の状態に応じて、専門の医療機関へ紹介してほしい |
| 那賀<br>(N=244)  | 50.0  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 39.3  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい     | 34.8  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい                                  |
| 橋本<br>(N=199)  | 46.2  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 35.2  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい         | 33.7  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい                              |
| 有田<br>(N=161)  | 39.8  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 36.6  | 病気の状態に応じて、専門の医療機関へ紹介してほしい | 35.4  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい                              |
| 御坊<br>(N=136)  | 43.4  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい    | 36.0  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい  | 35.3  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい                                  |
| 田辺<br>(N=276)  | 42.8  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 38.8  | 診察までの待ち時間を短くしてほしい         | 30.4  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい                              |
| 新宮<br>(N=128)  | 46.1  | 病気の状態や治療方法について、よく説明してほしい | 35.9  | 病気の状態に応じて、専門の医療機関へ紹介してほしい | 31.3  | 休日や夜間でも、緊急のときは診察してほしい                              |

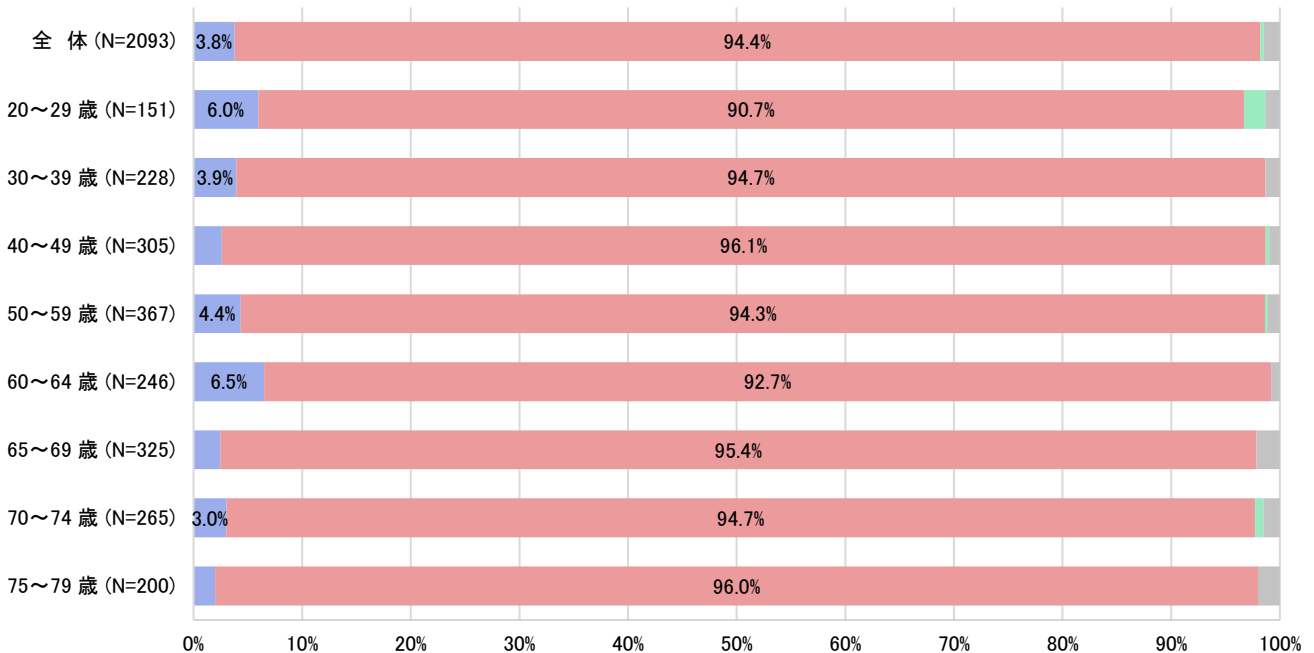
問11 過去1年間に、あなたやご家族の方が、自宅で訪問診療や往診を受けたことがありますか。

- 過去1年間に自宅で訪問診療や往診を受けた経験については、「ない」との回答が、全体の9割以上を占めています。
- 男女別、年齢層別、保健医療圏別に見た場合でも、ほぼ同様の傾向です。

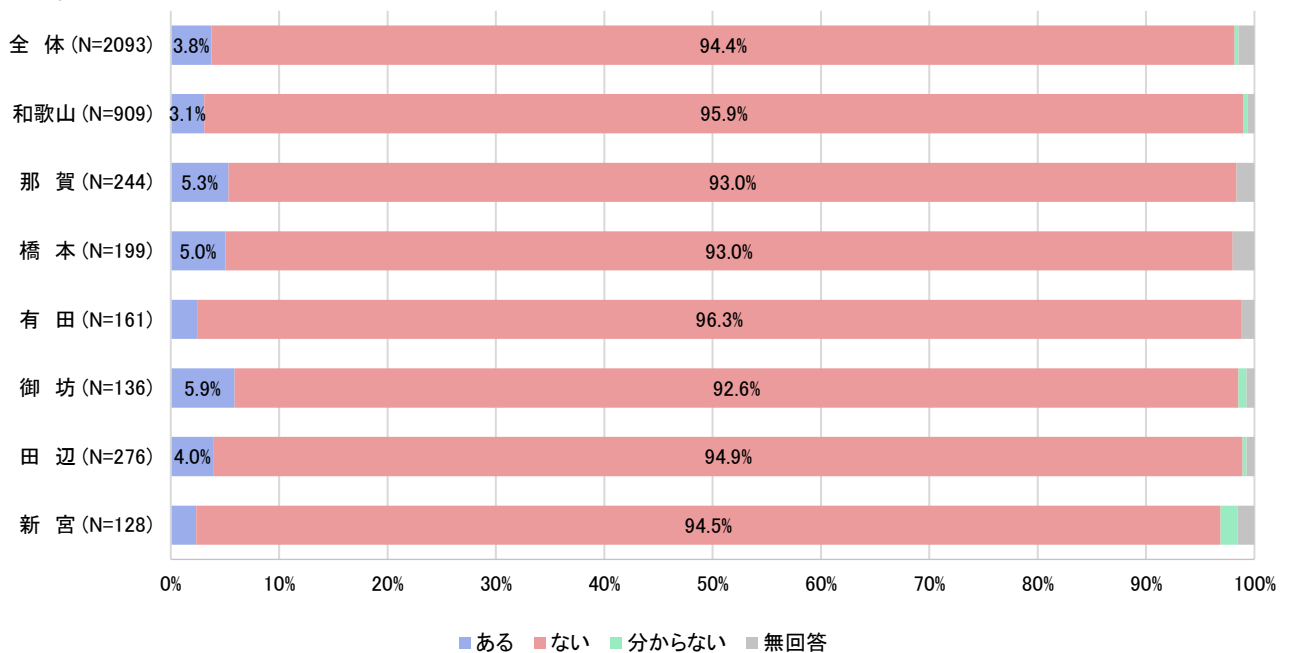
男女別



年齢層別



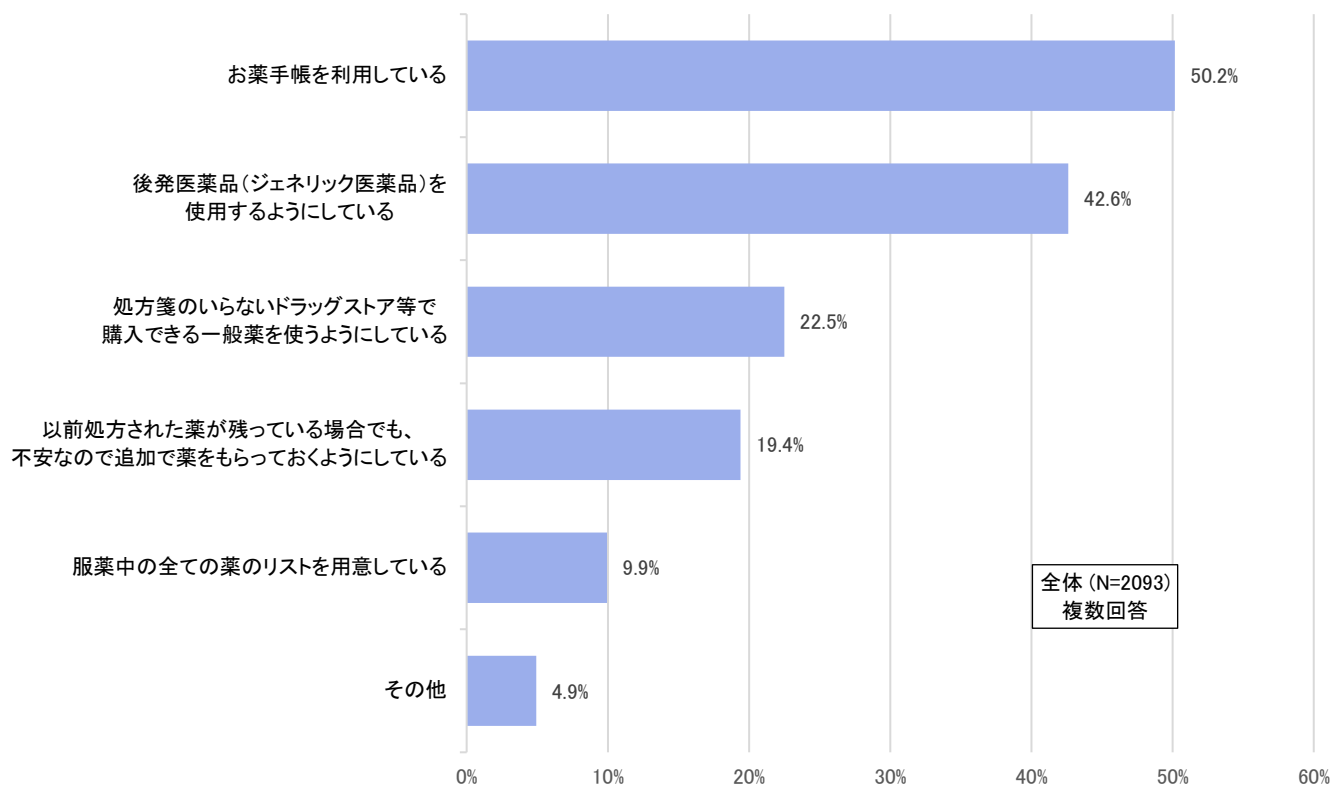
保健医療圏別



#### 4 医療品の使用について

問12 医薬品の使用等について、あてはまるものを全てお選びください。

- 医薬品の使用に際しては、「お薬手帳を利用している」(50.2%)との回答が最も多く、以下「後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている」(42.6%)、「処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている」(22.5%)が続いています。
- 年齢層別では、20～40歳代は「後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている」、50～70歳代は「お薬手帳を利用している」が、それぞれ最も多くなっています。



### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |             | 2位    |                              | 3位    |                                     |
|----------------|-------|-------------|-------|------------------------------|-------|-------------------------------------|
|                | 割合(%) | 項目          | 割合(%) | 項目                           | 割合(%) | 項目                                  |
| 男性<br>(N=894)  | 42.8  | お薬手帳を利用している | 42.6  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 21.7  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている |
| 女性<br>(N=1195) | 55.7  | お薬手帳を利用している | 42.7  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 23.2  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                              | 2位    |                              | 3位    |                                     |
|--------------------|-------|------------------------------|-------|------------------------------|-------|-------------------------------------|
|                    | 割合(%) | 項目                           | 割合(%) | 項目                           | 割合(%) | 項目                                  |
| 20~29 歳<br>(N=151) | 38.4  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 35.1  | お薬手帳を利用している                  | 34.4  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている |
| 30~39 歳<br>(N=228) | 43.0  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 40.8  | お薬手帳を利用している                  | 35.5  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている |
| 40~49 歳<br>(N=305) | 44.9  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 38.4  | お薬手帳を利用している                  | 32.8  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている |
| 50~59 歳<br>(N=367) | 49.9  | お薬手帳を利用している                  | 40.1  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 28.3  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている |
| 60~64 歳<br>(N=246) | 51.2  | お薬手帳を利用している                  | 45.1  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 20.7  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている |
| 65~69 歳<br>(N=325) | 55.1  | お薬手帳を利用している                  | 47.7  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 16.6  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている |
| 70~74 歳<br>(N=265) | 62.6  | お薬手帳を利用している                  | 45.7  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 17.0  | 服薬中の全ての薬のリストを用意している                 |
| 75~79 歳<br>(N=200) | 65.0  | お薬手帳を利用している                  | 31.0  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 23.0  | 服薬中の全ての薬のリストを用意している                 |

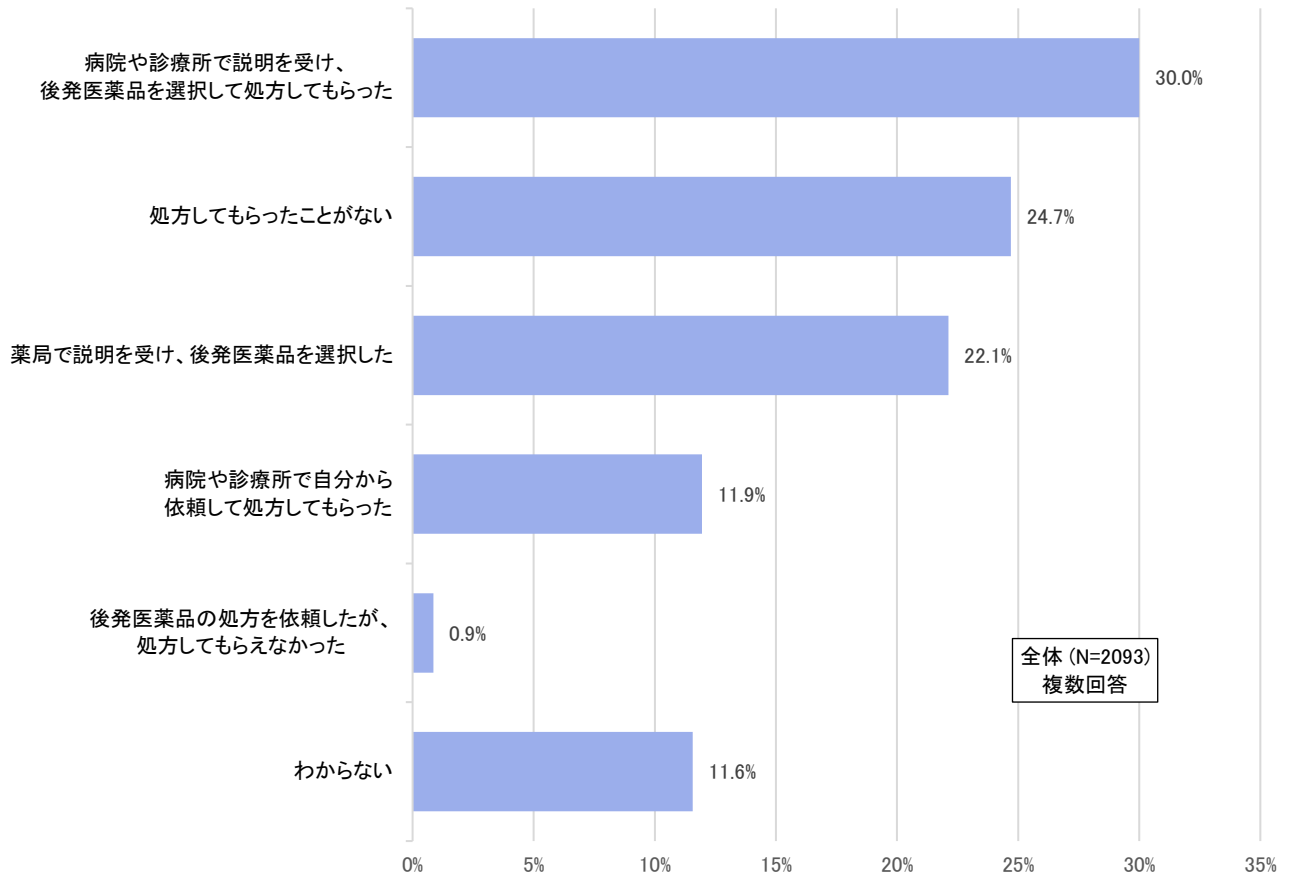
### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |             | 2位    |                              | 3位    |  |
|----------------|-------|-------------|-------|------------------------------|-------|--|
|                | 割合(%) | 項目          | 割合(%) | 項目                           | 割合(%) | 項目   |
| 和歌山<br>(N=909) | 53.2  | お薬手帳を利用している | 45.8  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 21.9  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている        |
| 那賀<br>(N=244)  | 49.6  | お薬手帳を利用している | 45.5  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 21.7  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている        |
| 橋本<br>(N=199)  | 50.3  | お薬手帳を利用している | 44.7  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 25.1  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている        |
| 有田<br>(N=161)  | 46.6  | お薬手帳を利用している | 32.9  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 24.8  | 以前処方された薬が残っている場合でも、不安なので追加で薬をもらっておくようにしている |
| 御坊<br>(N=136)  | 45.6  | お薬手帳を利用している | 38.2  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 19.9  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている        |
| 田辺<br>(N=276)  | 47.1  | お薬手帳を利用している | 39.5  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 30.1  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている        |
| 新宮<br>(N=128)  | 49.2  | お薬手帳を利用している | 38.3  | 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を使用するようにしている | 19.5  | 処方箋のいらないドラッグストア等で購入できる一般薬を使うようにしている        |

問13 これまでに、後発医薬品(ジェネリック医薬品)を処方してもらったことがありますか。

(注) 複数回答を有効として集計しています。

- 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を処方してもらった経験については、「病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった」(30.0%)との回答が最も多くなっています。
- 一方で、「処方してもらったことがない」が2割強、「わからない」も約1割を占めています。



### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                                 | 2位    |               | 3位    |                     |
|----------------|-------|---------------------------------|-------|---------------|-------|---------------------|
|                | 割合(%) | 項目                              | 割合(%) | 項目            | 割合(%) | 項目                  |
| 男性<br>(N=894)  | 29.5  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 24.7  | 処方してもらったことがない | 20.0  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した |
| 女性<br>(N=1195) | 30.5  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 24.6  | 処方してもらったことがない | 23.8  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                                 | 2位    |                                 | 3位    |                     |
|--------------------|-------|---------------------------------|-------|---------------------------------|-------|---------------------|
|                    | 割合(%) | 項目                              | 割合(%) | 項目                              | 割合(%) | 項目                  |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 31.8  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 27.8  | 処方してもらったことがない                   | 17.2  | わからない               |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 38.2  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 22.8  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した             | 15.8  | 処方してもらったことがない       |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 31.8  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 28.9  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した             | 22.3  | 処方してもらったことがない       |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 29.4  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 28.1  | 処方してもらったことがない                   | 22.1  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 28.9  | 処方してもらったことがない                   | 24.4  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 22.4  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 28.3  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 24.3  | 処方してもらったことがない                   | 22.8  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 28.7  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 26.0  | 処方してもらったことがない                   | 20.0  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 29.0  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 24.0  | 処方してもらったことがない                   | 17.5  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した |

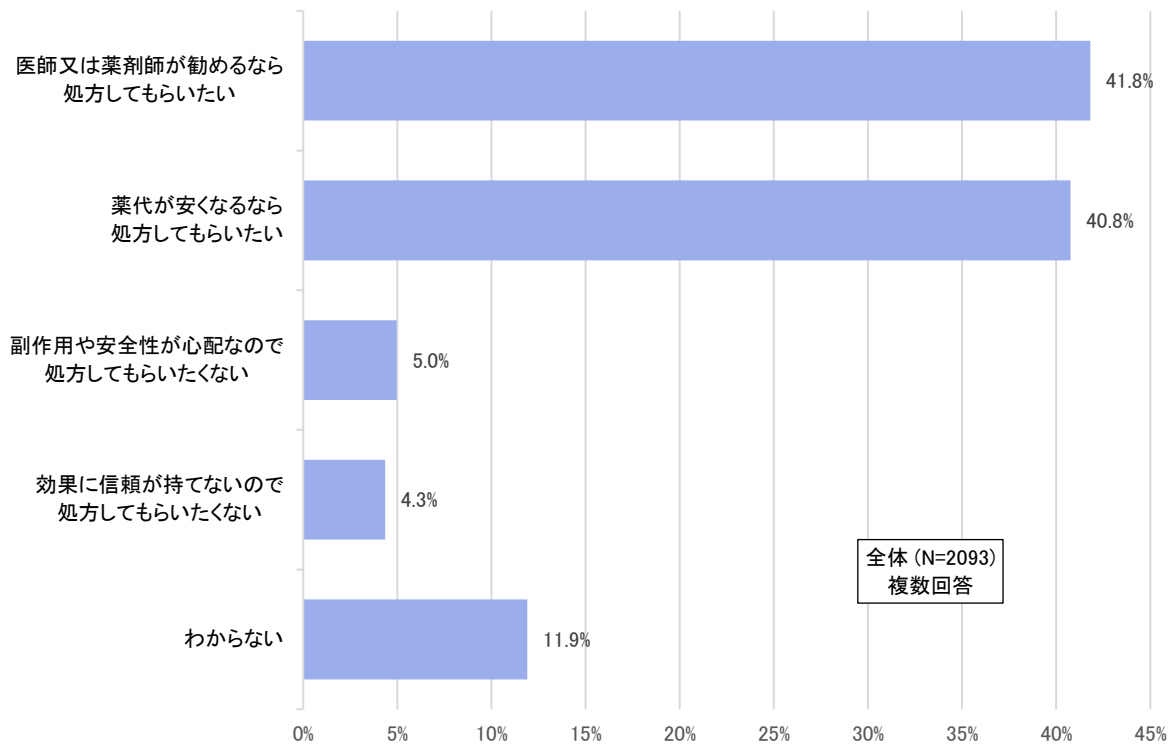
### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |                                 | 2位    |                                 | 3位    |                     |
|----------------|-------|---------------------------------|-------|---------------------------------|-------|---------------------|
|                | 割合(%) | 項目                              | 割合(%) | 項目                              | 割合(%) | 項目                  |
| 和歌山<br>(N=909) | 33.3  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 24.3  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した             | 21.5  | 処方してもらったことがない       |
| 那賀<br>(N=244)  | 27.9  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 26.6  | 処方してもらったことがない                   | 18.0  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した |
| 橋本<br>(N=199)  | 33.2  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 25.6  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した             | 19.6  | 処方してもらったことがない       |
| 有田<br>(N=161)  | 29.8  | 処方してもらったことがない                   | 24.8  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 21.1  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した |
| 御坊<br>(N=136)  | 27.2  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 25.7  | 処方してもらったことがない                   | 19.1  | わからない               |
| 田辺<br>(N=276)  | 30.4  | 処方してもらったことがない                   | 27.2  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 21.7  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した |
| 新宮<br>(N=128)  | 33.6  | 処方してもらったことがない                   | 25.0  | 病院や診療所で説明を受け、後発医薬品を選択して処方してもらった | 24.2  | 薬局で説明を受け、後発医薬品を選択した |

問14 今後、後発医薬品(ジェネリック医薬品)を処方してもらいたいと思いますか。

(注) 複数回答を有効として集計しています。

○ 後発医薬品(ジェネリック医薬品)の処方については、「医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい」(41.8%)が最も多く、次いで「薬代が安くなるなら処方してもらいたい」(40.8%)となっています。





男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                        | 2位    |                        | 3位    |       |
|----------------|-------|------------------------|-------|------------------------|-------|-------|
|                | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目    |
| 男性<br>(N=894)  | 44.4  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 37.8  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 13.0  | わからない |
| 女性<br>(N=1195) | 44.9  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 38.1  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 11.1  | わからない |

年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                        | 2位    |                        | 3位    |       |
|--------------------|-------|------------------------|-------|------------------------|-------|-------|
|                    | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目    |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 51.7  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 29.1  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 15.9  | わからない |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 51.3  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 35.1  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 11.0  | わからない |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 41.6  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 40.3  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 13.4  | わからない |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 43.6  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 39.8  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 8.4   | わからない |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 43.5  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 41.5  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 10.6  | わからない |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 47.1  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 37.5  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 10.8  | わからない |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 46.8  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 33.2  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 14.7  | わからない |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 44.0  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 32.0  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 14.0  | わからない |

保健医療圏別回答割合 上位3項目

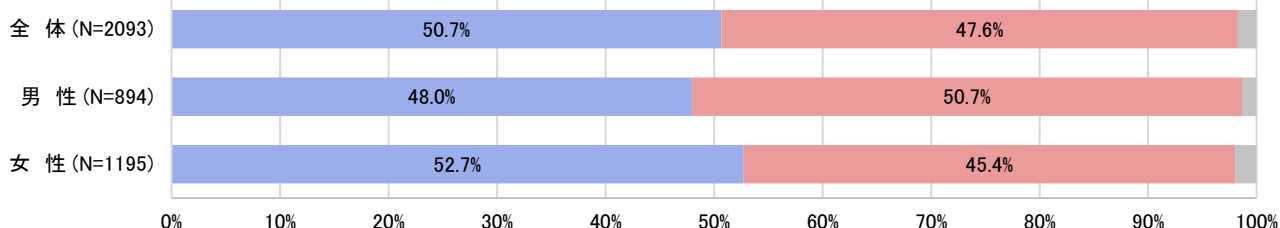
| 保健医療圏          | 1位    |                        | 2位    |                        | 3位    |       |
|----------------|-------|------------------------|-------|------------------------|-------|-------|
|                | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目    |
| 和歌山<br>(N=909) | 42.8  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 41.7  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 10.6  | わからない |
| 那賀<br>(N=244)  | 45.1  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 36.5  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 13.5  | わからない |
| 橋本<br>(N=199)  | 45.7  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 40.2  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 8.5   | わからない |
| 有田<br>(N=161)  | 42.2  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 37.9  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 13.7  | わからない |
| 御坊<br>(N=136)  | 40.4  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 39.7  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 16.2  | わからない |
| 田辺<br>(N=276)  | 43.1  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 38.4  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 13.0  | わからない |
| 新宮<br>(N=128)  | 43.8  | 医師又は薬剤師が勧めるなら処方してもらいたい | 39.1  | 薬代が安くなるなら処方してもらいたい     | 15.6  | わからない |

## 5 医療費について

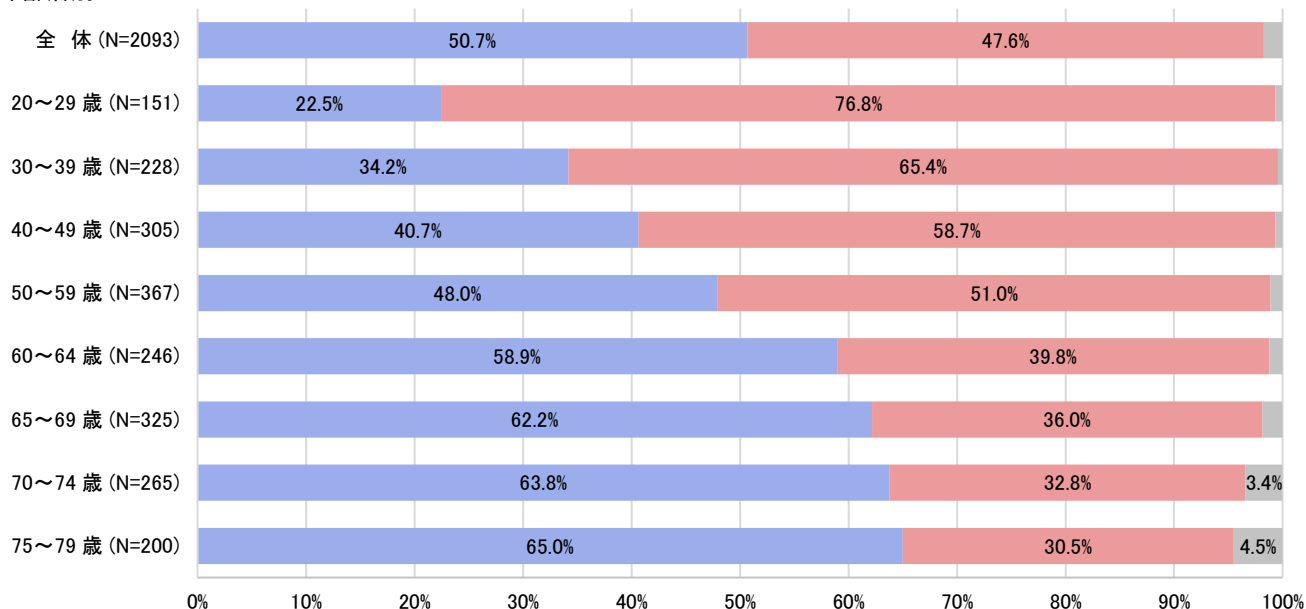
問15 ご自分が1年間に支払った医療費の金額を知っていますか。

- 1年間に支払った医療費の金額を知っているかとの問いに対しては、「はい」が 50.7%、「いいえ」が 47.6%と回答が分されました。
- 年齢層別に見ると、20歳代の「はい」(22.5%)が最も少なく、年齢層が上がるに従い、1年間に支払った医療費の金額を把握している人の割合が増加する傾向となっています。

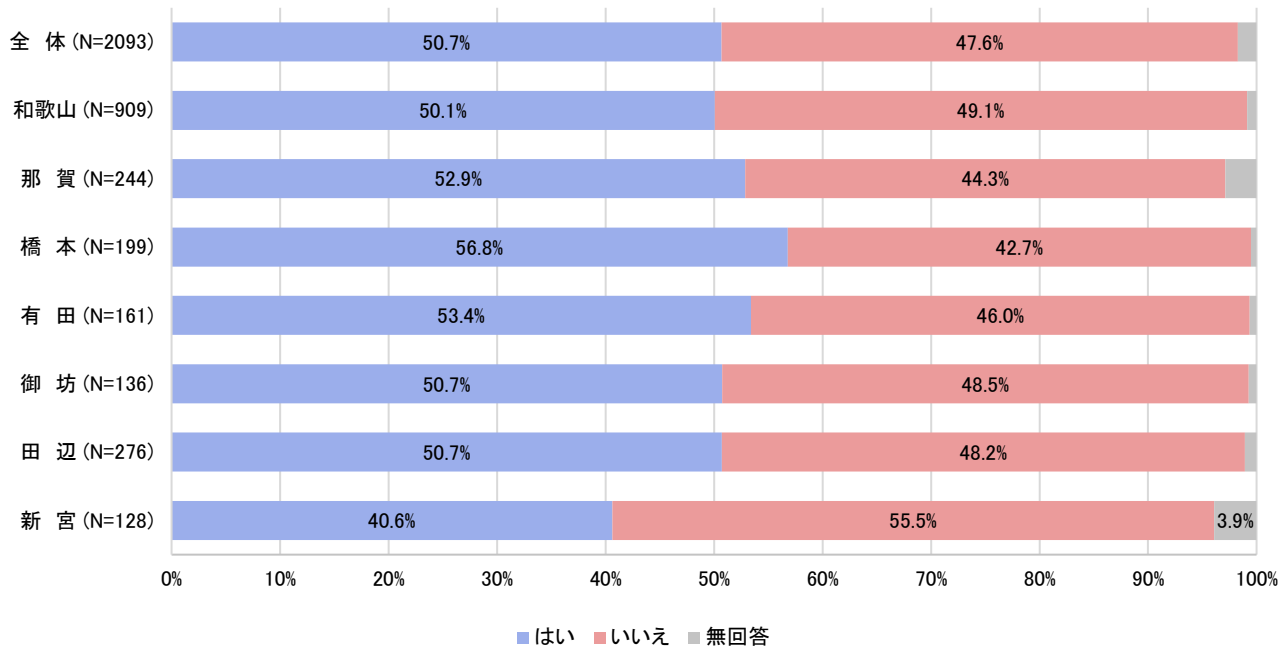
### 男女別



### 年齢層別



### 保健医療圏別

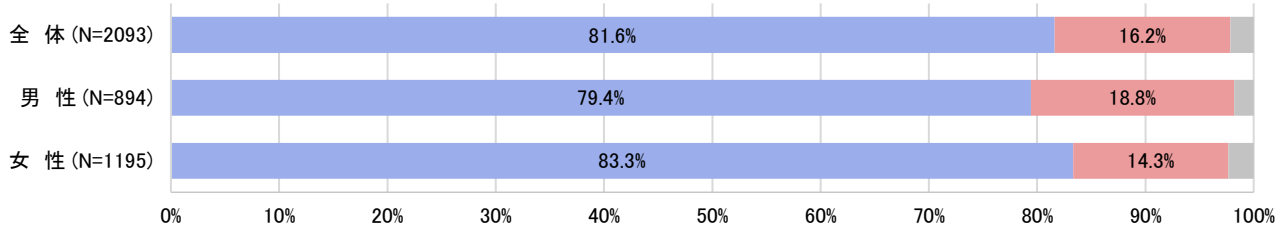


■ はい ■ いいえ ■ 無回答

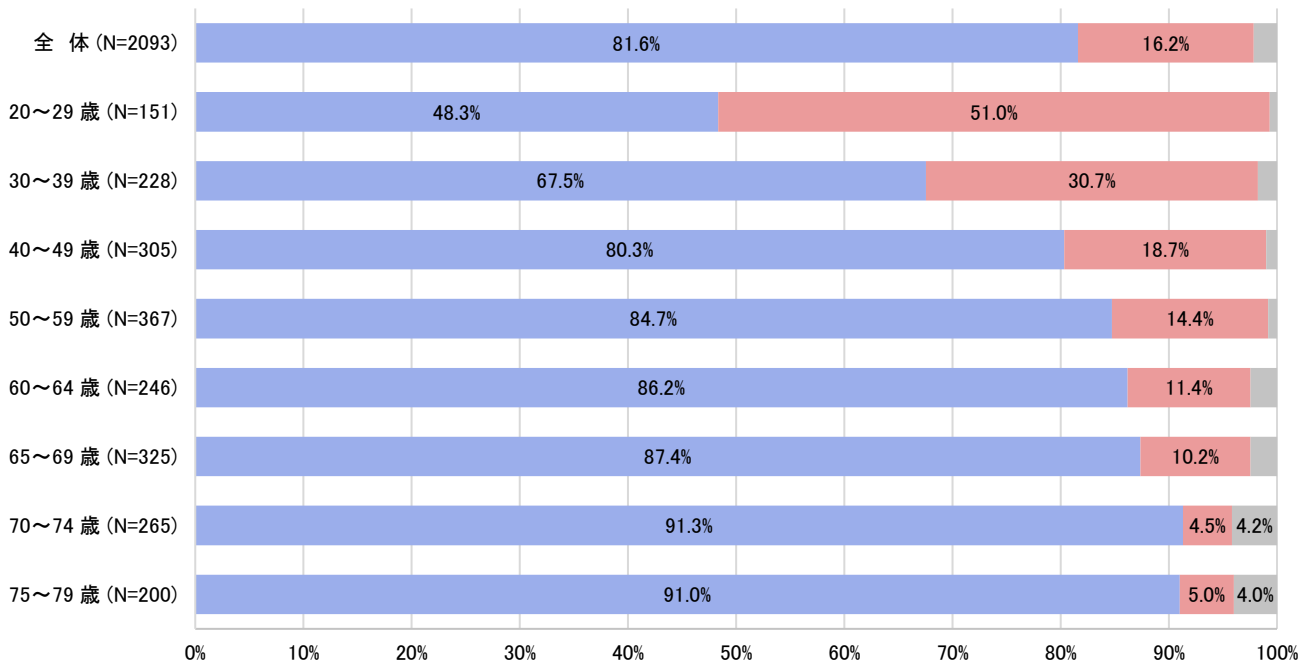
問16 各保険者(国民健康保険は市町村)から送付された医療費通知を見ていますか。

- 各保険者から送付された医療費通知を見ているかとの問いに対しては、「はい」が 81.6%、「いいえ」が 16.2%となっています。
- 年齢層別では、70 歳代の9割以上が「はい」と回答する一方で、20 歳代では「はい」との回答が約半数(48.3%)に留まっています。

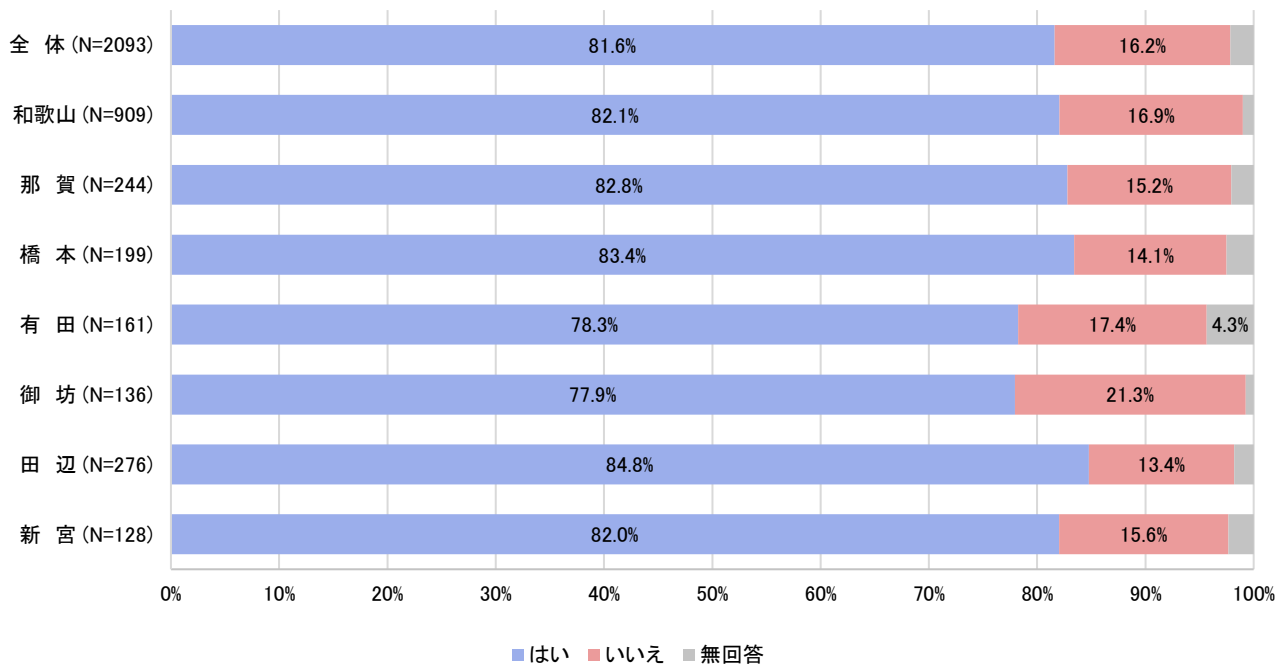
男女別



年齢層別



保健医療圏別

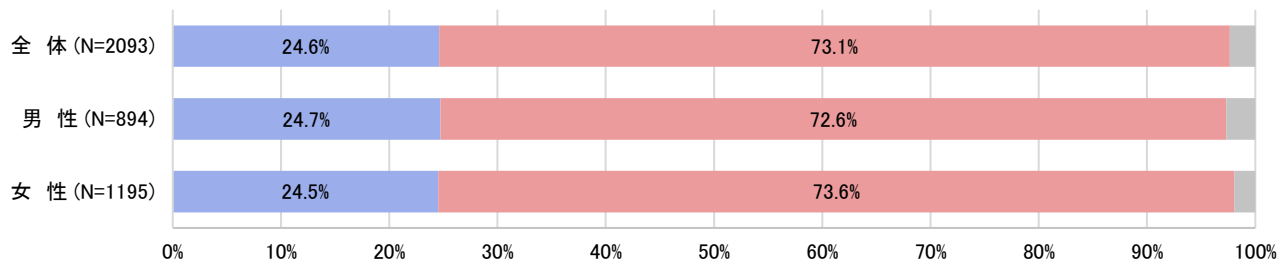


## 6 救急医療について

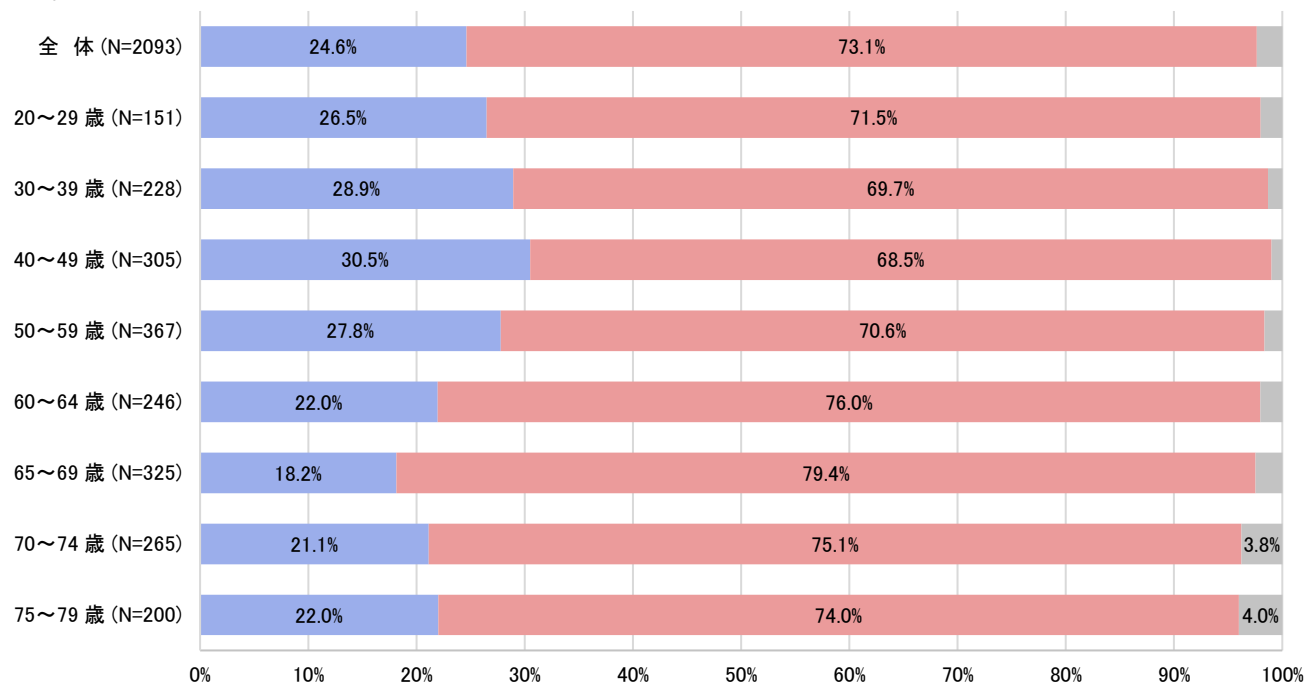
問17 過去1年間に、あなたやご家族が急な病気になったことがありますか。

○ 過去1年間に急な病気にかかった経験(家族も含む。)については、「ある」が24.6%、「ない」が73.1%となっています。

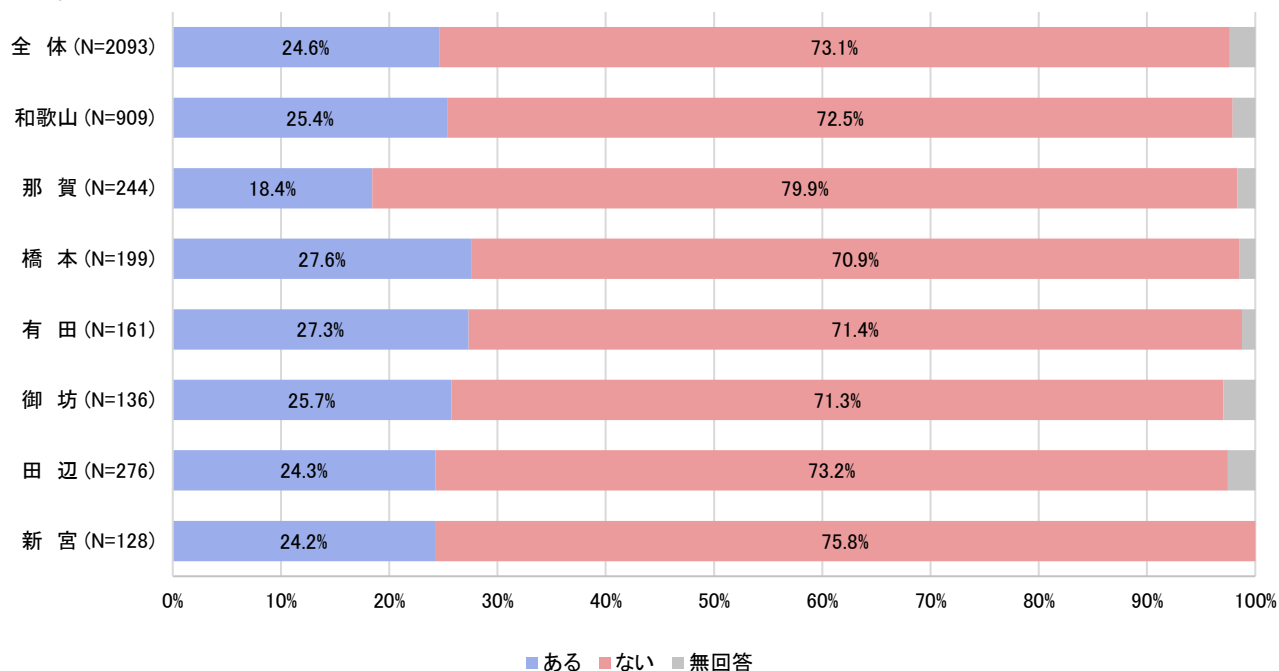
### 男女別



### 年齢層別



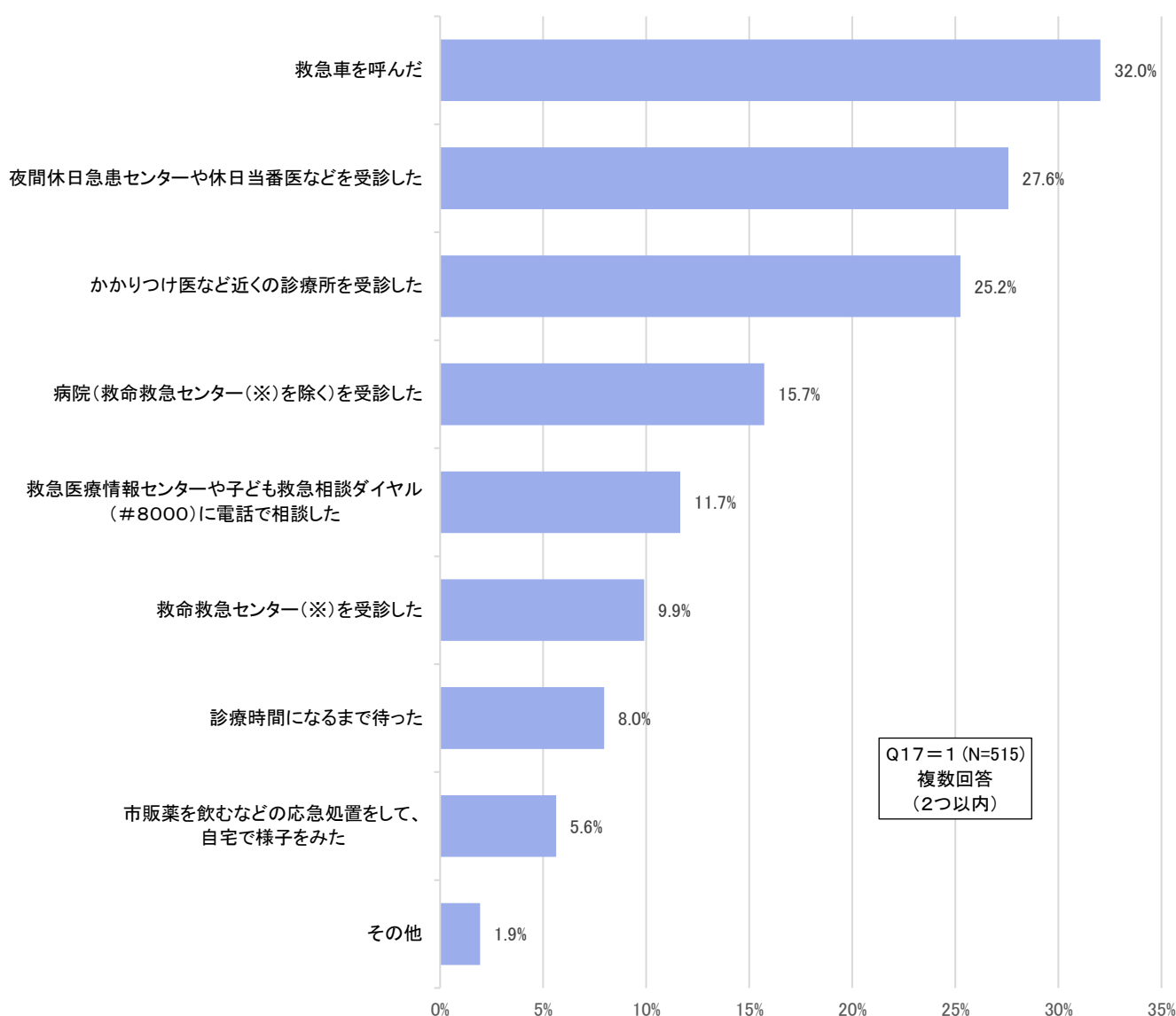
### 保健医療圏別



■ある ■ない ■無回答

問18 問17で「①ある」と回答された方にお尋ねします。その際、どのように行動しましたか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- 問17で「①ある」と回答された方の行動については、「救急車を呼んだ」(32.0%)が最も多く、以下「夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した」(27.6%)、「かかりつけ医など近くの診療所を受診した」(25.2%)が続いています。
- 年齢層別で最も多かった回答は、20～40歳代と60歳代後半で「夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した」、50歳代と70歳代で「救急車を呼んだ」、60歳代前半で「かかりつけ医など近くの診療所を受診した」となっています。



(※)「救命救急センター」は、県内では、日本赤十字社和歌山医療センター、県立医科大学附属病院、南和歌山医療センターの3病院に設置されています。

### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別          | 1位    |         | 2位    |                         | 3位    |                         |
|---------------|-------|---------|-------|-------------------------|-------|-------------------------|
|               | 割合(%) | 項目      | 割合(%) | 項目                      | 割合(%) | 項目                      |
| 男性<br>(N=221) | 32.6  | 救急車を呼んだ | 25.3  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した     | 22.6  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した |
| 女性<br>(N=293) | 31.7  | 救急車を呼んだ | 31.4  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した | 25.3  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した     |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                         | 2位    |                                | 3位    |  |
|--------------------|-------|-------------------------|-------|--------------------------------|-------|--|
|                    | 割合(%) | 項目                      | 割合(%) | 項目                             | 割合(%) | 項目   |
| 20～29 歳<br>(N=40)  | 50.0  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した | 30.0  | 救急車を呼んだ                        | 15.0  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した  |
| 30～39 歳<br>(N=66)  | 36.4  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した | 24.2  | 救急車を呼んだ                        | 22.7  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した<br>救急医療情報センターや子ども救急相談ダイヤル(#8000)に電話で相談した |
| 40～49 歳<br>(N=93)  | 35.5  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した | 22.6  | 救急車を呼んだ                        | 19.4  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した  |
| 50～59 歳<br>(N=102) | 31.4  | 救急車を呼んだ                 | 26.5  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した            | 23.5  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した                                      |
| 60～64 歳<br>(N=54)  | 35.2  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した     | 31.5  | 救急車を呼んだ                        | 24.1  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した                                      |
| 65～69 歳<br>(N=59)  | 28.8  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した | 25.4  | 救急車を呼んだ<br>かかりつけ医など近くの診療所を受診した |       |  |
| 70～74 歳<br>(N=56)  | 46.4  | 救急車を呼んだ                 | 28.6  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した            | 19.6  | 病院(救命救急センターを除く)を受診した   |
| 75～79 歳<br>(N=44)  | 56.8  | 救急車を呼んだ                 | 31.8  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した            | 11.4  | 病院(救命救急センターを除く)を受診した   |

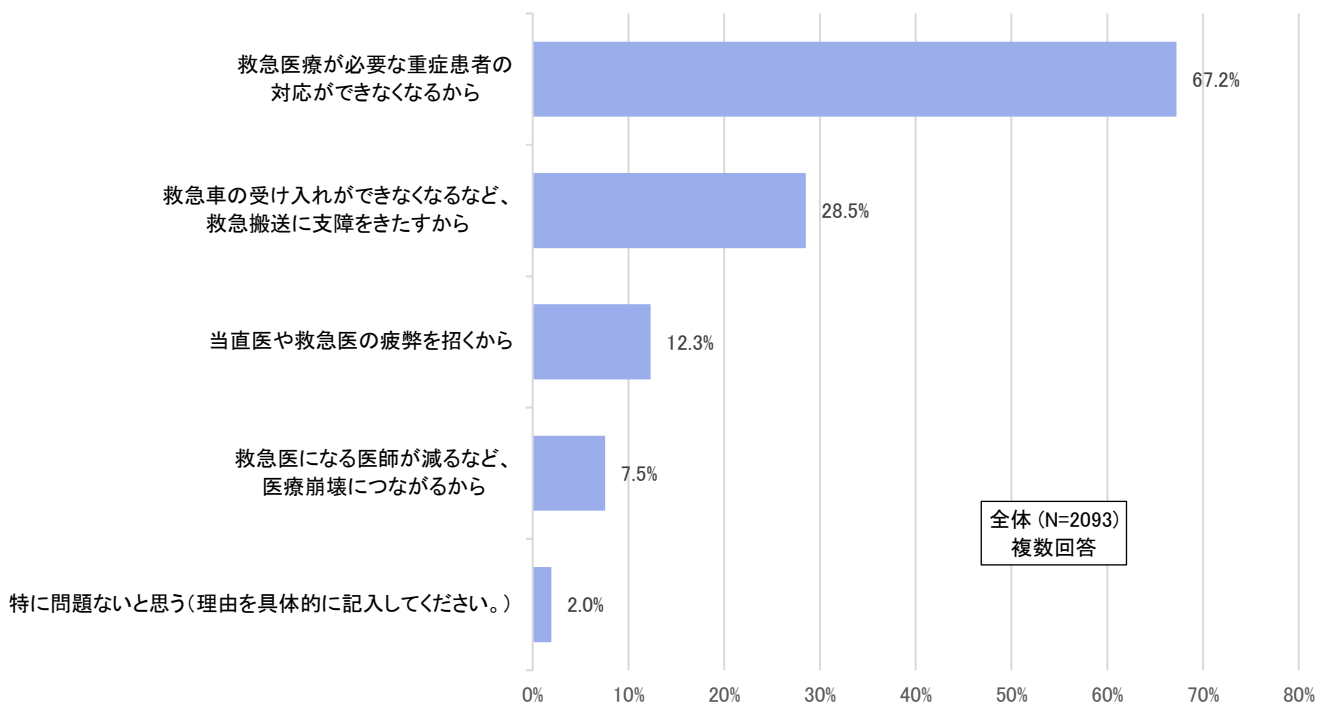
### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |  | 2位    |                         | 3位    |   |
|----------------|-------|--|-------|-------------------------|-------|---|
|                | 割合(%) | 項目   | 割合(%) | 項目                      | 割合(%) | 項目  |
| 和歌山<br>(N=231) | 31.6  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した                          | 27.7  | 救急車を呼んだ                 | 22.9  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した                             |
| 那賀<br>(N=45)   | 31.1  | 救急車を呼んだ<br>かかりつけ医など近くの診療所を受診した                   |       |                         | 28.9  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した                         |
| 橋本<br>(N=55)   | 38.2  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した                              | 23.6  | 救急車を呼んだ                 | 20.0  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した<br>病院(救命救急センターを除く)を受診した |
| 有田<br>(N=44)   | 29.5  | 救急車を呼んだ<br>救急医療情報センターや子ども救急相談ダイヤル(#8000)に電話で相談した |       |                         | 25.0  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した                         |
| 御坊<br>(N=35)   | 42.9  | 救急車を呼んだ  | 28.6  | 病院(救命救急センターを除く)を受診した    | 20.0  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した                         |
| 田辺<br>(N=67)   | 44.8  | 救急車を呼んだ  | 25.4  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した     | 20.9  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した<br>病院(救命救急センターを除く)を受診した |
| 新宮<br>(N=31)   | 41.9  | 救急車を呼んだ  | 35.5  | 夜間休日急患センターや休日当番医などを受診した | 25.8  | かかりつけ医など近くの診療所を受診した                             |

問19 軽症患者が、救急性がないにもかかわらず、外来診療をしていない休日や夜間の時間帯に、コンビニエンスストアに行くような感覚で気軽に救急外来を受診することを「コンビニ受診」といい、問題視されています。「コンビニ受診」について、どのようなことが最も問題だと思いますか。

(注) 複数回答を有効として集計しています。

○ 「コンビニ受診」についての問題点は、「救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから」(67.2%)が全体の7割近くを占め、以下「救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから」(28.5%)、「当直医や救急医の疲弊を招くから」(12.3%)が続いています。



### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                          | 2位    |                                 | 3位    |                 |
|----------------|-------|--------------------------|-------|---------------------------------|-------|-----------------|
|                | 割合(%) | 項目                       | 割合(%) | 項目                              | 割合(%) | 項目              |
| 男性<br>(N=894)  | 62.5  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 28.2  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 13.8  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 女性<br>(N=1195) | 71.0  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 28.8  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 11.3  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                          | 2位    |                                 | 3位    |                 |
|--------------------|-------|--------------------------|-------|---------------------------------|-------|-----------------|
|                    | 割合(%) | 項目                       | 割合(%) | 項目                              | 割合(%) | 項目              |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 66.9  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 19.2  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 10.6  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 67.1  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 25.0  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 11.8  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 71.1  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 24.9  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 14.4  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 72.2  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 26.7  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 10.4  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 72.0  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 31.7  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 14.6  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 69.2  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 32.3  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 9.5   | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 60.4  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 36.2  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 15.5  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 53.5  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 28.0  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 12.5  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |                          | 2位    |                                 | 3位    |                 |
|----------------|-------|--------------------------|-------|---------------------------------|-------|-----------------|
|                | 割合(%) | 項目                       | 割合(%) | 項目                              | 割合(%) | 項目              |
| 和歌山<br>(N=909) | 68.5  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 26.8  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 12.8  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 那賀<br>(N=244)  | 64.8  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 33.2  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 15.6  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 橋本<br>(N=199)  | 59.8  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 32.7  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 9.5   | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 有田<br>(N=161)  | 64.6  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 25.5  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 11.2  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 御坊<br>(N=136)  | 62.5  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 27.2  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 11.0  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 田辺<br>(N=276)  | 73.2  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 30.1  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 13.8  | 当直医や救急医の疲弊を招くから |
| 新宮<br>(N=128)  | 68.8  | 救急医療が必要な重症患者の対応ができなくなるから | 28.1  | 救急車の受け入れができなくなるなど、救急搬送に支障をきたすから | 9.4   | 当直医や救急医の疲弊を招くから |

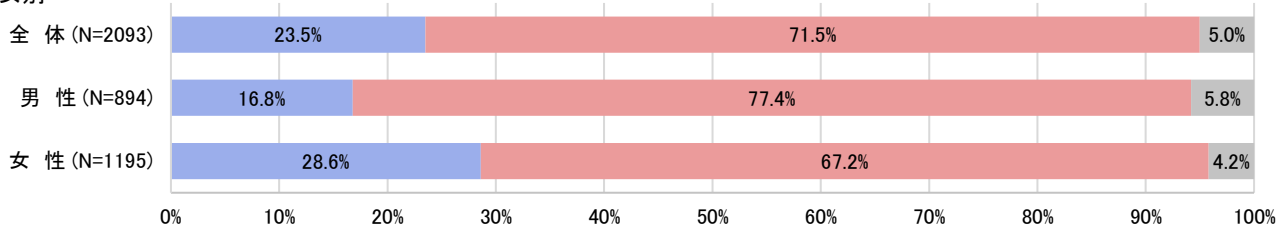


## 7 小児医療について

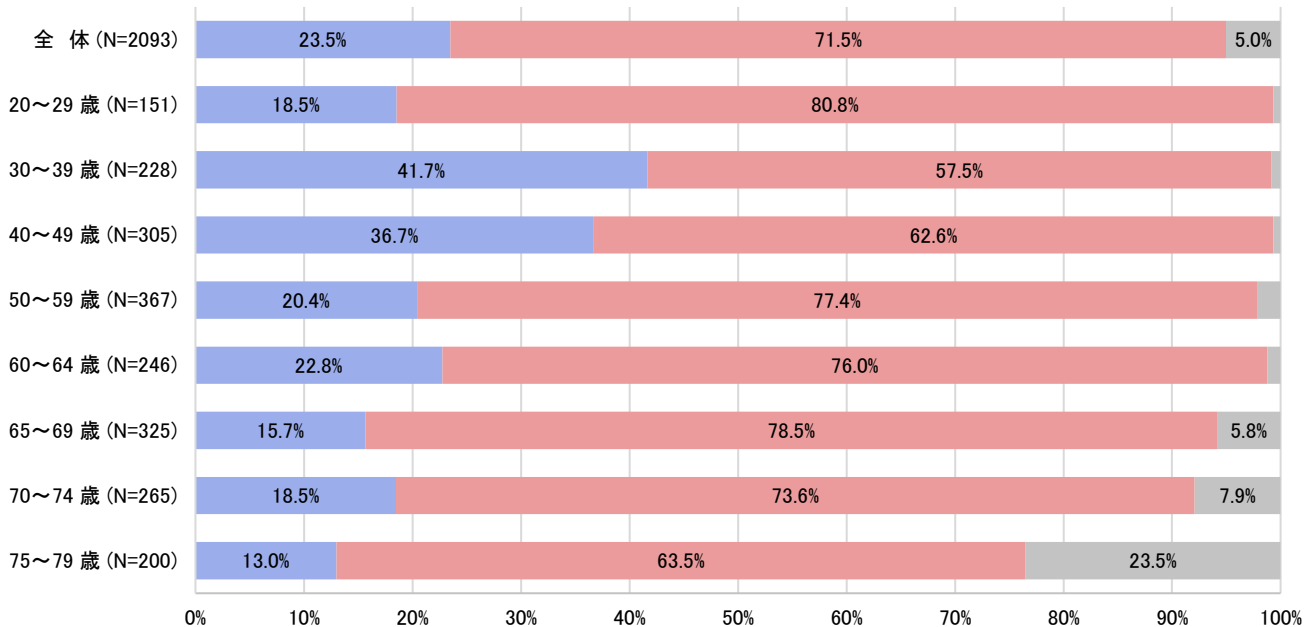
問20 医療に関する相談窓口として、休日・夜間の急な子どもの病気にアドバイスする「子ども救急相談ダイヤル（#8000）」を設けているところですが、ご存知でしたか。

- 「子ども救急相談ダイヤル（#8000）」の認知度については、全体の2割強に留まっています。
- 男女別では、男性における認知度が女性の半数程度と低くなっています。
- 年齢層別では、30～40歳代において認知度が比較的高くなっています。

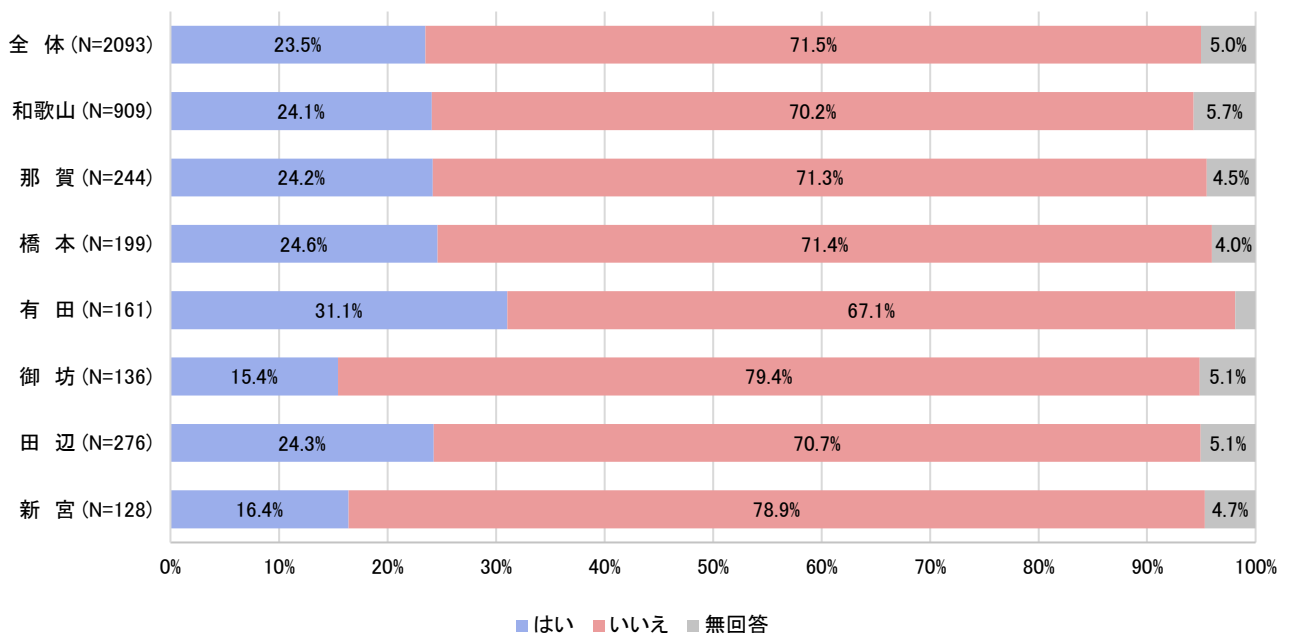
### 男女別



### 年齢層別

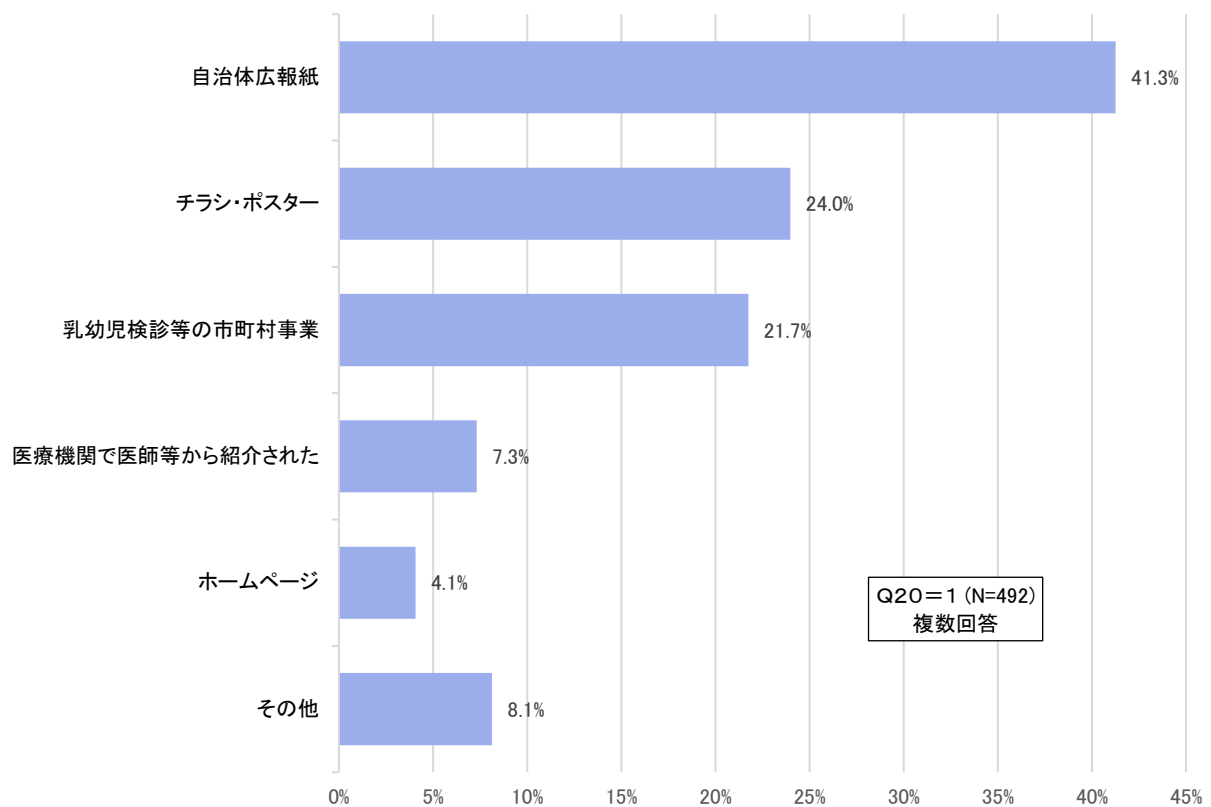


### 保健医療圏別



問21 問 20 で「①はい」と回答された方にお尋ねします。「子ども救急相談ダイヤル(＃8000)」の事業を、どこでお知りになりましたか。 (注) 複数回答を有効として集計しています。

- 問 20 で「①はい」と回答された方が「子ども救急相談ダイヤル(＃8000)」事業を知ったきっかけは、「自治体広報紙」(41.3%)が最も多く、以下「チラシ・ポスター」(24.0%)、「乳幼児検診等の市町村事業」(21.7%)が続いています。
- 年齢層別で最も多かった回答は、20～30 歳代で「乳幼児検診等の市町村事業」、その他の年齢層で「自治体広報紙」となっています。



### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別          | 1位    |        | 2位    |              | 3位    |              |
|---------------|-------|--------|-------|--------------|-------|--------------|
|               | 割合(%) | 項目     | 割合(%) | 項目           | 割合(%) | 項目           |
| 男性<br>(N=150) | 50.0  | 自治体広報紙 | 16.0  | 乳幼児検診等の市町村事業 | 15.3  | チラシ・ポスター     |
| 女性<br>(N=342) | 37.4  | 自治体広報紙 | 27.8  | チラシ・ポスター     | 24.3  | 乳幼児検診等の市町村事業 |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |              | 2位    |                 | 3位    |                 |
|--------------------|-------|--------------|-------|-----------------|-------|-----------------|
|                    | 割合(%) | 項目           | 割合(%) | 項目              | 割合(%) | 項目              |
| 20～29 歳<br>(N=28)  | 57.1  | 乳幼児検診等の市町村事業 | 17.9  | 自治体広報紙          | 14.3  | チラシ・ポスター        |
| 30～39 歳<br>(N=95)  | 41.1  | 乳幼児検診等の市町村事業 | 28.4  | チラシ・ポスター        | 24.2  | 自治体広報紙          |
| 40～49 歳<br>(N=112) | 32.1  | 自治体広報紙       | 31.3  | チラシ・ポスター        | 27.7  | 乳幼児検診等の市町村事業    |
| 50～59 歳<br>(N=75)  | 42.7  | 自治体広報紙       | 28.0  | チラシ・ポスター        | 16.0  | 乳幼児検診等の市町村事業    |
| 60～64 歳<br>(N=56)  | 58.9  | 自治体広報紙       | 14.3  | チラシ・ポスター        | 10.7  | その他             |
| 65～69 歳<br>(N=51)  | 62.7  | 自治体広報紙       | 19.6  | チラシ・ポスター        | 7.8   | その他             |
| 70～74 歳<br>(N=49)  | 57.1  | 自治体広報紙       | 18.4  | チラシ・ポスター        | 12.2  | 医療機関で医師等から紹介された |
| 75～79 歳<br>(N=26)  | 53.8  | 自治体広報紙       | 15.4  | チラシ・ポスター<br>その他 |       |                 |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

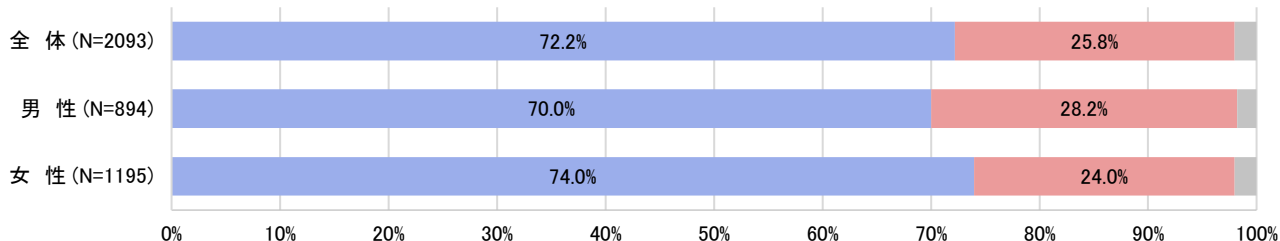
| 保健医療圏          | 1位    |                        | 2位    |              | 3位    |              |
|----------------|-------|------------------------|-------|--------------|-------|--------------|
|                | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目           | 割合(%) | 項目           |
| 和歌山<br>(N=219) | 42.5  | 自治体広報紙                 | 23.3  | 乳幼児検診等の市町村事業 | 20.5  | チラシ・ポスター     |
| 那賀<br>(N=59)   | 37.3  | 自治体広報紙                 | 27.1  | チラシ・ポスター     | 22.0  | 乳幼児検診等の市町村事業 |
| 橋本<br>(N=49)   | 44.9  | 自治体広報紙                 | 26.5  | チラシ・ポスター     | 18.4  | 乳幼児検診等の市町村事業 |
| 有田<br>(N=50)   | 36.0  | 自治体広報紙                 | 28.0  | チラシ・ポスター     | 24.0  | 乳幼児検診等の市町村事業 |
| 御坊<br>(N=21)   | 28.6  | 自治体広報紙<br>乳幼児検診等の市町村事業 |       |              | 23.8  | チラシ・ポスター     |
| 田辺<br>(N=67)   | 47.8  | 自治体広報紙                 | 29.9  | チラシ・ポスター     | 14.9  | 乳幼児検診等の市町村事業 |
| 新宮<br>(N=21)   | 42.9  | 自治体広報紙                 | 23.8  | チラシ・ポスター     | 19.0  | 乳幼児検診等の市町村事業 |

## 8 「かかりつけ医」などについて

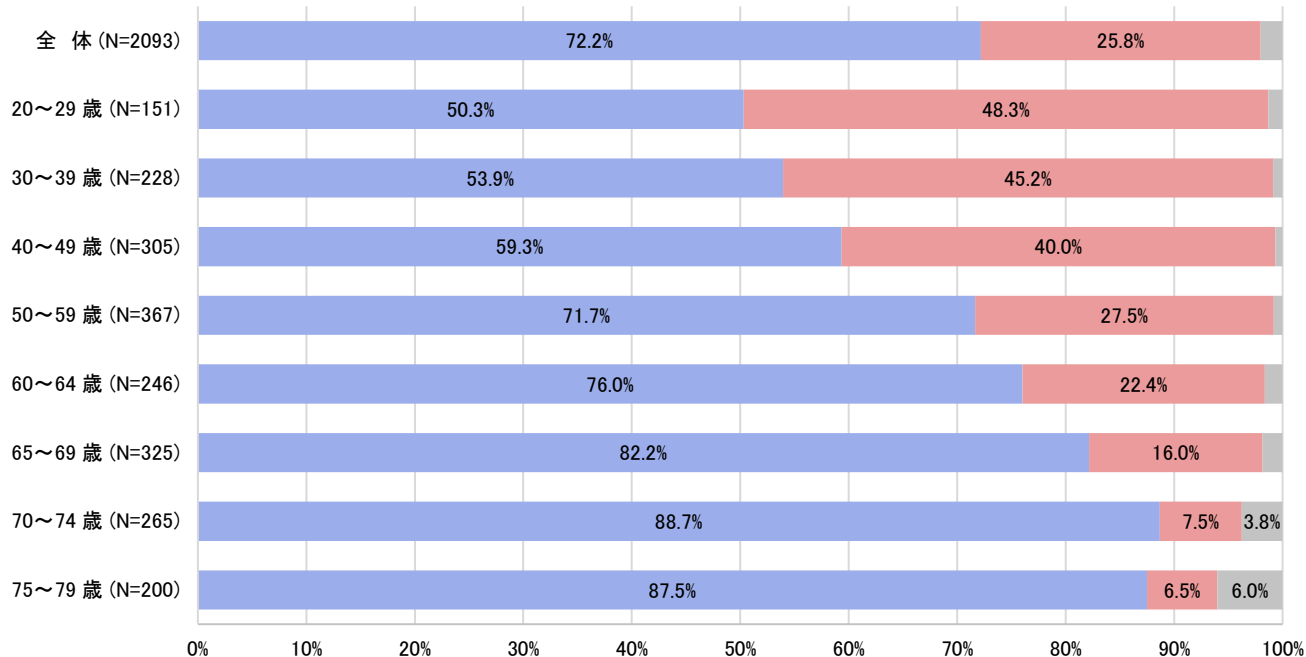
問22 あなたには、かかりつけの医師(歯科医師は除きます。)がいますか。

- かかりつけの医師(歯科医師を除く。)については、「いる」との回答が全体の約7割を占めています。
- 年齢層が高いほど、かかりつけの医師をもつ傾向が見られます。

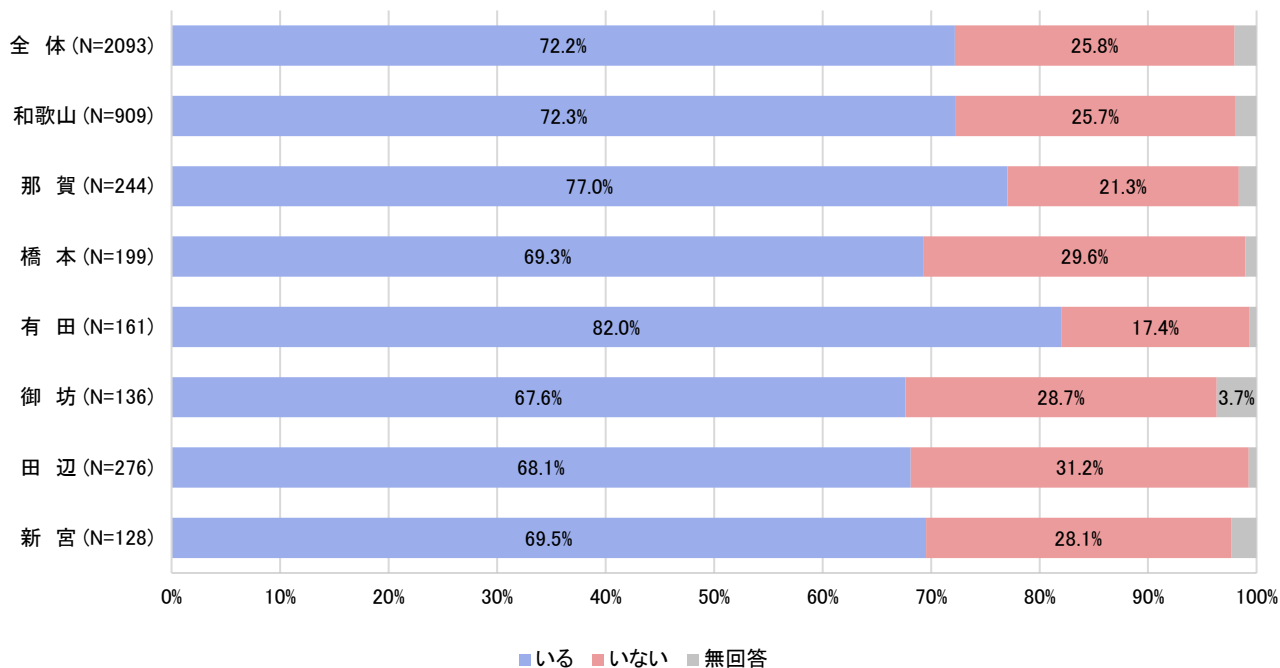
### 男女別



### 年齢層別



### 保健医療圏別

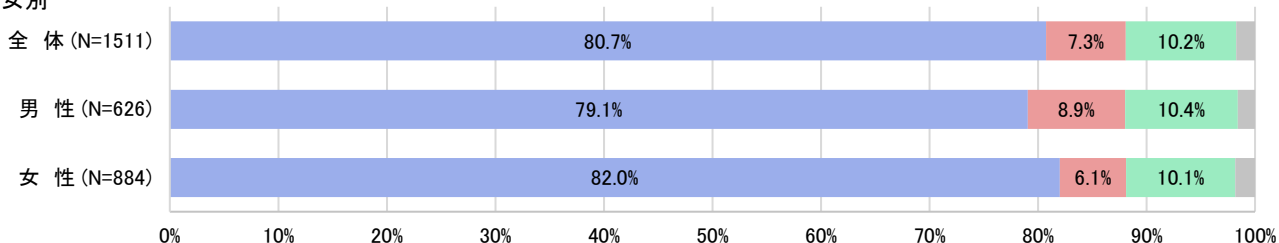


■ いる ■ いない ■ 無回答

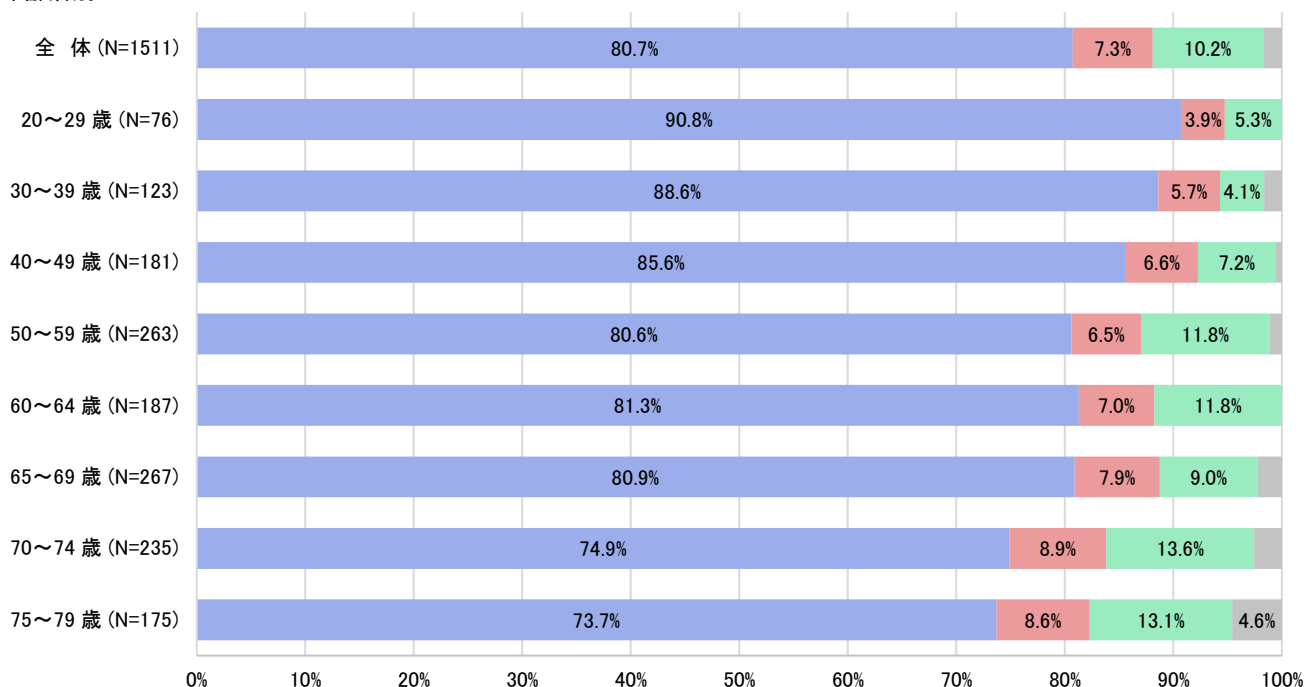
問23 問22 で「①いる」と回答した方にお尋ねします。あなたのかかりつけの医師に当てはまるものは、次のうちどれですか。

○ 問22 で「①いる」と回答した方の、かかりつけの医師に当てはまるものについては、「診療所(医院、クリニック)の医師」との回答が、全体の約8割を占めています。

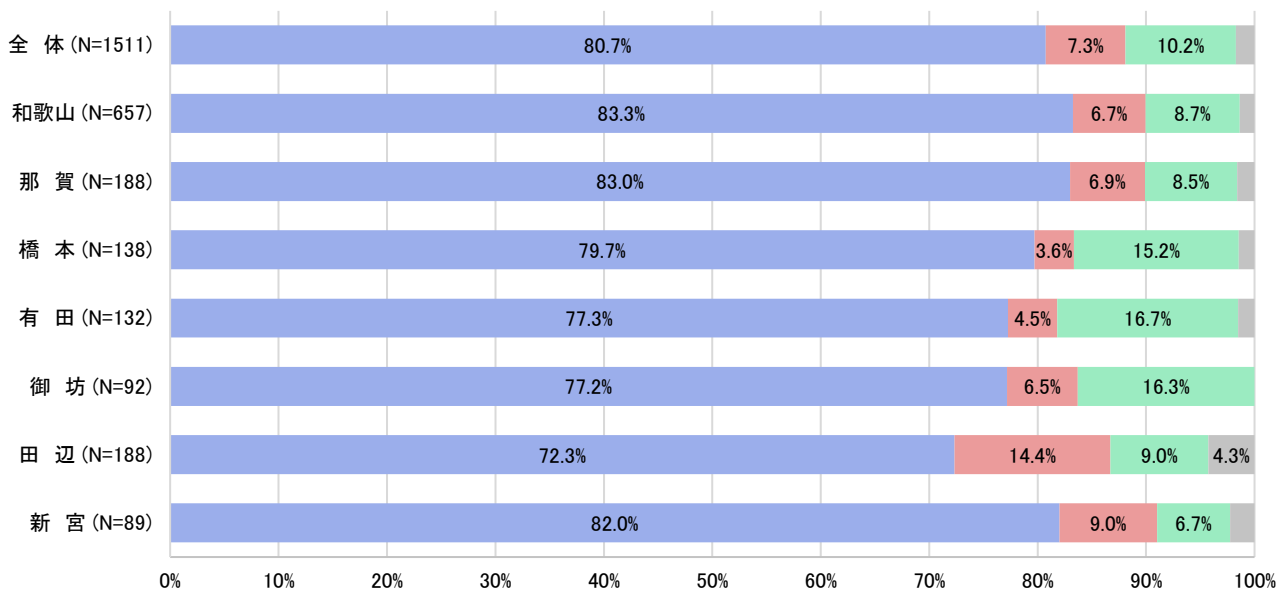
男女別



年齢層別



保健医療圏別

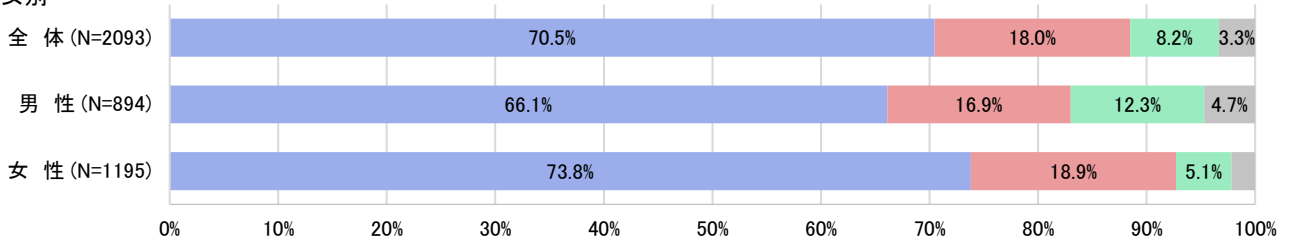


■ 診療所(医院、クリニック)の医師(①) ■ 大きい病院の医師(②) ■ 左記①②のどちらにもいる(病気によって使い分けている) ■ 無回答

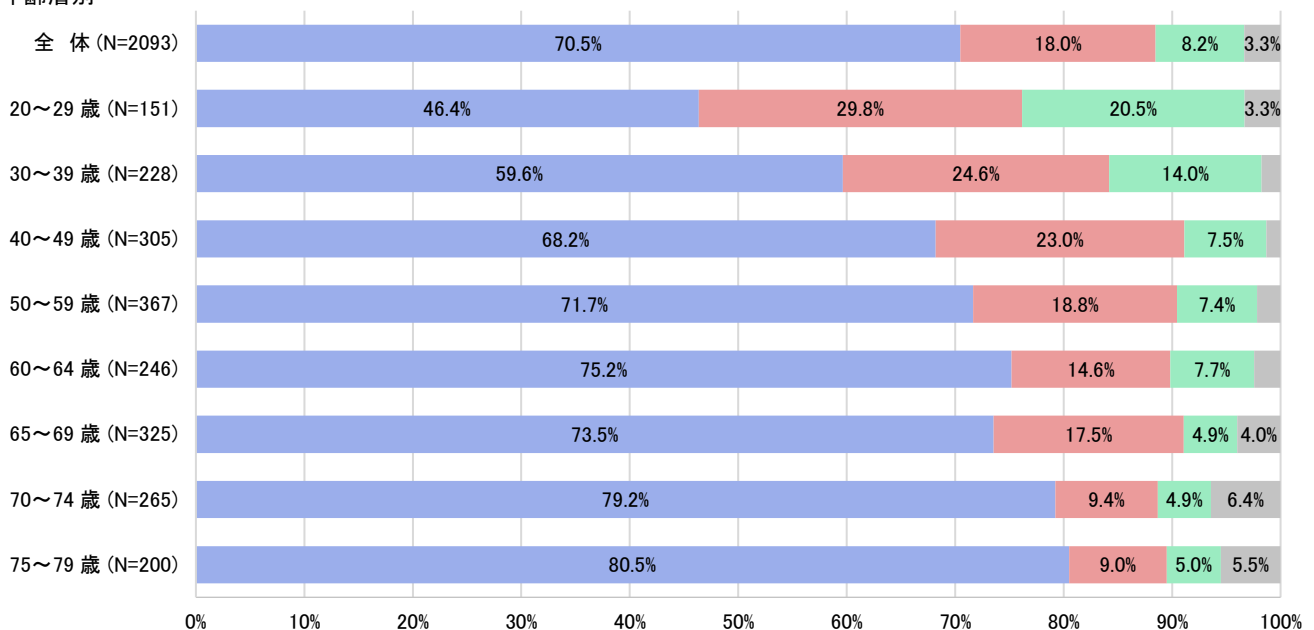
問24 あなたは、かかりつけの歯科医師を決めていますか。

- かかりつけの歯科医師については、「決めている」との回答が全体の約7割を占めています。
- かかりつけの医師(問22)の場合と同様、年齢層が高いほど、かかりつけの歯科医師をもつ傾向が見られます。

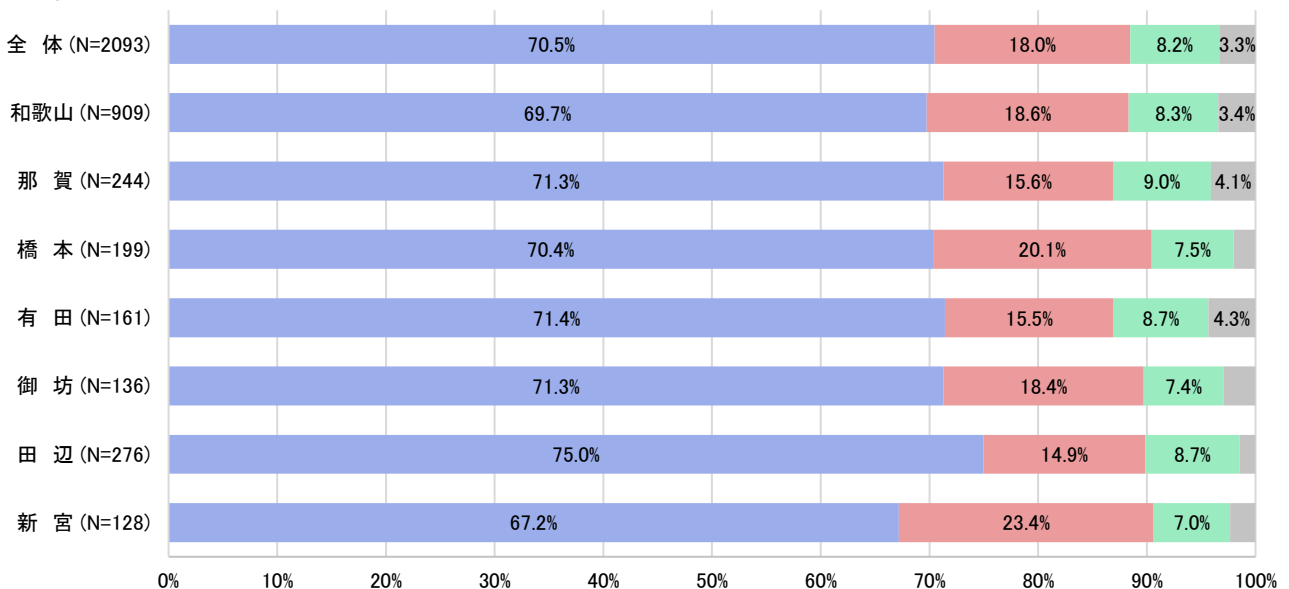
男女別



年齢層別



保健医療圏別

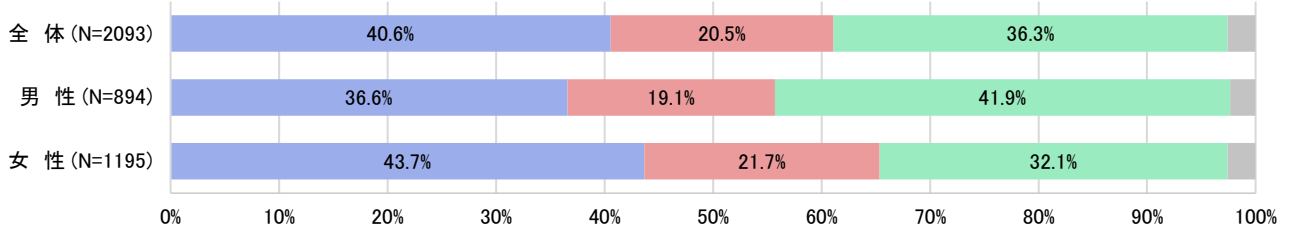


■ 決めている ■ 現在は決めていないが、決めたいと思っている ■ 決めていないし、必要とは思わない ■ 無回答

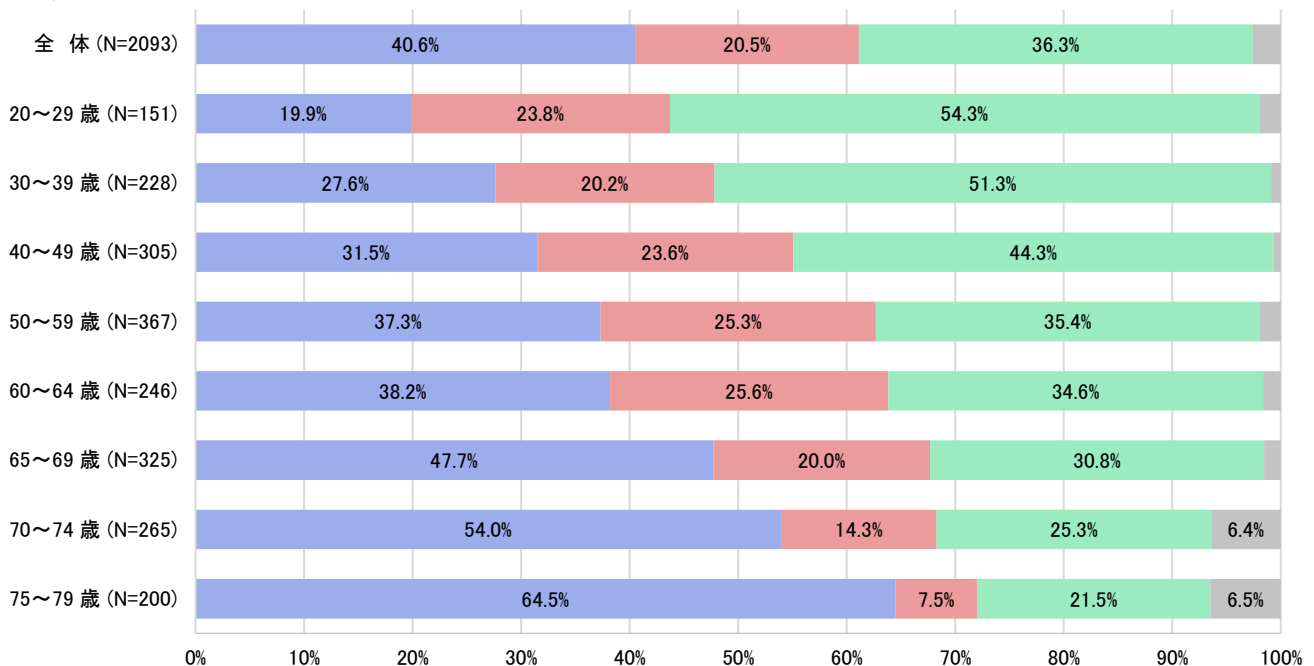
問25 あなたは、かかりつけの薬局を決めていますか。

- かかりつけの薬局については、「決めている」との回答は全体の約4割に留まっており、かかりつけの医師及び歯科医師の場合と比べると、低い値となっています。
- かかりつけの医師(問22)及び歯科医師(問24)の場合と同様、年齢層が高いほど、かかりつけの薬局をもつ傾向が見られます。

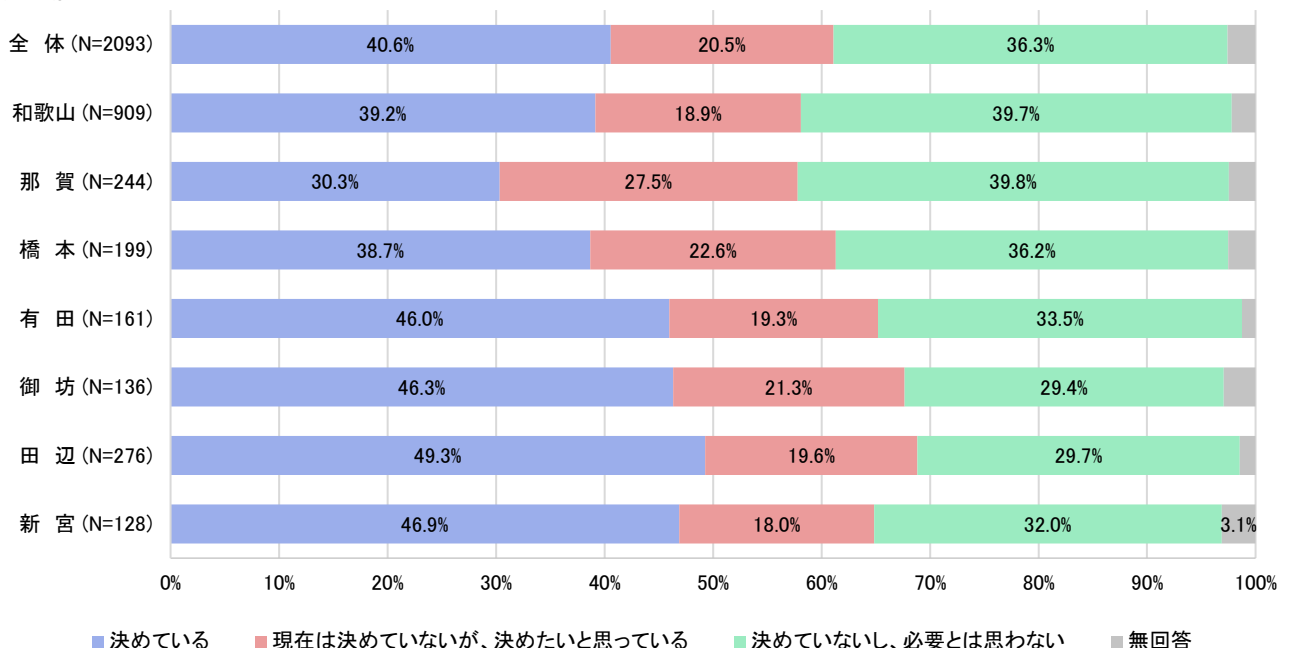
男女別



年齢層別



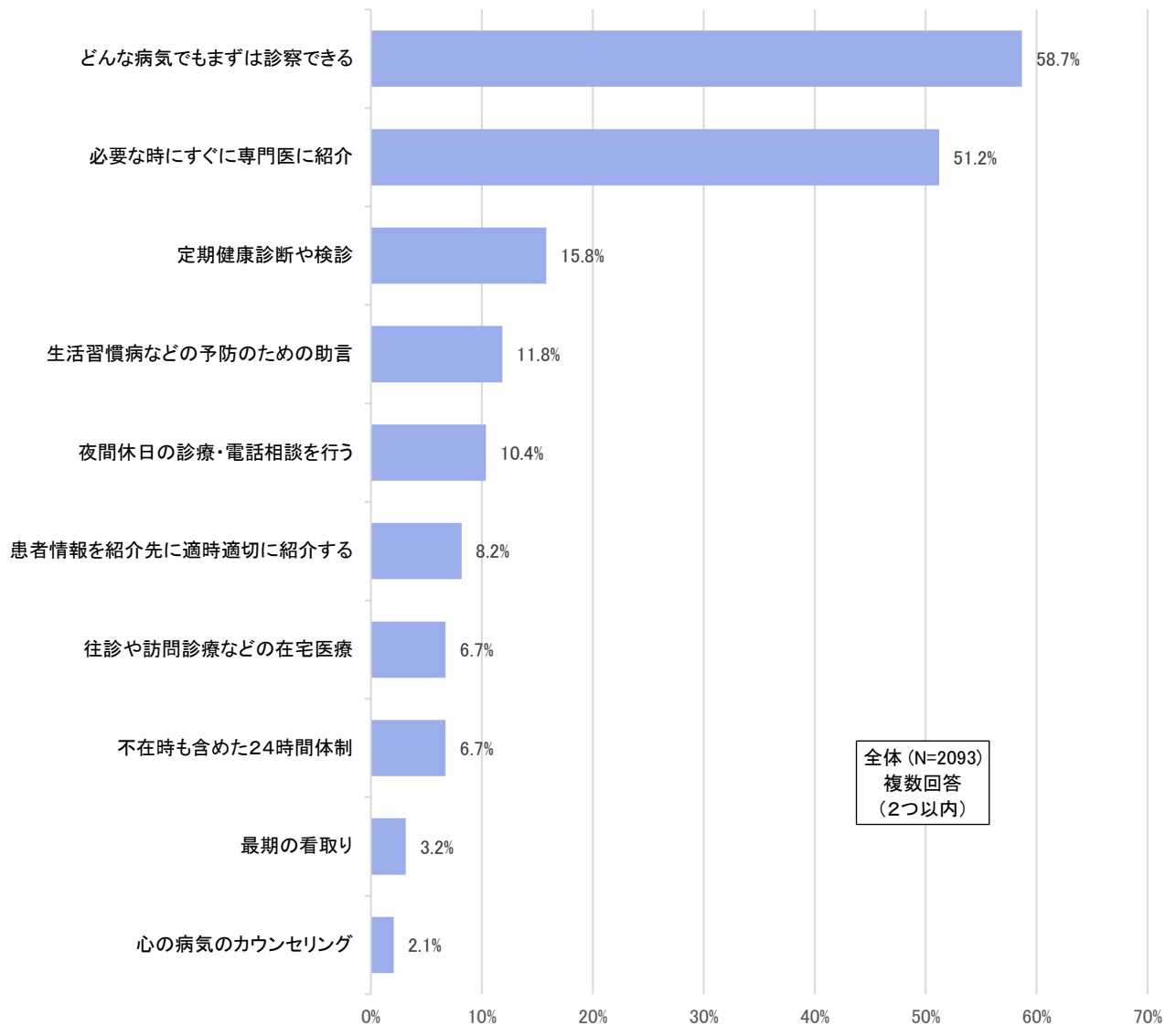
保健医療圏別



■ 決めている ■ 現在は決めていないが、決めたいと思っている ■ 決めていないし、必要とは思わない ■ 無回答

問26 あなたは、かかりつけ医にどのような医療や体制を特に望みますか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- かかりつけ医に望む医療や体制としては、「どんな病気でもまずは診察できる」(58.7%)が最も多く、以下「必要な時にすぐに専門医に紹介」(51.2%)、「定期健康診断や検診」(15.8%)が続いています。
- 男女別、年齢層別、保健医療圏別に見た場合でも、概ね同様の傾向です。





### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                 | 2位    |                | 3位    |                               |
|----------------|-------|-----------------|-------|----------------|-------|-------------------------------|
|                | 割合(%) | 項目              | 割合(%) | 項目             | 割合(%) | 項目                            |
| 男性<br>(N=894)  | 59.6  | どんな病気でもまずは診察できる | 48.7  | 必要な時にすぐに専門医に紹介 | 15.4  | 定期健康診断や検診<br>生活習慣病などの予防のための助言 |
| 女性<br>(N=1195) | 58.1  | どんな病気でもまずは診察できる | 53.2  | 必要な時にすぐに専門医に紹介 | 16.2  | 定期健康診断や検診                     |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                 | 2位    |                 | 3位    |                 |
|--------------------|-------|-----------------|-------|-----------------|-------|-----------------|
|                    | 割合(%) | 項目              | 割合(%) | 項目              | 割合(%) | 項目              |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 68.9  | どんな病気でもまずは診察できる | 47.7  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 17.2  | 定期健康診断や検診       |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 57.5  | どんな病気でもまずは診察できる | 43.9  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 19.7  | 定期健康診断や検診       |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 67.5  | どんな病気でもまずは診察できる | 52.5  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 13.4  | 夜間休日の診療・電話相談を行う |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 60.2  | どんな病気でもまずは診察できる | 56.7  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 13.4  | 夜間休日の診療・電話相談を行う |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 56.9  | どんな病気でもまずは診察できる | 50.0  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 18.3  | 定期健康診断や検診       |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 60.6  | どんな病気でもまずは診察できる | 54.5  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 16.3  | 定期健康診断や検診       |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 51.3  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 47.9  | どんな病気でもまずは診察できる | 21.1  | 定期健康診断や検診       |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 50.5  | どんな病気でもまずは診察できる | 47.5  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 19.5  | 定期健康診断や検診       |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

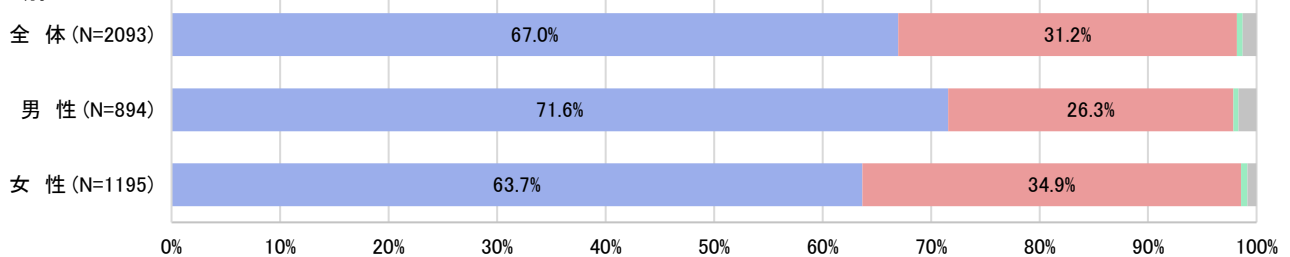
| 保健医療圏          | 1位    |                 | 2位    |                 | 3位    |                              |
|----------------|-------|-----------------|-------|-----------------|-------|------------------------------|
|                | 割合(%) | 項目              | 割合(%) | 項目              | 割合(%) | 項目                           |
| 和歌山<br>(N=909) | 60.8  | どんな病気でもまずは診察できる | 51.3  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 17.3  | 定期健康診断や検診                    |
| 那賀<br>(N=244)  | 59.0  | どんな病気でもまずは診察できる | 50.8  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 15.6  | 定期健康診断や検診                    |
| 橋本<br>(N=199)  | 57.3  | どんな病気でもまずは診察できる | 50.8  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 20.6  | 定期健康診断や検診                    |
| 有田<br>(N=161)  | 62.7  | どんな病気でもまずは診察できる | 56.5  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 13.0  | 定期健康診断や検診<br>夜間休日の診療・電話相談を行う |
| 御坊<br>(N=136)  | 55.9  | どんな病気でもまずは診察できる | 55.1  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 14.0  | 夜間休日の診療・電話相談を行う              |
| 田辺<br>(N=276)  | 55.8  | どんな病気でもまずは診察できる | 46.4  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 13.0  | 定期健康診断や検診                    |
| 新宮<br>(N=128)  | 56.3  | 必要な時にすぐに専門医に紹介  | 54.7  | どんな病気でもまずは診察できる | 14.8  | 定期健康診断や検診                    |

## 9 健康診断について

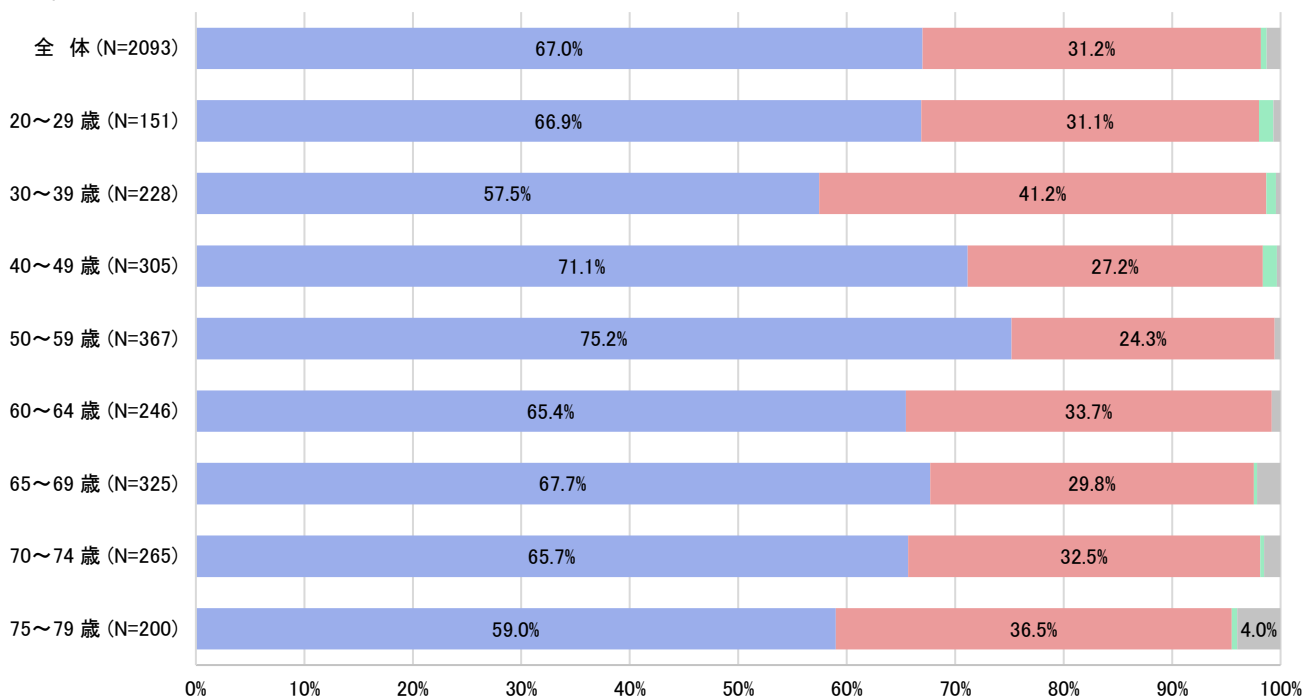
問27 あなたは、過去1年間に健診等(健康診断、健康診査および人間ドック)を受けましたか。

- 過去1年間に健診等を受けたとの回答は、全体の7割弱となっています。
- 年齢層別では、30歳代で最も低く(57.5%)、50歳代で最も高く(75.2%)となっています。

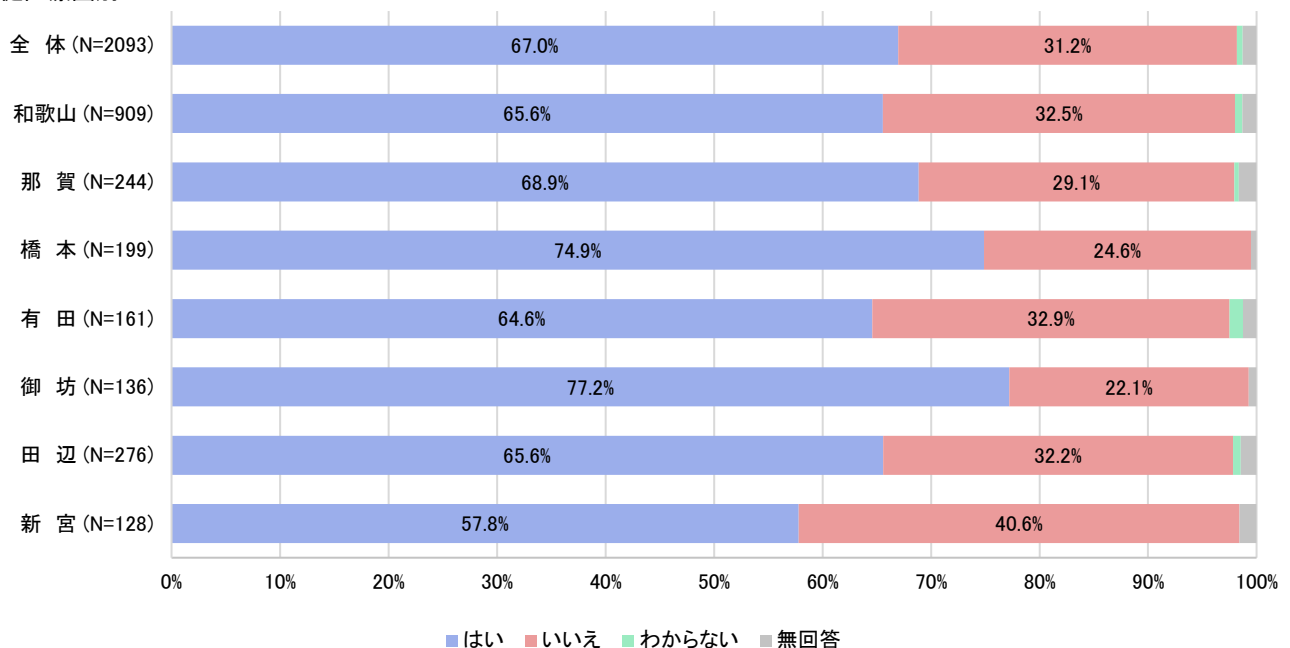
### 男女別



### 年齢層別



### 保健医療圏別



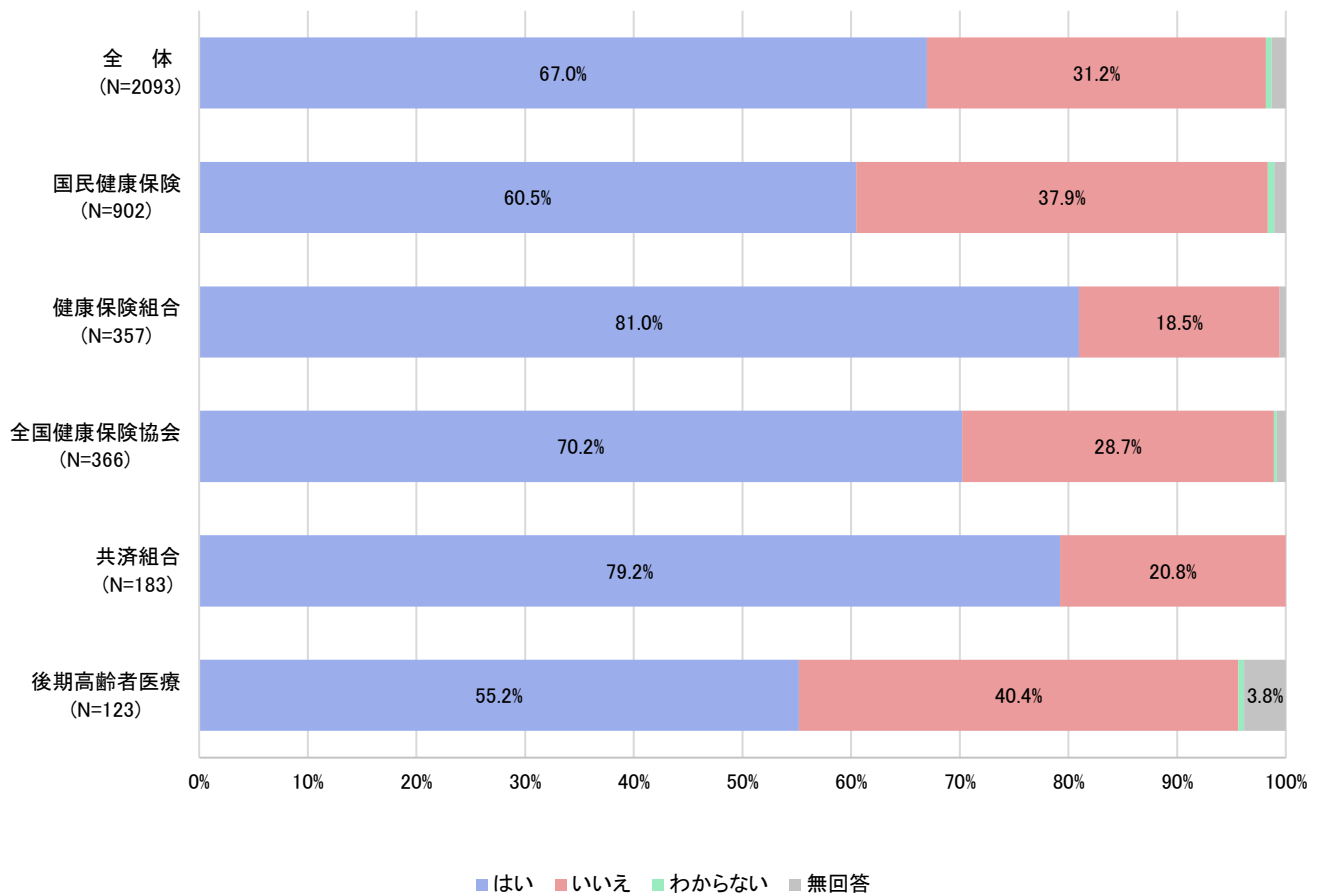
■ はい ■ いいえ ■ わからない ■ 無回答

【 参 考 】

健診等(健康診断、健康診査および人間ドック)の過去1年間の受診状況(県全体)は、加入保険別では以下のとおりです。(注)全体の標本数には、加入保険について無回答の方も含んでいます。

○ 加入保険別で、過去1年間に健診等を受けたとの回答は、「健康保険組合」が最も多く(81.0%)、「後期高齢者医療」が最も少なく(55.2%)なっています。

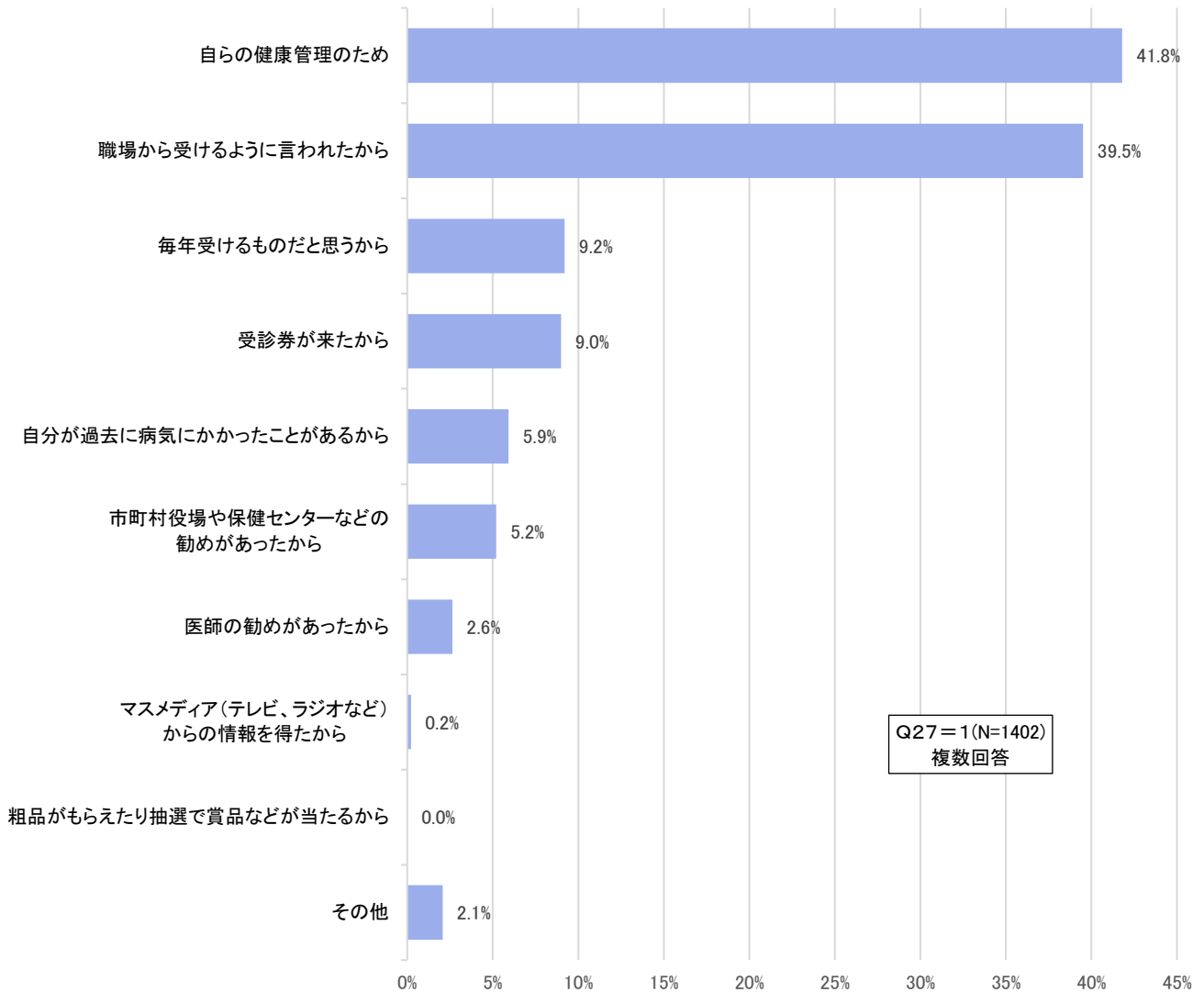
加入保険別



問28 問27 で「①はい」と回答された方にお尋ねします。健診等を受診した理由は何ですか。

(注) 複数回答を有効として集計しています。

- 健診等を受診した理由としては、「自らの健康管理のため」(41.8%)が最も多く、以下「職場から受けるように言われたから」(39.5%)、「毎年受けるものだと思うから」(9.2%)が続いています。
- 年齢層別で最も多かった回答は、20～50歳代で「職場から受けるように言われたから」、60～70歳代で「自らの健康管理のため」となっています。



### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別          | 1位    |                  | 2位    |                  | 3位    |               |
|---------------|-------|------------------|-------|------------------|-------|---------------|
|               | 割合(%) | 項目               | 割合(%) | 項目               | 割合(%) | 項目            |
| 男性<br>(N=640) | 44.2  | 職場から受けるように言われたから | 38.0  | 自らの健康管理のため       | 8.0   | 毎年受けるものだと思うから |
| 女性<br>(N=761) | 45.1  | 自らの健康管理のため       | 35.6  | 職場から受けるように言われたから | 11.0  | 受診券が来たから      |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

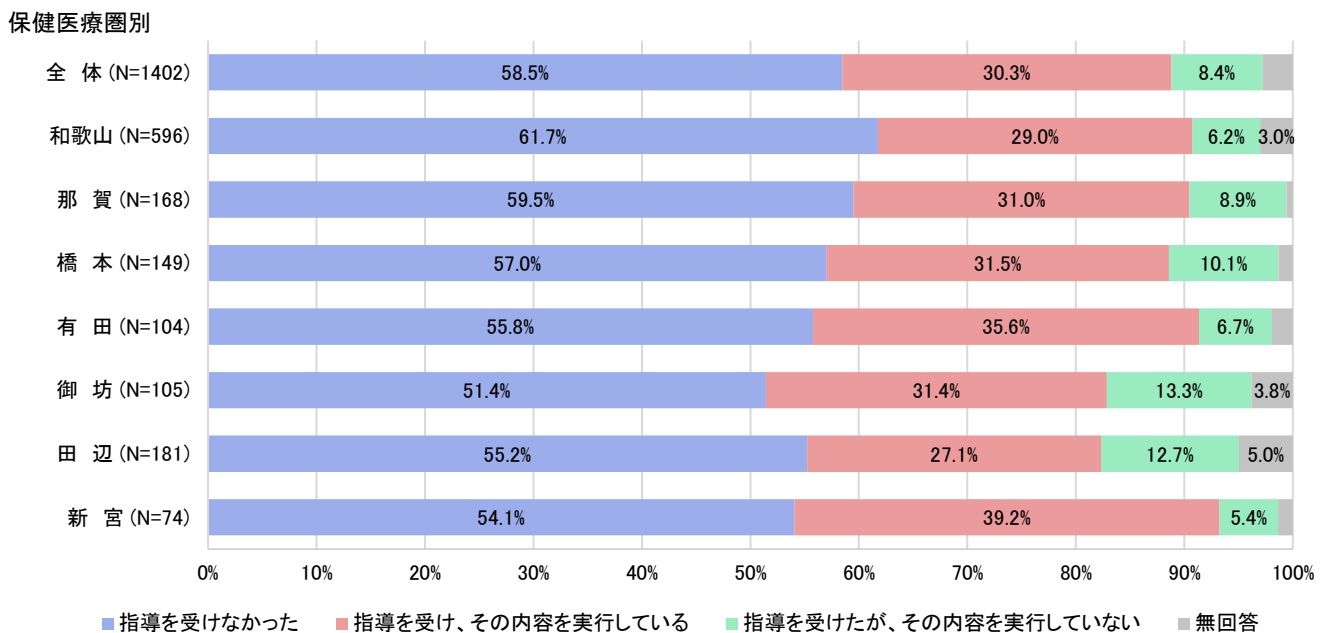
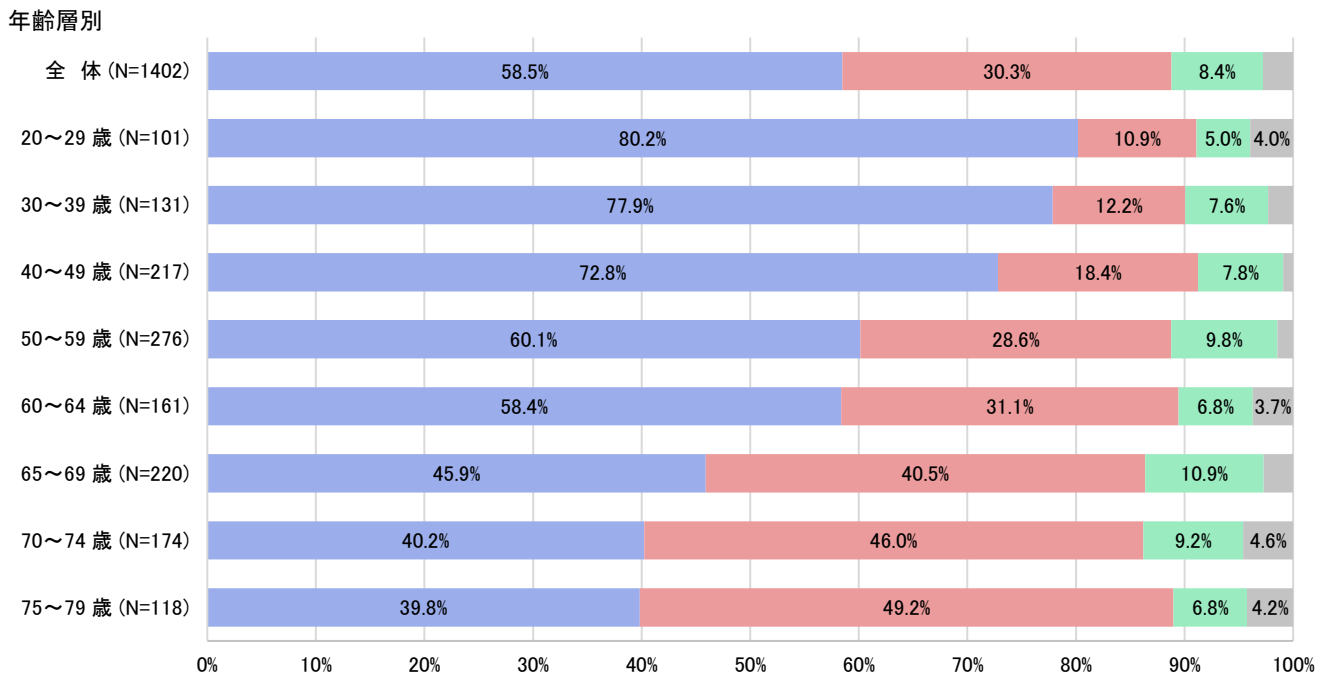
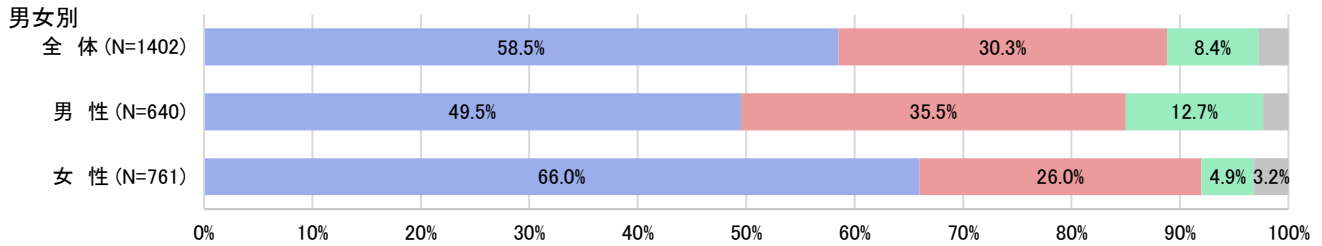
| 年齢層                | 1位    |                  | 2位    |                                       | 3位    |                           |
|--------------------|-------|------------------|-------|---------------------------------------|-------|---------------------------|
|                    | 割合(%) | 項目               | 割合(%) | 項目                                    | 割合(%) | 項目                        |
| 20～29 歳<br>(N=101) | 86.1  | 職場から受けるように言われたから | 8.9   | その他                                   | 3.0   | 自らの健康管理のため                |
| 30～39 歳<br>(N=131) | 78.6  | 職場から受けるように言われたから | 16.8  | 自らの健康管理のため                            | 3.1   | 毎年受けるものだと思うから<br>受診券が来たから |
| 40～49 歳<br>(N=217) | 60.8  | 職場から受けるように言われたから | 29.5  | 自らの健康管理のため                            | 6.5   | 毎年受けるものだと思うから<br>受診券が来たから |
| 50～59 歳<br>(N=276) | 49.6  | 職場から受けるように言われたから | 38.8  | 自らの健康管理のため                            | 9.8   | 毎年受けるものだと思うから             |
| 60～64 歳<br>(N=161) | 49.7  | 自らの健康管理のため       | 30.4  | 職場から受けるように言われたから                      | 9.9   | 受診券が来たから                  |
| 65～69 歳<br>(N=220) | 60.9  | 自らの健康管理のため       | 15.9  | 受診券が来たから                              | 14.5  | 毎年受けるものだと思うから             |
| 70～74 歳<br>(N=174) | 58.0  | 自らの健康管理のため       | 16.1  | 受診券が来たから                              | 14.4  | 毎年受けるものだと思うから             |
| 75～79 歳<br>(N=118) | 62.7  | 自らの健康管理のため       | 12.7  | 毎年受けるものだと思うから<br>自分が過去に病気にかかったことがあるから |       |                           |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |                                | 2位    |                  | 3位    |                                     |
|----------------|-------|--------------------------------|-------|------------------|-------|-------------------------------------|
|                | 割合(%) | 項目                             | 割合(%) | 項目               | 割合(%) | 項目                                  |
| 和歌山<br>(N=596) | 42.1  | 職場から受けるように言われたから               | 37.6  | 自らの健康管理のため       | 11.4  | 受診券が来たから                            |
| 那賀<br>(N=168)  | 41.7  | 自らの健康管理のため                     | 39.9  | 職場から受けるように言われたから | 11.3  | 毎年受けるものだと思うから                       |
| 橋本<br>(N=149)  | 49.7  | 自らの健康管理のため                     | 34.9  | 職場から受けるように言われたから | 11.4  | 毎年受けるものだと思うから<br>受診券が来たから           |
| 有田<br>(N=104)  | 52.9  | 自らの健康管理のため                     | 34.6  | 職場から受けるように言われたから | 6.7   | 受診券が来たから<br>市町村役場や保健センターなどの勧めがあったから |
| 御坊<br>(N=105)  | 45.7  | 自らの健康管理のため                     | 38.1  | 職場から受けるように言われたから | 13.3  | 毎年受けるものだと思うから                       |
| 田辺<br>(N=181)  | 41.4  | 自らの健康管理のため<br>職場から受けるように言われたから |       |                  | 9.4   | 市町村役場や保健センターなどの勧めがあったから             |
| 新宮<br>(N=74)   | 44.6  | 自らの健康管理のため                     | 29.7  | 職場から受けるように言われたから | 12.2  | 自分が過去に病気にかかったことがあるから                |

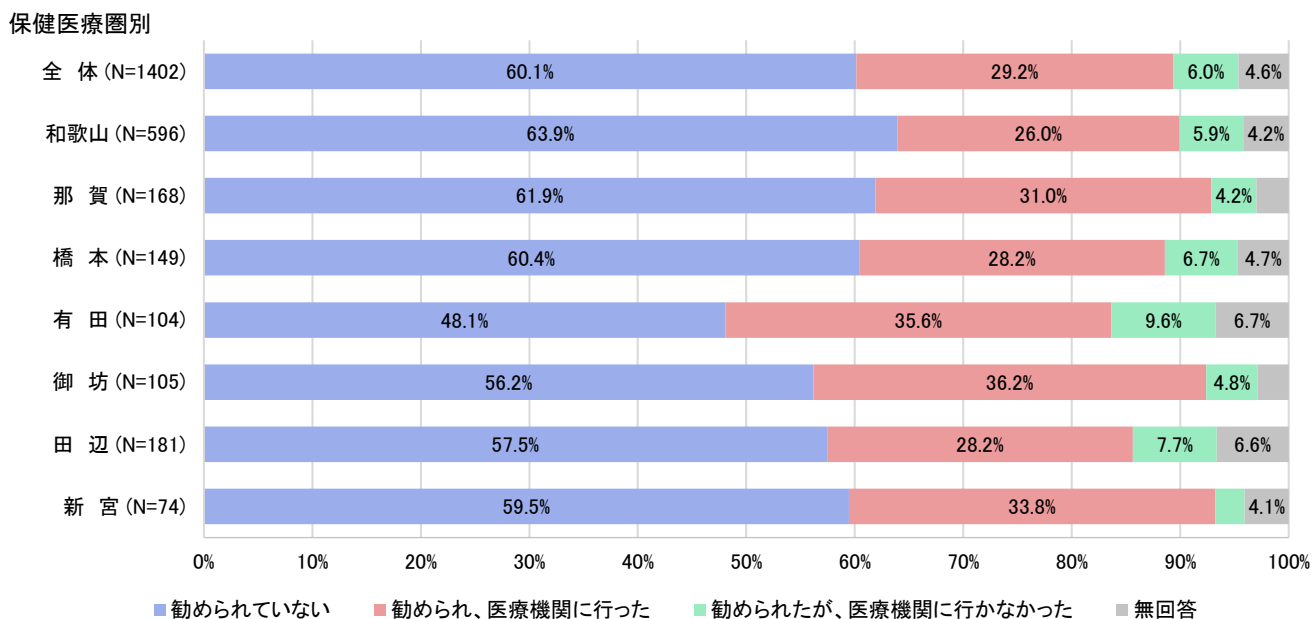
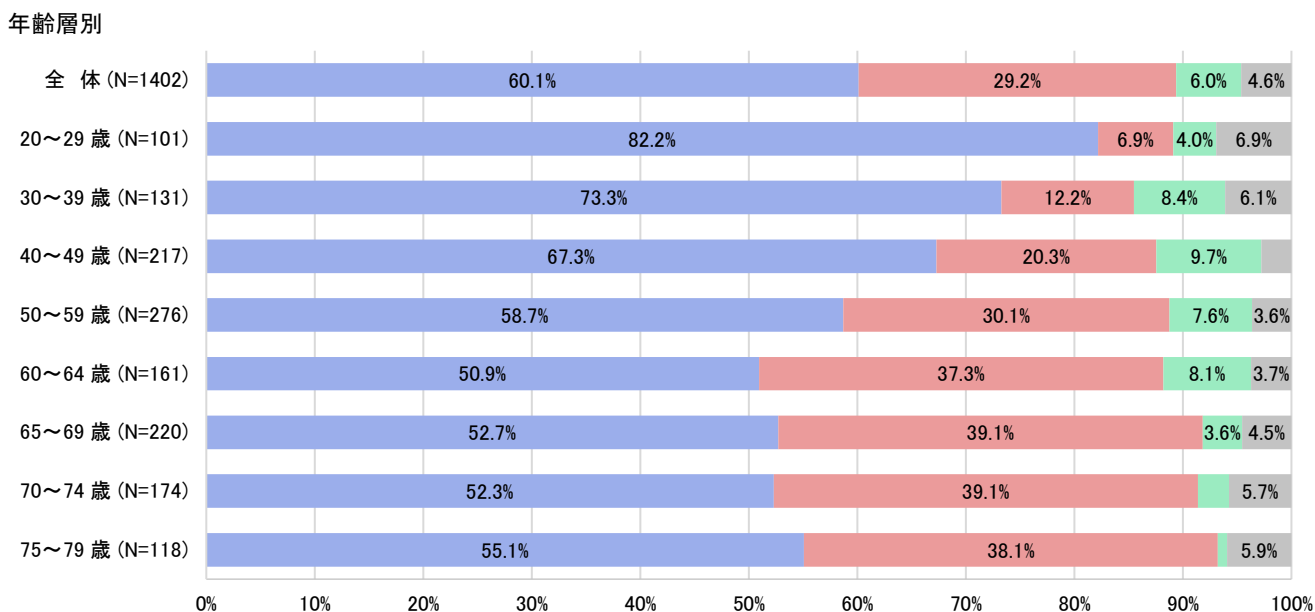
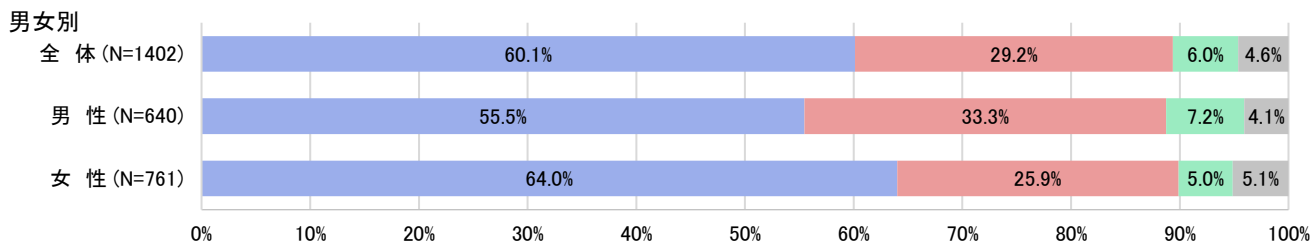
問29 問27で「①はい」と回答された方にお尋ねします。健診等を受診した結果、保健指導(食事や生活習慣の改善の指導)を受けましたか。また、指導を受けた場合には、その内容を実行していますか。

- 健診等を受診した結果については、「指導を受けなかった」(58.5%)が最も多く、次いで「指導を受け、その内容を実行している」(30.3%)となっています。
- 「指導を受けなかった」との回答は、年齢層別では20歳代(80.2%)で最も多く、年齢層が上がるに従って、その割合が減少しています。



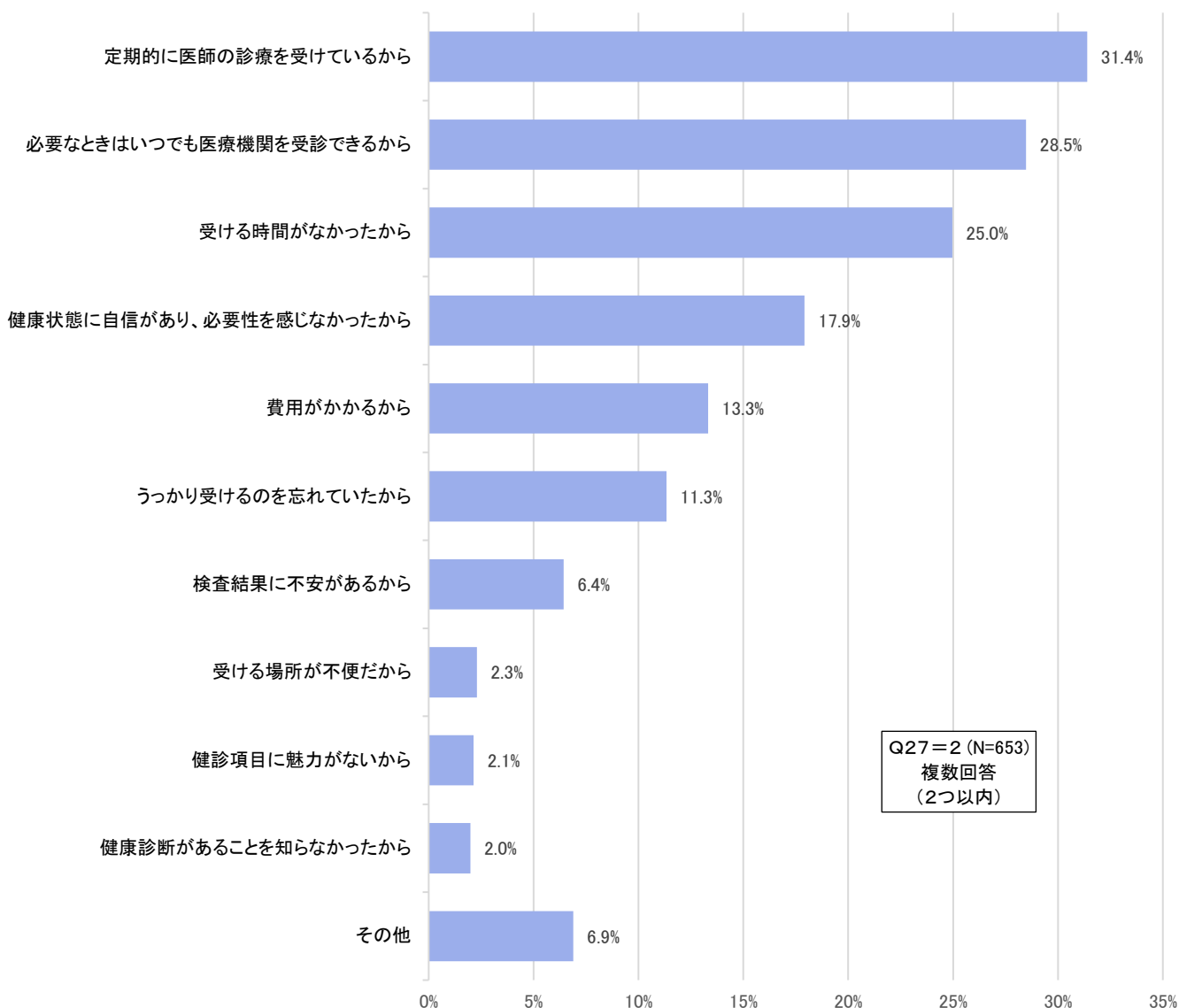
問30 問 27 で「①はい」と回答された方にお尋ねします。健診等の後、医療機関を受診するように勧められましたか。また、勧められた方は、その後、医療機関に行きましたか。

- 健診等の後は、医療機関を受診するように「勧められていない」(60.1%)が最も多く、次いで「勧められ、医療機関に行った」(29.2%)となっています。
- 「勧められ、医療機関に行った」との回答は、20歳代では6.9%ですが、年齢層が高くなるに従って増加し、60歳代以上では4割近くを占めています。



問31 問27で「②いいえ」と回答された方にお尋ねします。健診等を受けなかった理由は何ですか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- 健診等を受けなかった理由としては、「定期的に医師の診療を受けているから」(31.4%)が最も多く、以下「必要なときはいつでも医療機関を受診できるから」(28.5%)、「受ける時間がなかったから」(25.0%)が続いています。
- 年齢層別で最も多かった回答は、20歳代で「費用がかかるから」、30～40歳代で「受ける時間がなかったから」、50歳代で「必要なときはいつでも医療機関を受診できるから」、60～70歳代で「定期的に医師の診療を受けているから」となっています。





### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別          | 1位    |                   | 2位    |                        | 3位    |              |
|---------------|-------|-------------------|-------|------------------------|-------|--------------|
|               | 割合(%) | 項目                | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目           |
| 男性<br>(N=235) | 32.8  | 定期的に医師の診療を受けているから | 29.8  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから | 23.0  | 受ける時間がなかったから |
| 女性<br>(N=417) | 30.7  | 定期的に医師の診療を受けているから | 27.8  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから | 26.1  | 受ける時間がなかったから |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

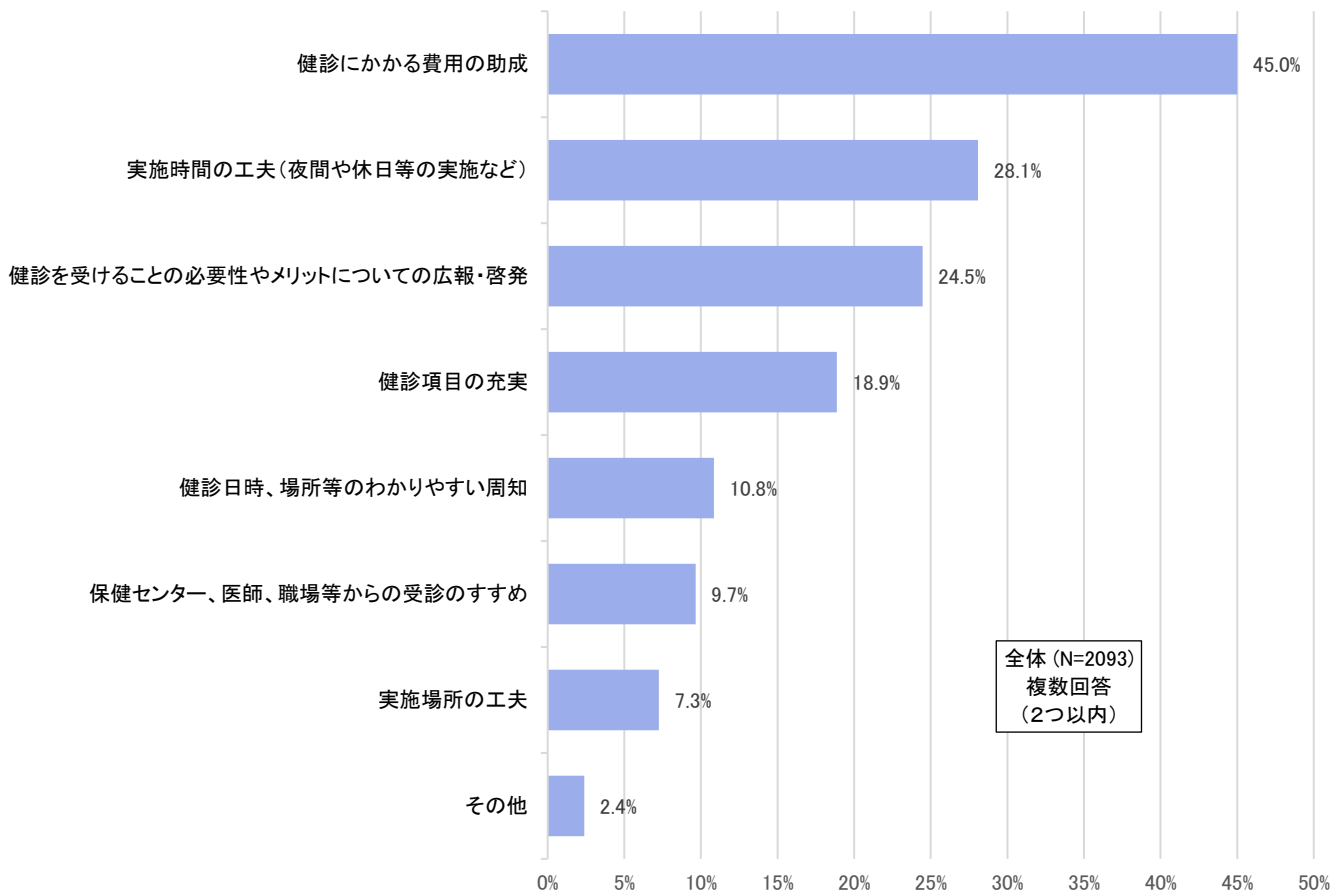
| 年齢層               | 1位    |                        | 2位    |   | 3位    |                         |
|-------------------|-------|------------------------|-------|---|-------|-------------------------|
|                   | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目                                      | 割合(%) | 項目                      |
| 20～29 歳<br>(N=47) | 36.2  | 費用がかかるから               | 31.9  | 受ける時間がなかったから<br>健康状態に自信があり、必要性を感じなかったから |       |                         |
| 30～39 歳<br>(N=94) | 40.4  | 受ける時間がなかったから           | 27.7  | 費用がかかるから                                | 16.0  | その他                     |
| 40～49 歳<br>(N=83) | 49.4  | 受ける時間がなかったから           | 26.5  | うっかり受けるのを忘れていたから                        | 20.5  | 健康状態に自信があり、必要性を感じなかったから |
| 50～59 歳<br>(N=89) | 31.5  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから | 25.8  | 受ける時間がなかったから                            | 21.3  | 定期的に医師の診療を受けているから       |
| 60～64 歳<br>(N=83) | 34.9  | 定期的に医師の診療を受けているから      | 33.7  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから                  | 22.9  | 受ける時間がなかったから            |
| 65～69 歳<br>(N=97) | 39.2  | 定期的に医師の診療を受けているから      | 36.1  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから                  | 25.8  | 健康状態に自信があり、必要性を感じなかったから |
| 70～74 歳<br>(N=86) | 58.1  | 定期的に医師の診療を受けているから      | 33.7  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから                  | 15.1  | 健康状態に自信があり、必要性を感じなかったから |
| 75～79 歳<br>(N=73) | 67.1  | 定期的に医師の診療を受けているから      | 39.7  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから                  | 11.0  | 健康状態に自信があり、必要性を感じなかったから |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |                        | 2位    |                        | 3位    |   |
|----------------|-------|------------------------|-------|------------------------|-------|---|
|                | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目  |
| 和歌山<br>(N=295) | 29.2  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから | 28.1  | 定期的に医師の診療を受けているから      | 26.8  | 受ける時間がなかったから  |
| 那賀<br>(N=71)   | 29.6  | 受ける時間がなかったから           | 23.9  | 定期的に医師の診療を受けているから      | 19.7  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから<br>健康状態に自信があり、必要性を感じなかったから<br>うっかり受けるのを忘れていたから |
| 橋本<br>(N=49)   | 38.8  | 定期的に医師の診療を受けているから      | 28.6  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから | 20.4  | 受ける時間がなかったから  |
| 有田<br>(N=53)   | 45.3  | 定期的に医師の診療を受けているから      | 34.0  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから | 24.5  | 受ける時間がなかったから  |
| 御坊<br>(N=30)   | 36.7  | 受ける時間がなかったから           | 26.7  | 定期的に医師の診療を受けているから      | 23.3  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから<br>費用がかかるから                                    |
| 田辺<br>(N=89)   | 34.8  | 定期的に医師の診療を受けているから      | 31.5  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから | 16.9  | 健康状態に自信があり、必要性を感じなかったから   |
| 新宮<br>(N=52)   | 36.5  | 定期的に医師の診療を受けているから      | 32.7  | 必要なときはいつでも医療機関を受診できるから | 23.1  | 受ける時間がなかったから  |

問32 健診等を受けやすくするために必要だと思われることは何ですか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- 健診等を受けやすくするために必要だと思われることとしては、「健診にかかる費用の助成」(45.0%)が最も多く、以下「実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)」(28.1%)、「健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発」(24.5%)が続いています。
- 年齢層別では、70歳代後半を除く全ての年齢層で「健診にかかる費用の助成」が最も多くなっていますが、40～50歳代においては、「実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)」も比較的高い値を示しています。



### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |             | 2位    |                      | 3位    |                             |
|----------------|-------|-------------|-------|----------------------|-------|-----------------------------|
|                | 割合(%) | 項目          | 割合(%) | 項目                   | 割合(%) | 項目                          |
| 男性<br>(N=894)  | 46.3  | 健診にかかる費用の助成 | 28.2  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など) | 23.8  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 |
| 女性<br>(N=1195) | 44.1  | 健診にかかる費用の助成 | 28.1  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など) | 25.0  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                             | 2位    |                             | 3位    |                             |
|--------------------|-------|-----------------------------|-------|-----------------------------|-------|-----------------------------|
|                    | 割合(%) | 項目                          | 割合(%) | 項目                          | 割合(%) | 項目                          |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 56.3  | 健診にかかる費用の助成                 | 29.8  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)        | 25.2  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 61.8  | 健診にかかる費用の助成                 | 39.0  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)        | 15.4  | 健診日時、場所等のわかりやすい周知           |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 51.1  | 健診にかかる費用の助成                 | 41.3  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)        | 17.7  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 48.8  | 健診にかかる費用の助成                 | 40.1  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)        | 19.3  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 46.3  | 健診にかかる費用の助成                 | 28.5  | 健診項目の充実                     | 24.0  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)        |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 43.7  | 健診にかかる費用の助成                 | 33.8  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 | 24.0  | 健診項目の充実                     |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 32.5  | 健診にかかる費用の助成                 | 32.1  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 | 23.4  | 健診項目の充実                     |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 34.0  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 | 19.5  | 健診にかかる費用の助成                 | 15.5  | 健診項目の充実                     |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

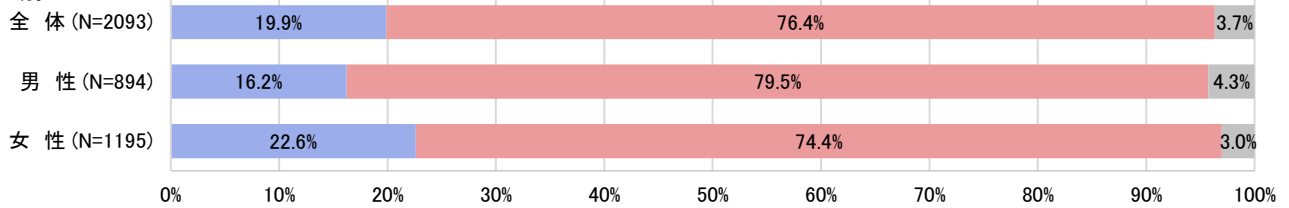
| 保健医療圏          | 1位    |             | 2位    |                             | 3位    |                             |
|----------------|-------|-------------|-------|-----------------------------|-------|-----------------------------|
|                | 割合(%) | 項目          | 割合(%) | 項目                          | 割合(%) | 項目                          |
| 和歌山<br>(N=909) | 48.2  | 健診にかかる費用の助成 | 27.5  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)        | 24.2  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 |
| 那賀<br>(N=244)  | 46.7  | 健診にかかる費用の助成 | 28.3  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)        | 26.2  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 |
| 橋本<br>(N=199)  | 39.7  | 健診にかかる費用の助成 | 27.6  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 | 25.6  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)        |
| 有田<br>(N=161)  | 41.0  | 健診にかかる費用の助成 | 31.7  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)        | 20.5  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 |
| 御坊<br>(N=136)  | 49.3  | 健診にかかる費用の助成 | 29.4  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)        | 25.0  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 |
| 田辺<br>(N=276)  | 42.4  | 健診にかかる費用の助成 | 33.7  | 実施時間の工夫(夜間や休日等の実施など)        | 21.0  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 |
| 新宮<br>(N=128)  | 35.2  | 健診にかかる費用の助成 | 32.8  | 健診を受けることの必要性やメリットについての広報・啓発 | 20.3  | 健診項目の充実                     |

## 10 健康づくりについて

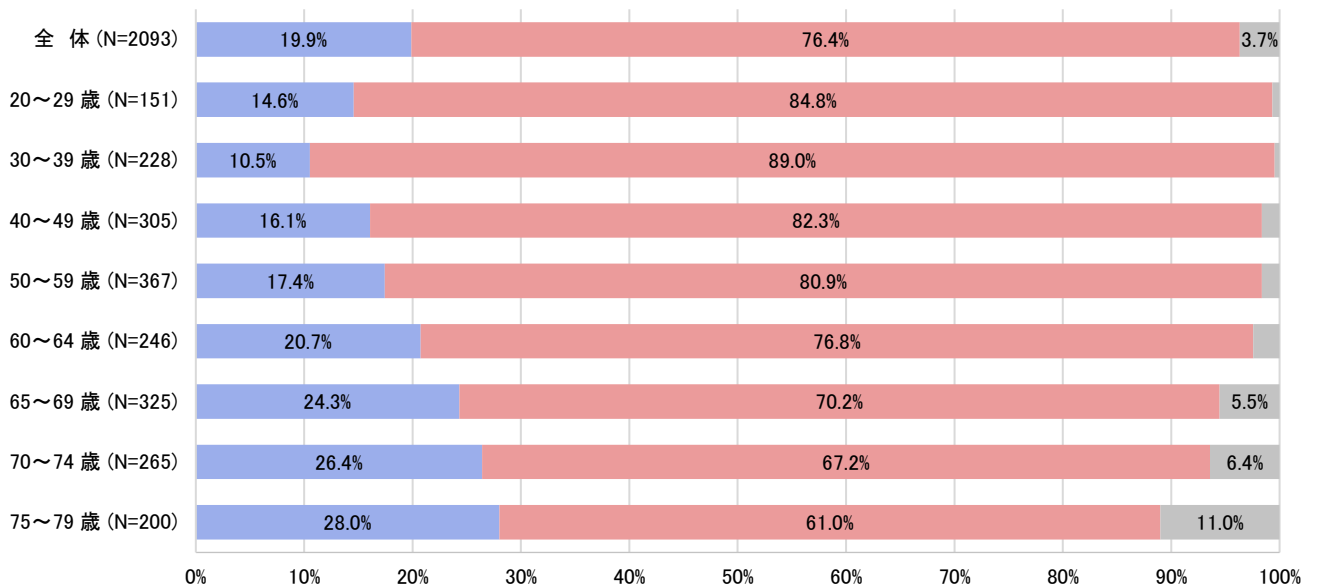
問33 健康診断の受診を呼びかけたり、市町村等が実施している健康づくり事業などを支援する県民のボランティア(健康推進員)がいることを知っていますか。

- 健康推進員の認知度については、全体の約2割に留まっています。
- 保健医療圏別では、橋本、有田、御坊の各圏域で認知度が比較的高くなっています。

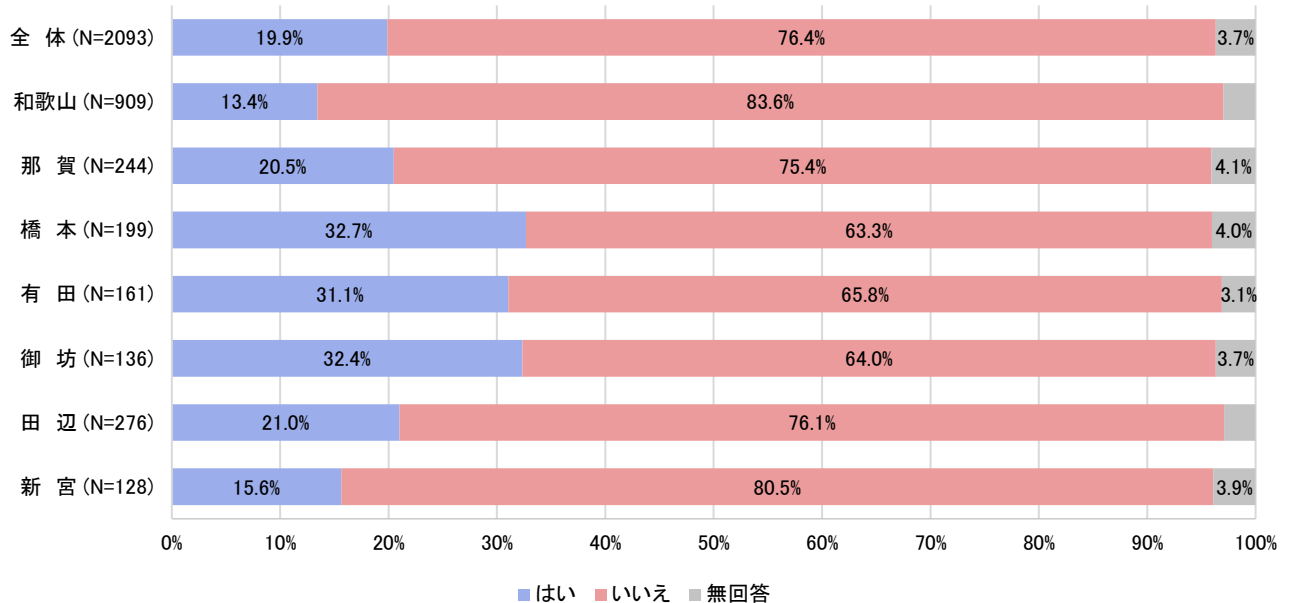
### 男女別



### 年齢層別

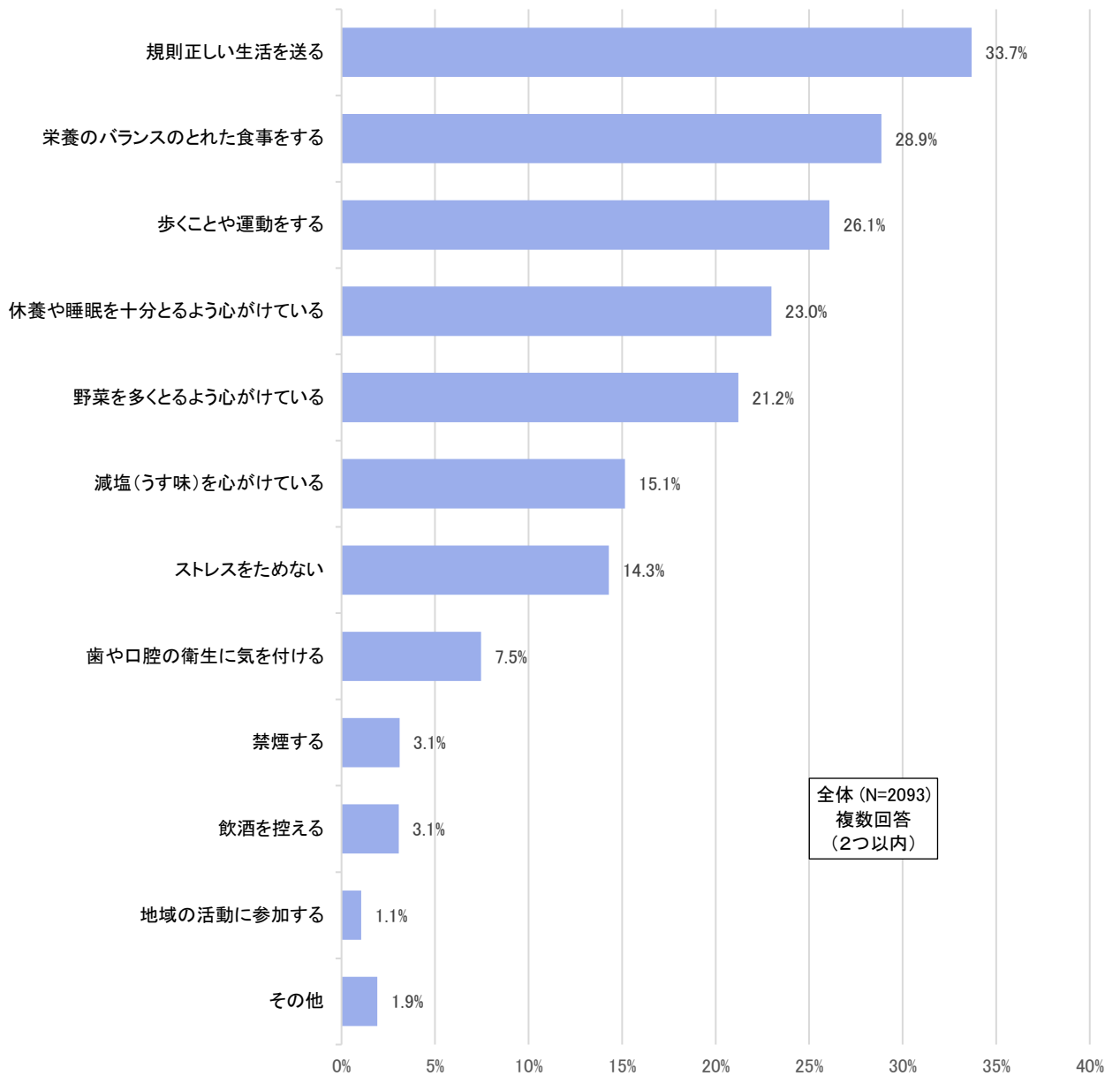


### 保健医療圏別



問34 健康づくりのために、特に気をつけていることはありますか。あてはまるものを2つまでお選びください。

○ 健康づくりのために特に気をつけていることとしては、「規則正しい生活を送る」(33.7%)が最も多く、以下「栄養のバランスのとれた食事をする」(28.9%)、「歩くことや運動をする」(26.1%)が続いています。



男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |            | 2位    |                  | 3位    |                    |
|----------------|-------|------------|-------|------------------|-------|--------------------|
|                | 割合(%) | 項目         | 割合(%) | 項目               | 割合(%) | 項目                 |
| 男性<br>(N=894)  | 30.5  | 規則正しい生活を送る | 30.2  | 歩くことや運動をする       | 21.8  | 休養や睡眠を十分とるよう心がけている |
| 女性<br>(N=1195) | 36.1  | 規則正しい生活を送る | 34.5  | 栄養のバランスのとれた食事をする | 23.8  | 休養や睡眠を十分とるよう心がけている |

年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                  | 2位    |                    | 3位    |                    |
|--------------------|-------|------------------|-------|--------------------|-------|--------------------|
|                    | 割合(%) | 項目               | 割合(%) | 項目                 | 割合(%) | 項目                 |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 31.1  | 規則正しい生活を送る       | 29.8  | 休養や睡眠を十分とるよう心がけている | 24.5  | 歩くことや運動をする         |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 33.8  | 規則正しい生活を送る       | 29.4  | 休養や睡眠を十分とるよう心がけている | 28.5  | 栄養のバランスのとれた食事をする   |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 32.8  | 栄養のバランスのとれた食事をする | 30.8  | 規則正しい生活を送る         | 26.6  | 休養や睡眠を十分とるよう心がけている |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 33.5  | 規則正しい生活を送る       | 29.7  | 栄養のバランスのとれた食事をする   | 26.2  | 歩くことや運動をする         |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 32.9  | 規則正しい生活を送る       | 28.5  | 歩くことや運動をする         | 24.4  | 栄養のバランスのとれた食事をする   |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 35.1  | 規則正しい生活を送る       | 29.5  | 栄養のバランスのとれた食事をする   | 29.2  | 歩くことや運動をする         |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 36.6  | 規則正しい生活を送る       | 30.9  | 歩くことや運動をする         | 27.2  | 栄養のバランスのとれた食事をする   |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 35.5  | 規則正しい生活を送る       | 34.5  | 歩くことや運動をする         | 32.5  | 栄養のバランスのとれた食事をする   |

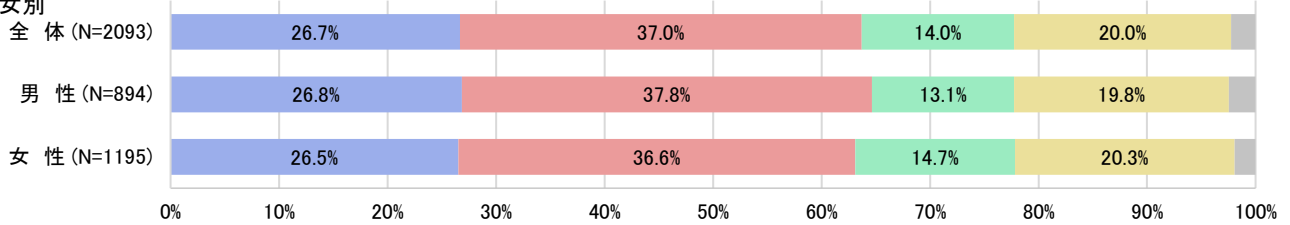
保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |                                | 2位    |                  | 3位    |                                  |
|----------------|-------|--------------------------------|-------|------------------|-------|----------------------------------|
|                | 割合(%) | 項目                             | 割合(%) | 項目               | 割合(%) | 項目                               |
| 和歌山<br>(N=909) | 31.5  | 規則正しい生活を送る                     | 28.3  | 栄養のバランスのとれた食事をする | 27.7  | 歩くことや運動をする                       |
| 那賀<br>(N=244)  | 40.2  | 規則正しい生活を送る                     | 27.0  | 栄養のバランスのとれた食事をする | 24.2  | 歩くことや運動をする<br>休養や睡眠を十分とるよう心がけている |
| 橋本<br>(N=199)  | 36.2  | 規則正しい生活を送る                     | 28.6  | 栄養のバランスのとれた食事をする | 24.6  | 歩くことや運動をする                       |
| 有田<br>(N=161)  | 28.6  | 規則正しい生活を送る<br>栄養のバランスのとれた食事をする |       |                  | 26.1  | 休養や睡眠を十分とるよう心がけている               |
| 御坊<br>(N=136)  | 29.4  | 規則正しい生活を送る                     | 25.0  | 栄養のバランスのとれた食事をする | 24.3  | 歩くことや運動をする                       |
| 田辺<br>(N=276)  | 40.2  | 規則正しい生活を送る                     | 35.5  | 栄養のバランスのとれた食事をする | 26.1  | 歩くことや運動をする                       |
| 新宮<br>(N=128)  | 33.6  | 規則正しい生活を送る                     | 29.7  | 歩くことや運動をする       | 28.9  | 栄養のバランスのとれた食事をする                 |

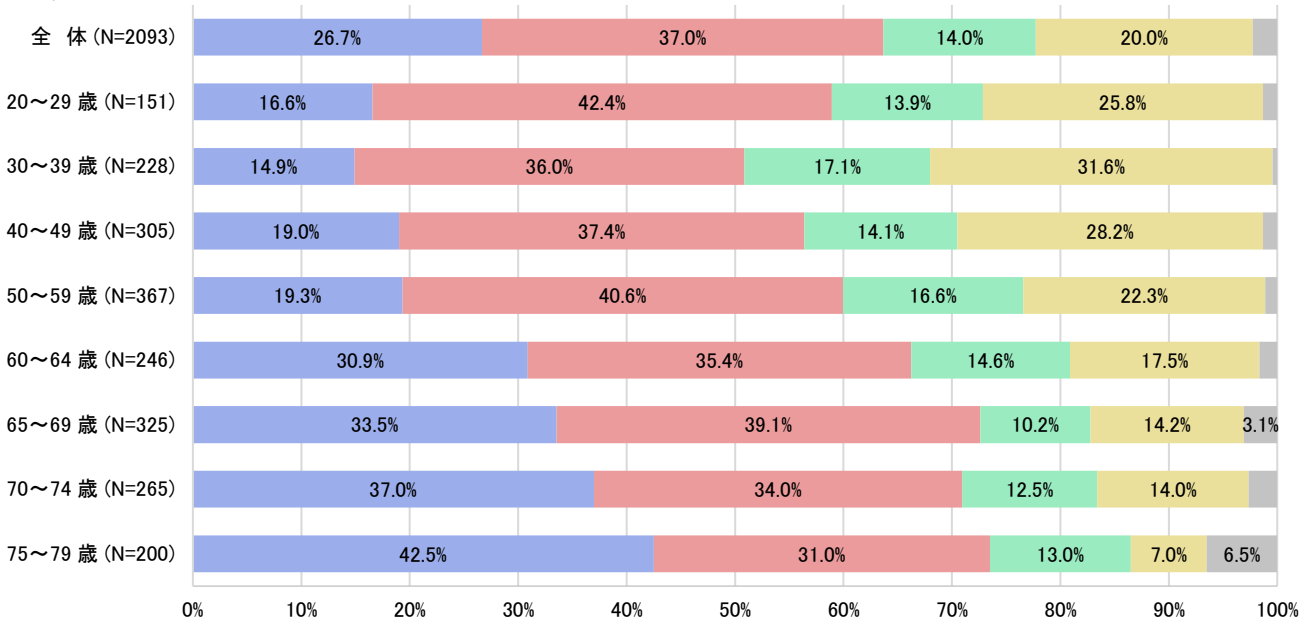
問35 日頃、自分の健康づくりのため意識的に歩く、身体を動かすなどの運動を実行していますか。

- 健康づくりのため意識的に歩く、身体を動かすなどの運動を実行しているとの回答は、「継続して」「時々」を合わせると、全体の6割強となっています。その一方で、「まったくしていない」も2割を占めています。
- 年齢層別では、概ね高い年齢層の方ほど、継続して運動を実行している傾向が見られます。

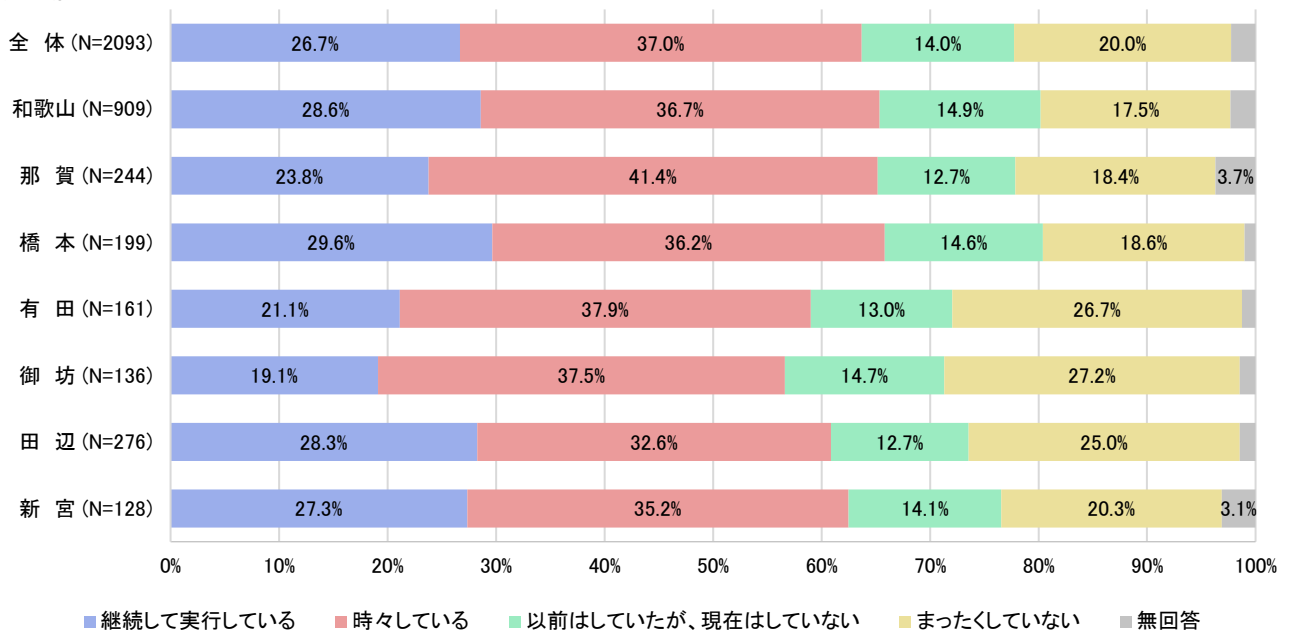
男女別



年齢層別

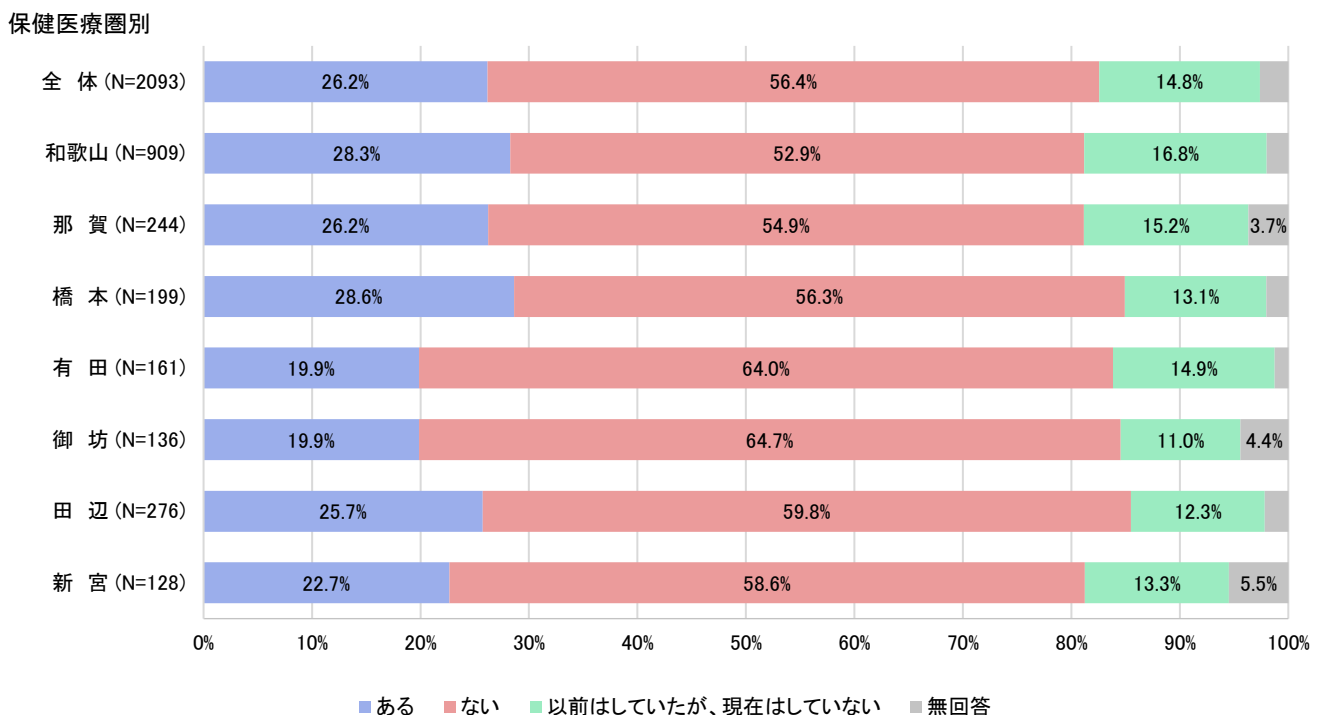
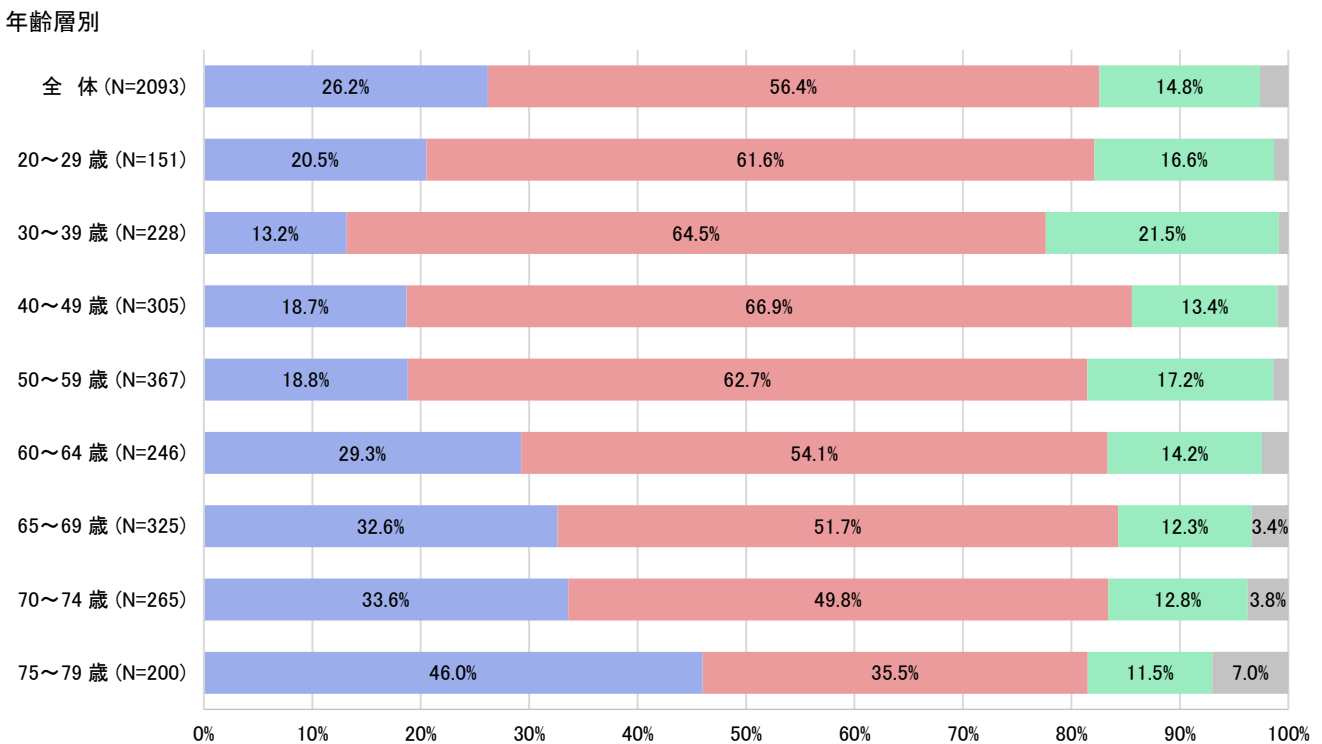
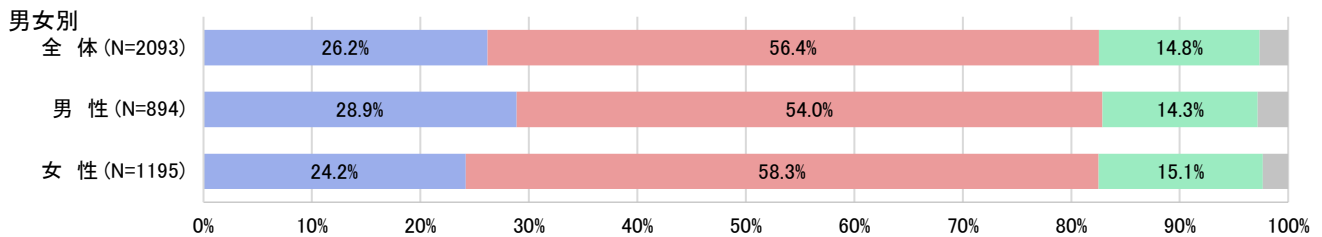


保健医療圏別



問36 1回30分以上の運動を週2回以上のペースで、1年以上続けているものがありますか。

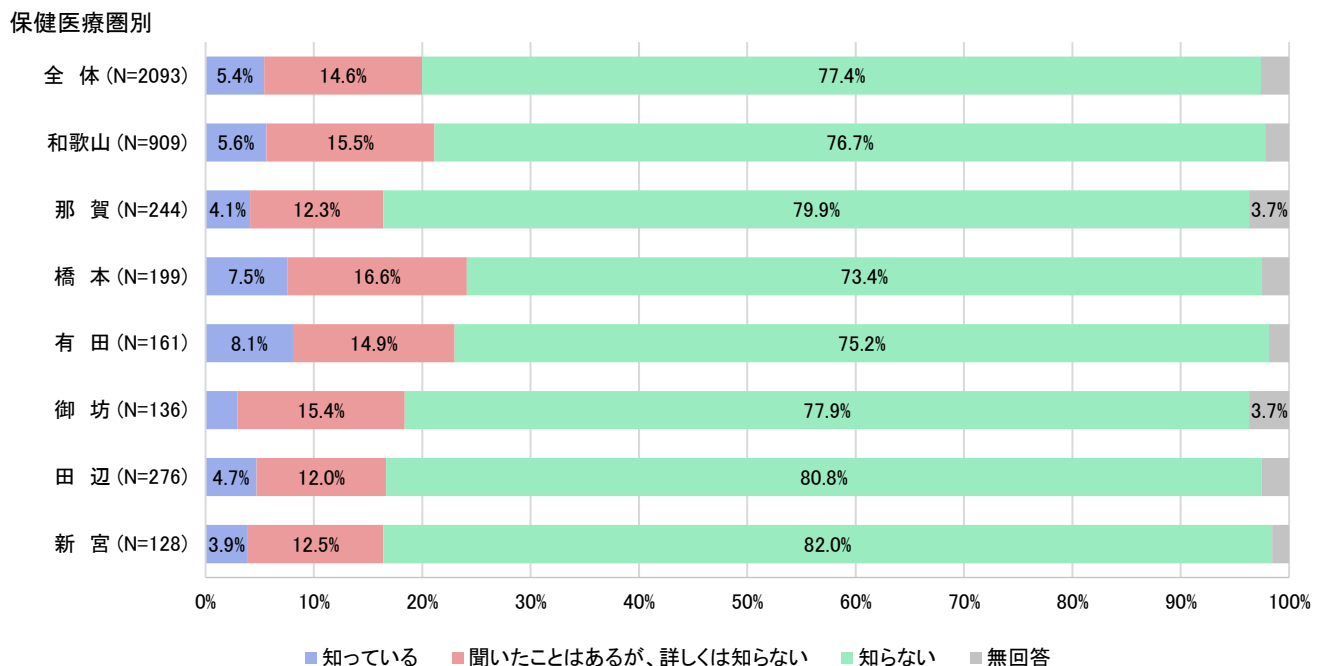
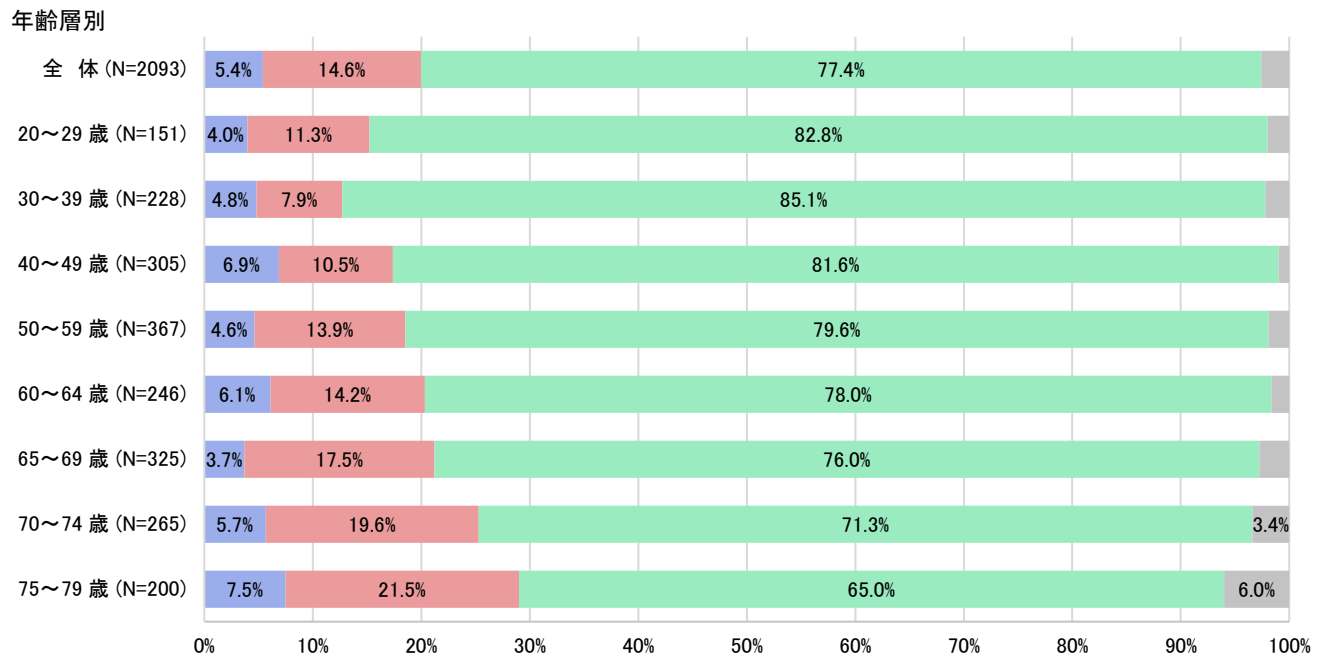
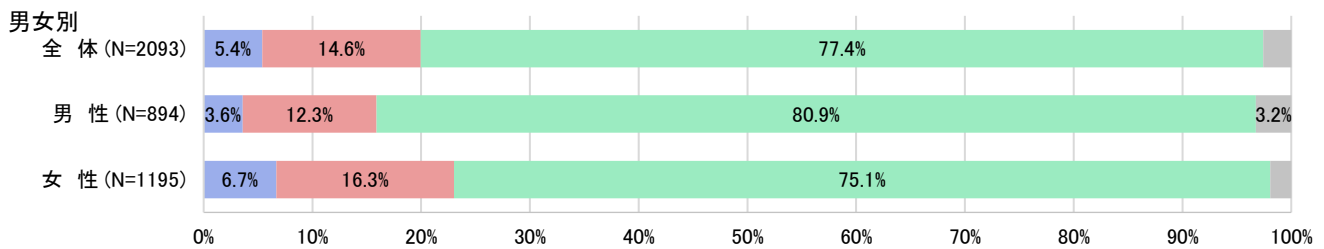
- この設問においては、「ある」との回答は全体の3割弱に留まっています。
- 年齢層別では、概ね高い年齢層の方ほど、運動を継続している傾向が見られます。





問37 加齢とともに口のまわりの筋肉が衰えたり、唾液の量が減少したりすることで、滑舌の低下、わずかなむせ、食べこぼし、口の乾燥などが起きます。このように口の機能が低下した状態を「オーラルフレイル」といいますが、あなたはこの言葉を知っていますか。

- 「オーラルフレイル」という言葉については、「知っている」との回答は全体の1割に満たず、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」を含めても、2割に留まっています。
- 年齢層別に見ると、概ね年齢層が高いほど、この言葉に触れたことのある方が多いと考えられます。



## 11 がん対策について

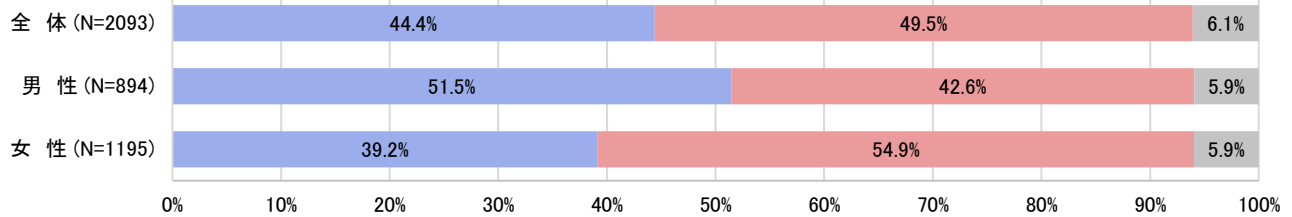
問38 「がん」は、早期発見・早期治療をすれば約9割が治るといわれる時代になりました。早期発見をするためには「がん検診」が重要ですが、あなたは過去1年間に下記(1)、(2)のがん検診を受けましたか。

(1) 肺がん検診(胸のレントゲン撮影や喀痰(かたん)検査など)

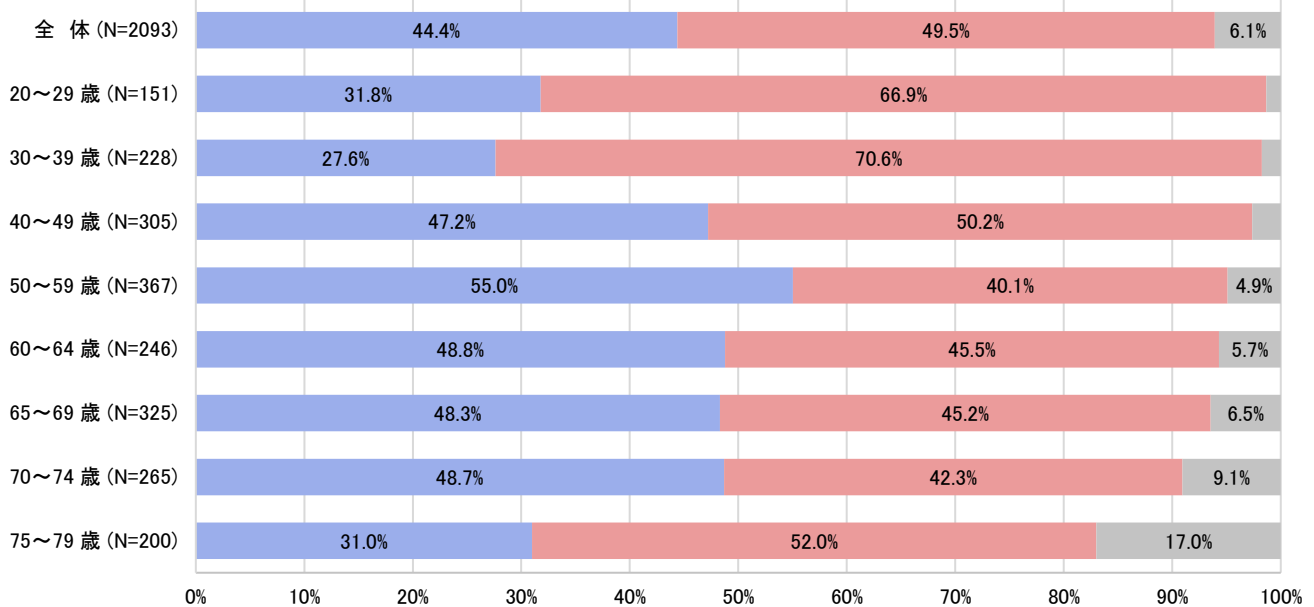
- 肺がん検診について、過去1年間に「受けた」との回答は、全体の4割強となっています。
- 年齢層別では、40歳代から70歳代前半にかけて「受けた」との回答が比較的多く、いずれの年齢層においても5割前後を占めています。

<肺がん検診>

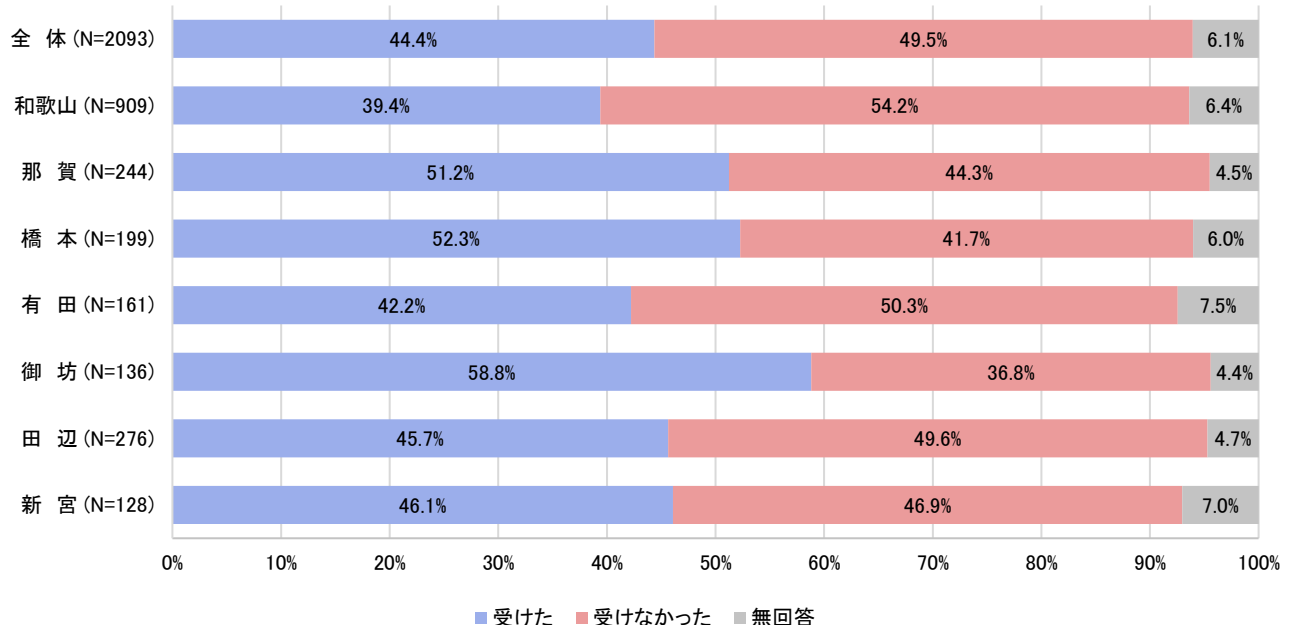
男女別



年齢層別



保健医療圏別



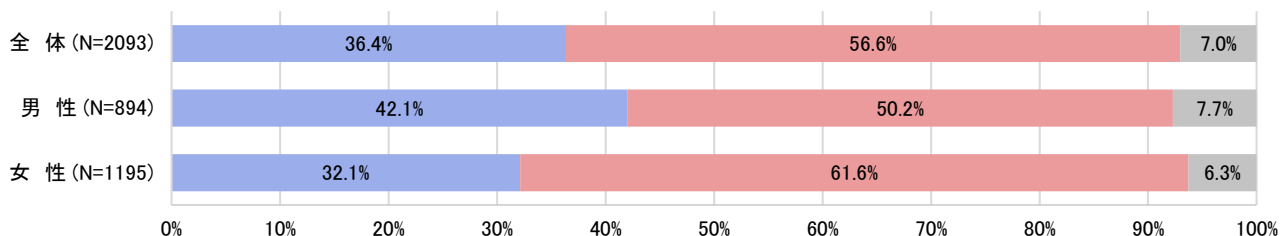
■ 受けた ■ 受けなかった ■ 無回答

## (2) 大腸がん検診(便潜血反応検査(検便)など)

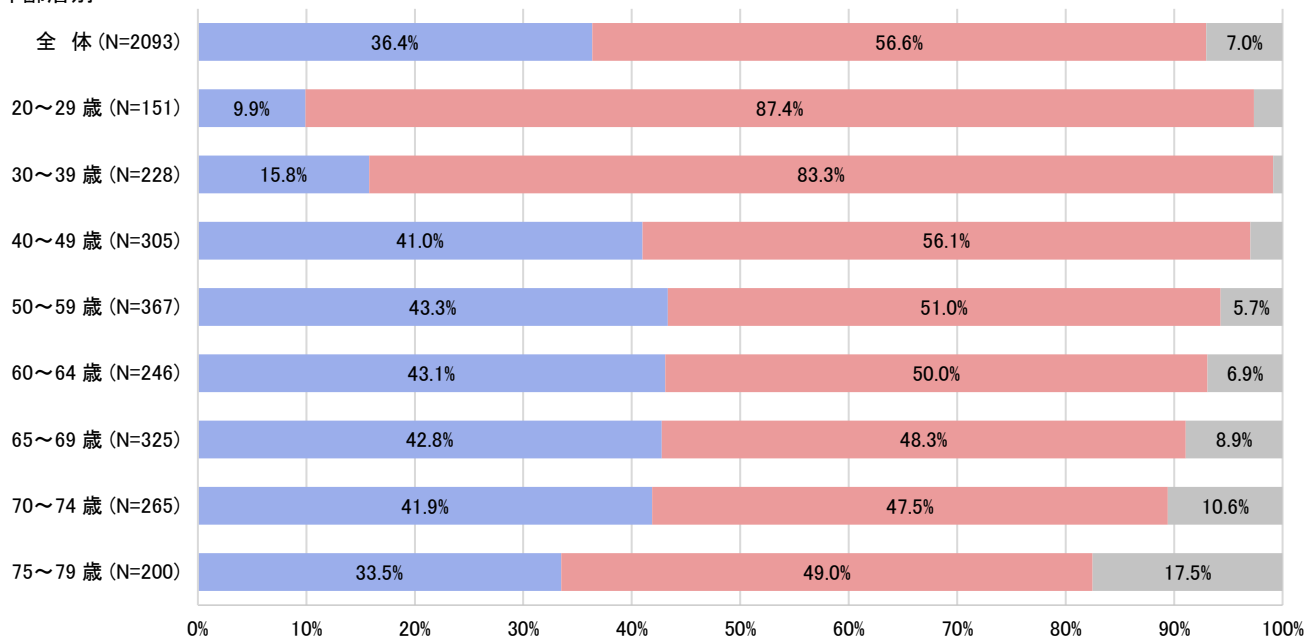
- 大腸がん検診について、過去1年間に「受けた」との回答は、全体の4割弱となっています。
- 年齢層別では、30歳代以下と40歳代以上で、「受けた」との回答の割合に大きな開きが見られます。

### <大腸がん検診>

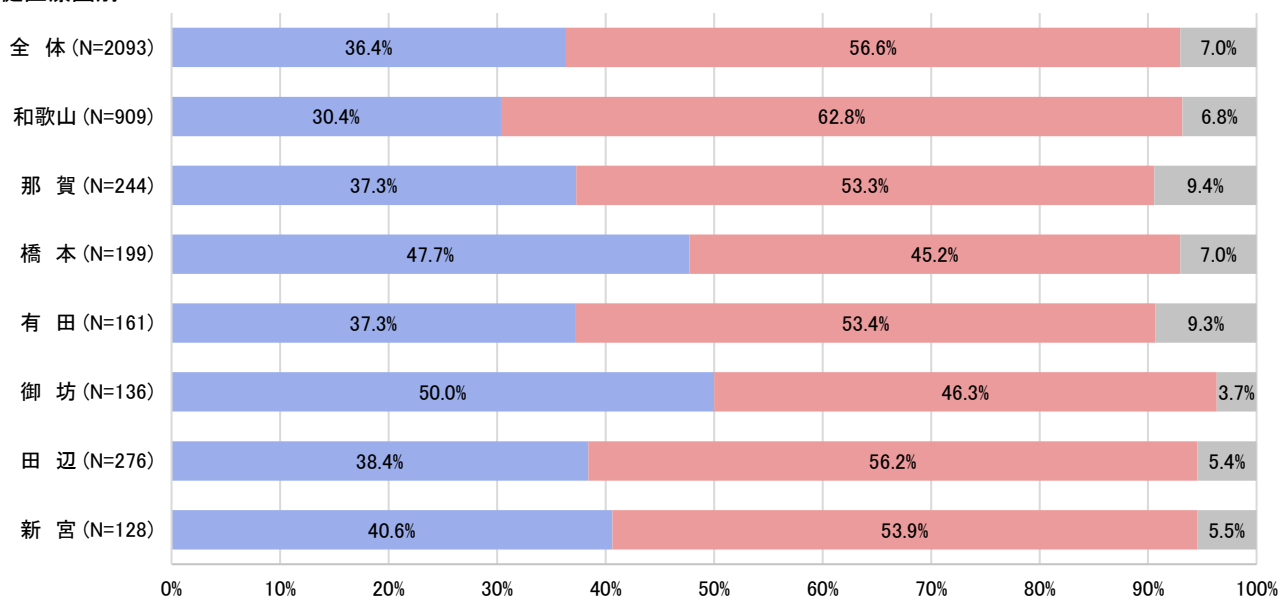
#### 男女別



#### 年齢層別



#### 保健医療圏別



■ 受けた ■ 受けなかった ■ 無回答

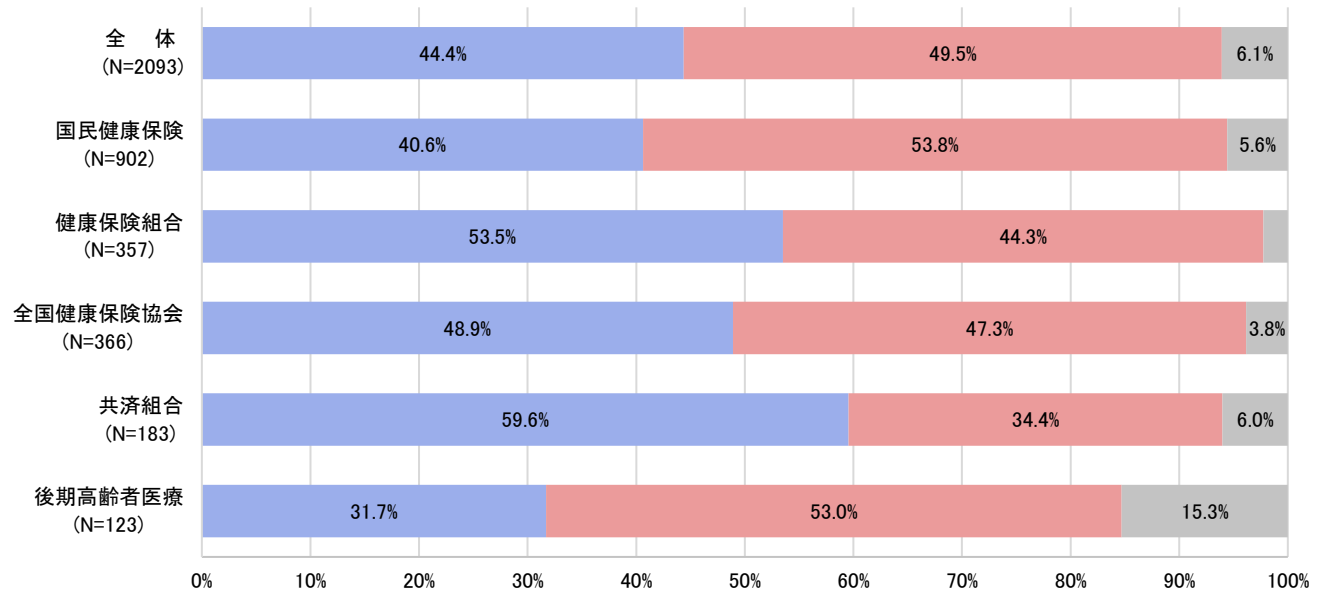
【 参 考 】

肺がん検診及び大腸がん受診の過去1年間の受診状況(県全体)は、加入保険別では以下のとおりです。

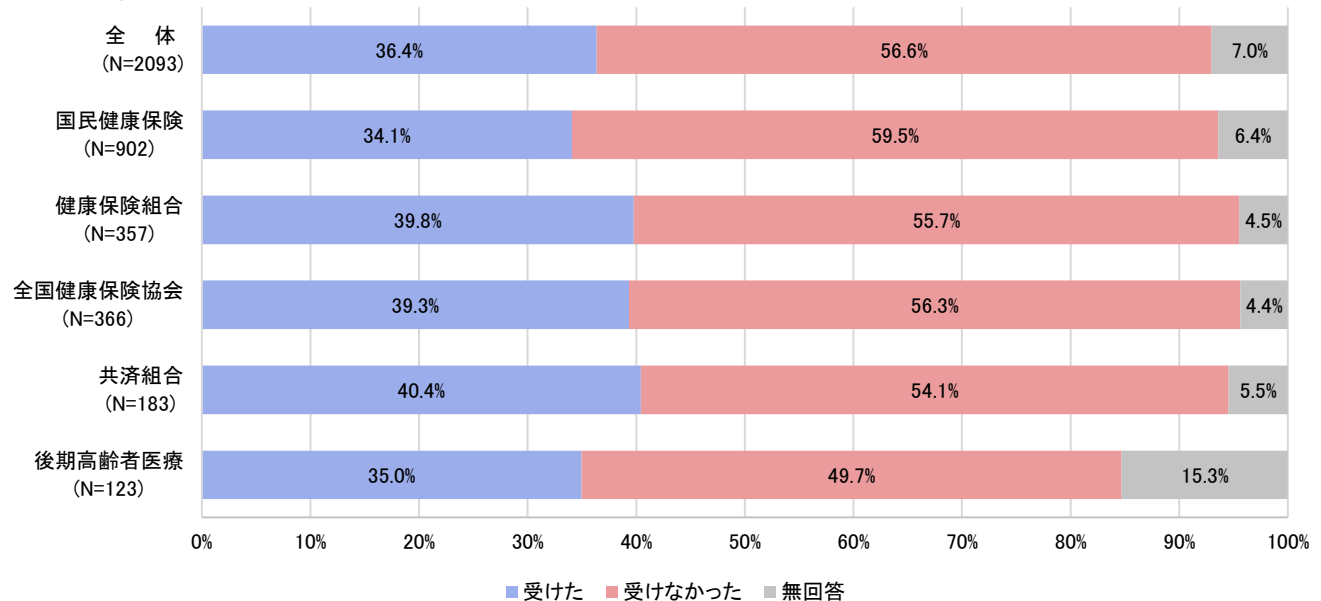
(注) 全体の標本数には、加入保険について無回答の方も含んでいます。

- 肺がん検診を「受けた」との回答は、「共済組合」で最も多く(59.6%)、「後期高齢者医療」で最も少なく(31.7%)なっています。
- 大腸がん検診を「受けた」との回答は、どの加入保険でも3～4割程度となっています。

〈肺がん検診〉



〈大腸がん検診〉



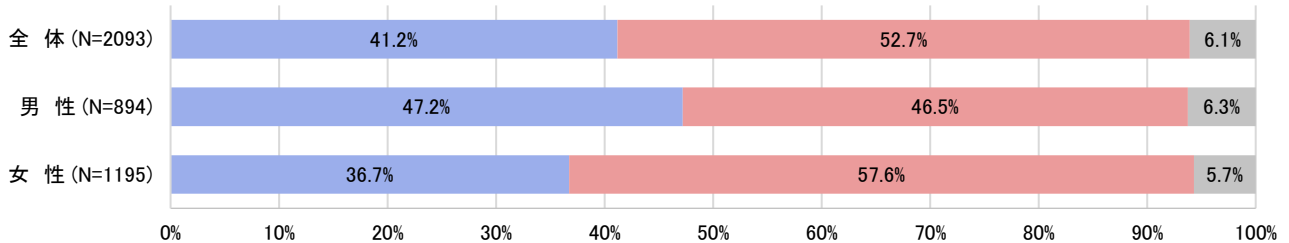
問39 あなたは過去2年間に下記(1)～(3)のがん検診を受けましたか。

(1) 胃がん検診(バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡(胃カメラ等)による撮影)

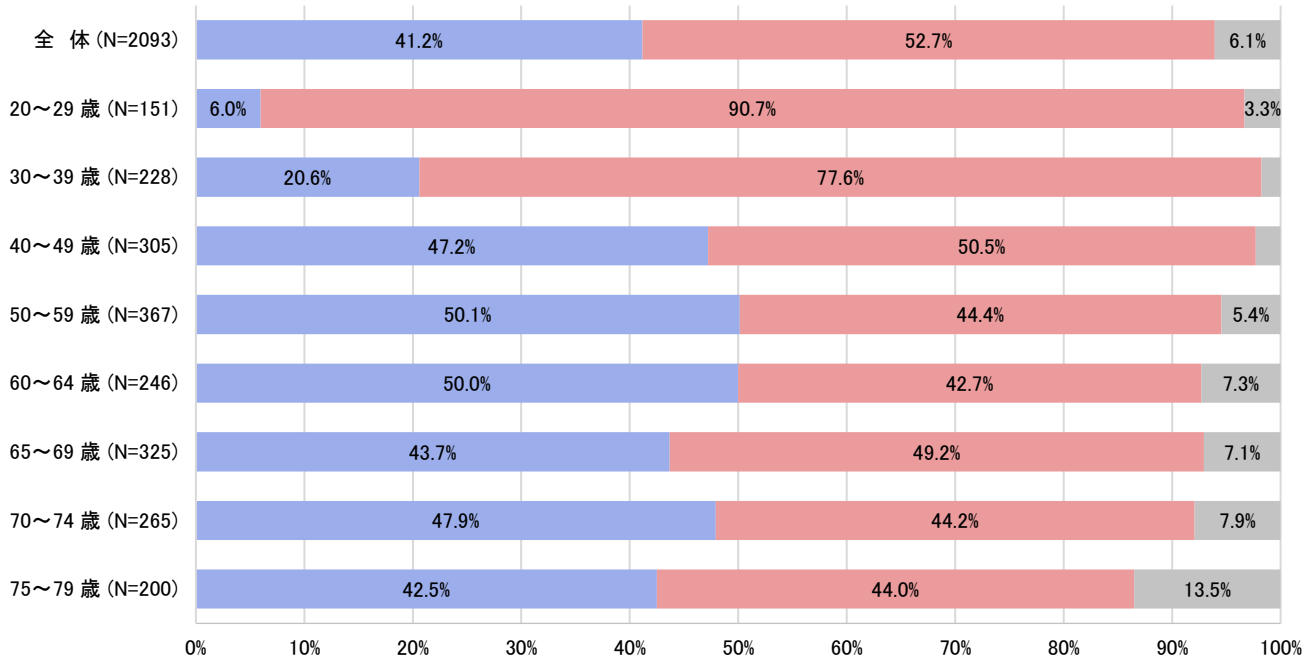
- 胃がん検診について、過去2年間に「受けた」との回答は、全体の4割強となっています。
- 年齢層別では、30歳代以下と40歳代以上で、「受けた」との回答の割合に大きな開きが見られます。

<胃がん検診>

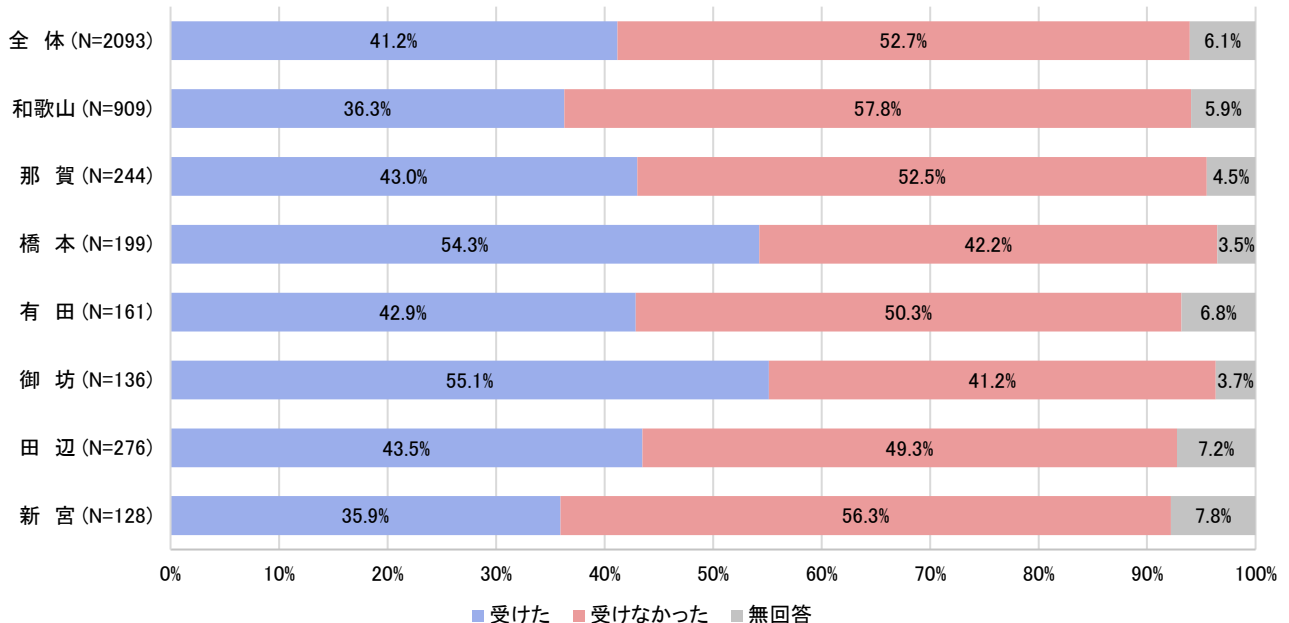
男女別



年齢層別



保健医療圏別



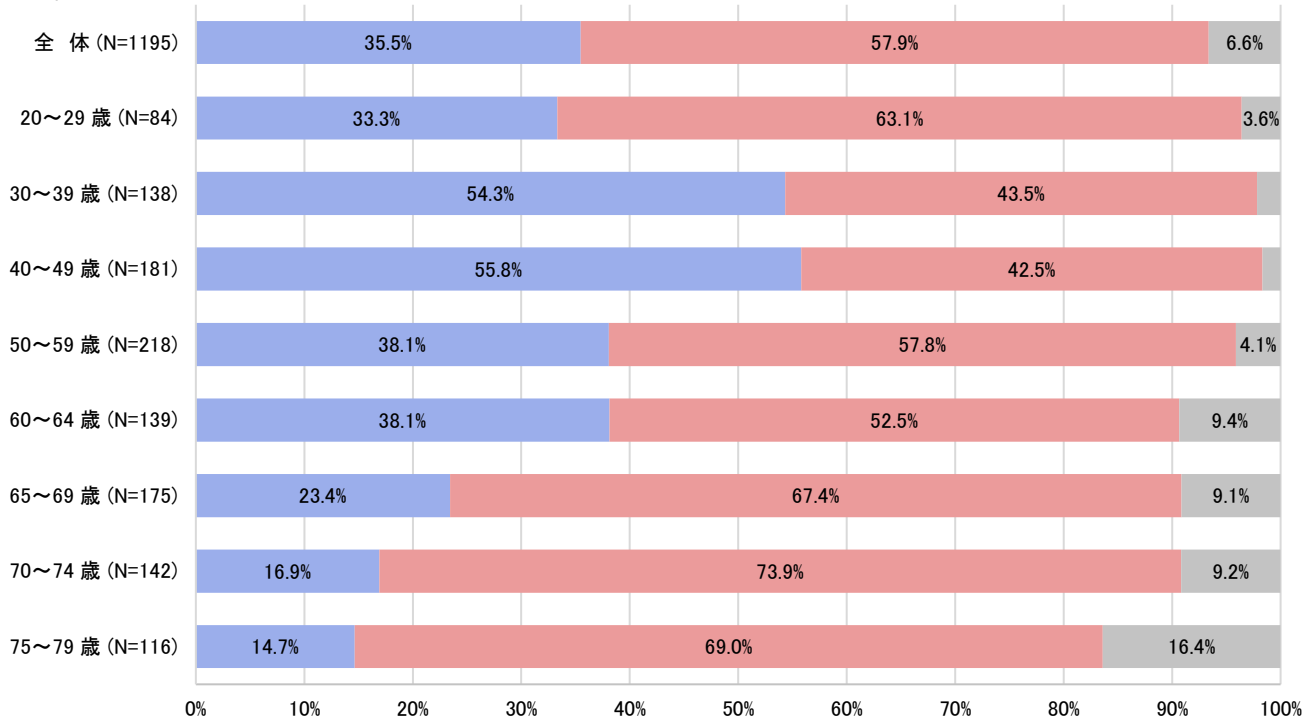
■ 受けた ■ 受けなかった ■ 無回答

(2) 子宮頸がん検診(子宮の細胞診検査など)

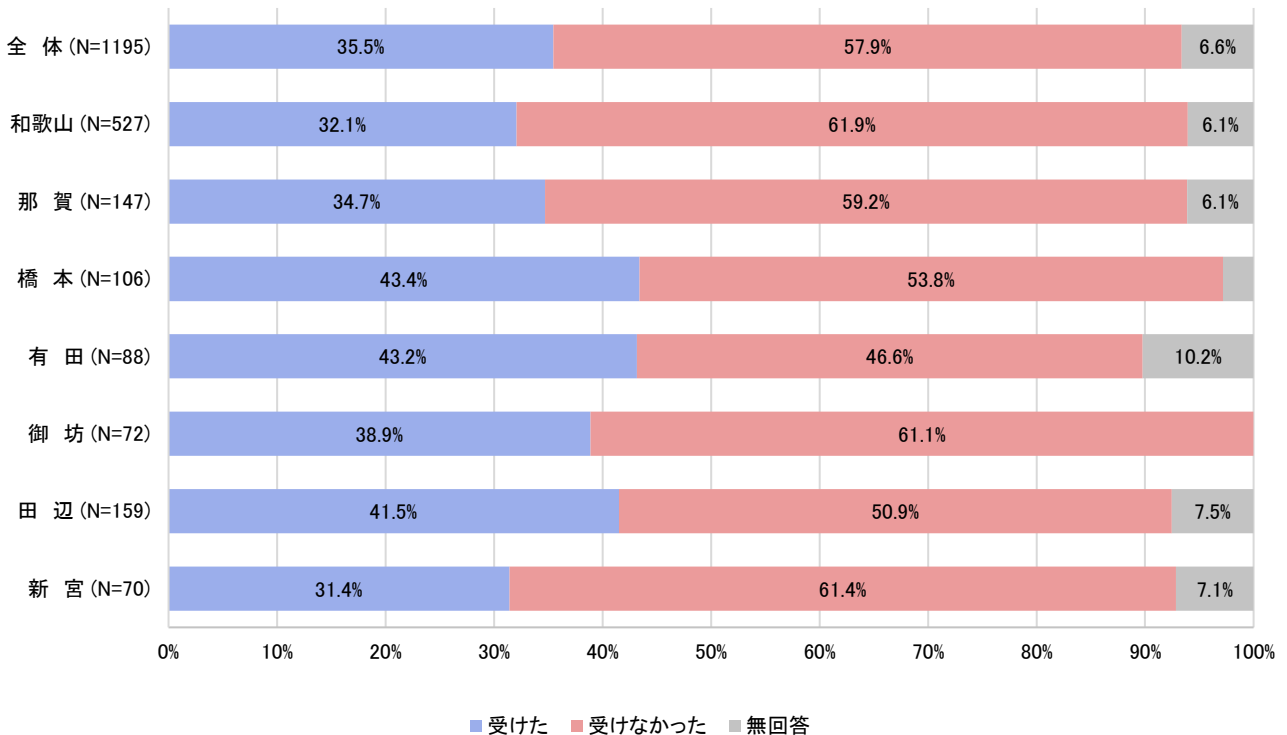
- 子宮頸がん検診について、過去2年間に「受けた」との回答は、全体の4割弱となっています。
- 年齢層別に見ると、「受けた」との回答は、40歳代でピーク(55.8%)となっています。その前後では、50歳代以上よりも、30歳代以下の年齢層において、受診率が高くなっています。

<子宮頸がん検診> 女性のみ

年齢層別



保健医療圏別

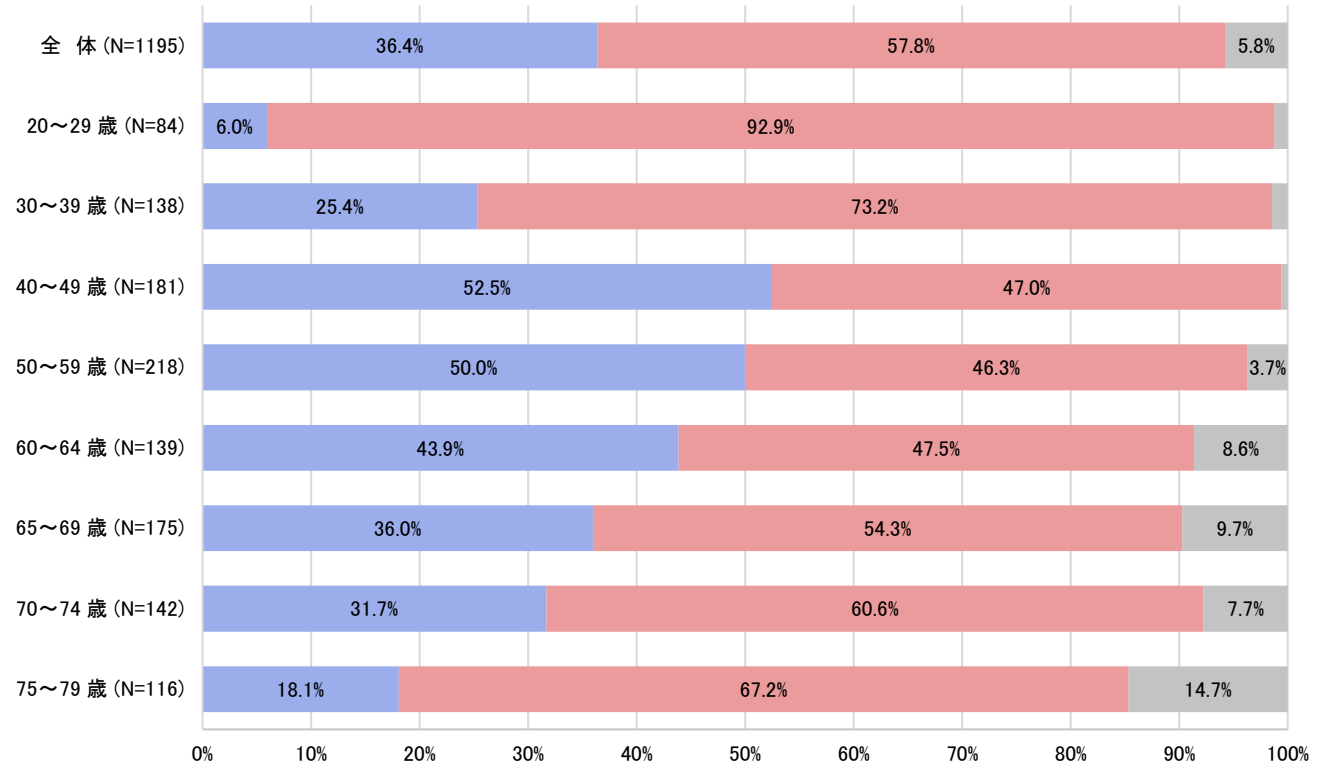


### (3) 乳がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波(エコー)検査など)

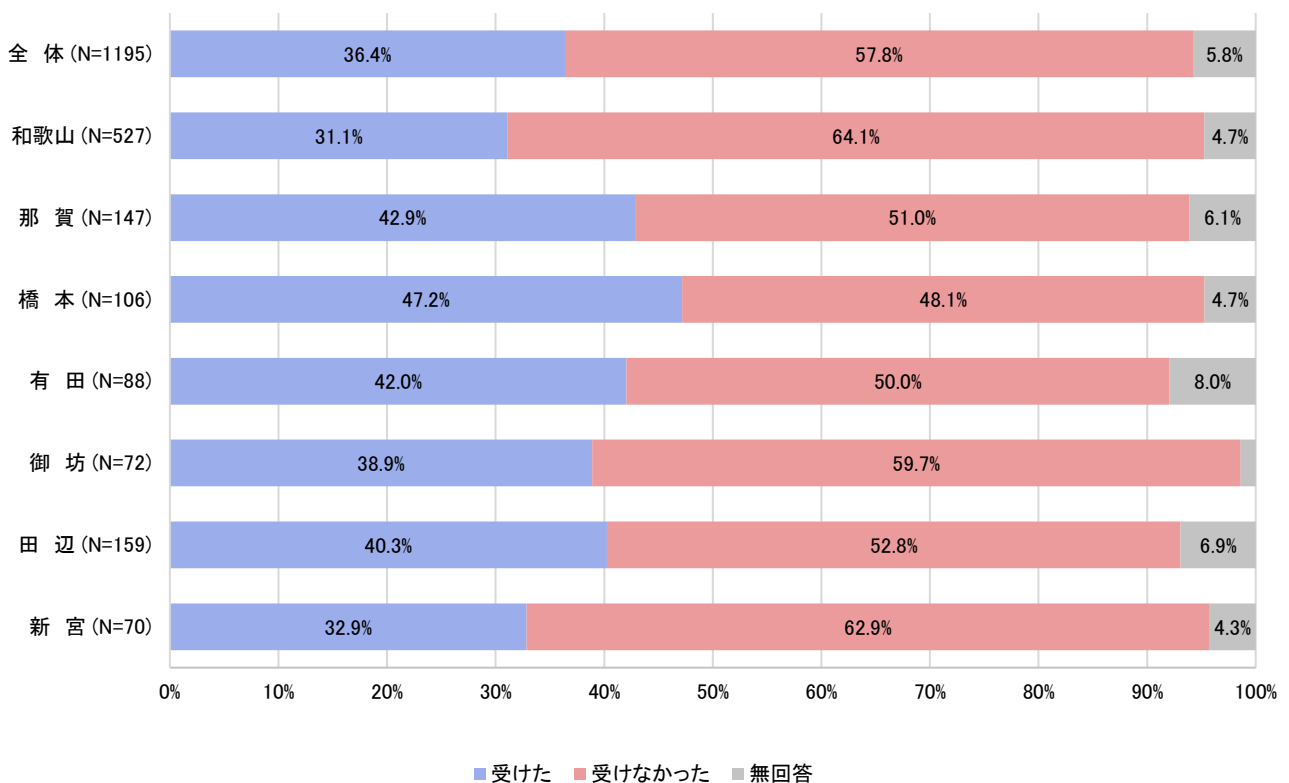
- 乳がん検診について、過去2年間に「受けた」との回答は、全体の4割弱となっています。
- 年齢層別に見ると、「受けた」との回答は、40歳代でピーク(52.5%)となっています。その前後では、30歳代以下よりも、50歳代以上の年齢層において、受診率が高くなっています。

#### <乳がん検診> 女性のみ

##### 年齢層別



##### 保健医療圏別

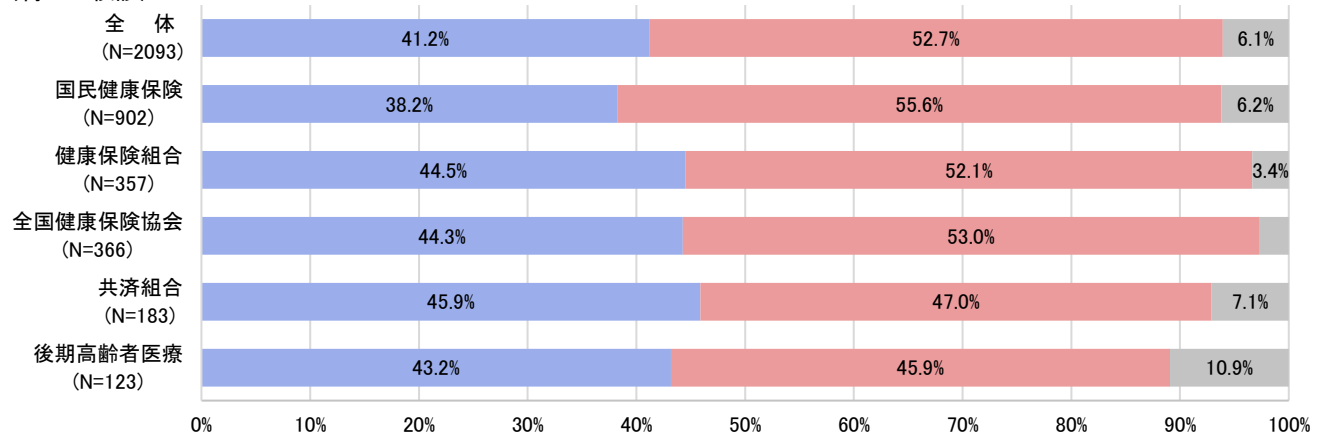


【 参 考 】

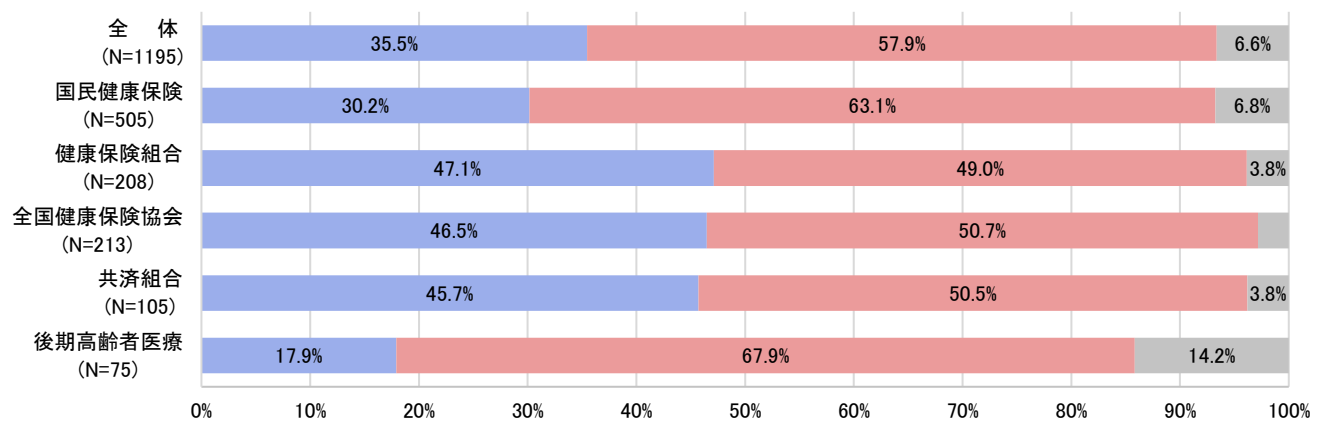
胃がん検診、子宮頸がん検診及び乳がん検診の過去2年間の受診状況(県全体)は、加入保険別では以下のとおりです。(注)全体の標本数には、加入保険について無回答の方も含んでいます。

- 胃がん検診を「受けた」との回答は、どの加入保険でも4割程度となっています。
- 子宮頸がん検診を「受けた」との回答は、「健康保険組合」が最も多く(47.1%)、「後期高齢者医療」が最も少なく(17.9%)となっています。
- 子宮頸がん検診を「受けた」との回答は、「共済組合」が最も多く(45.7%)、「後期高齢者医療」が最も少なく(21.7%)となっています。

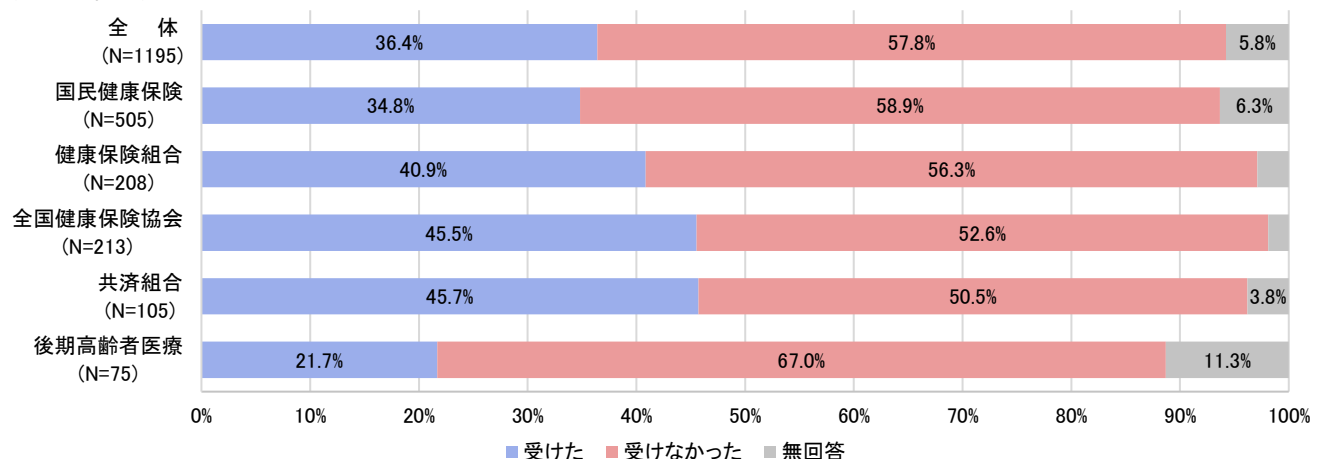
〈胃がん検診〉



〈子宮頸がん検診〉 女性のみ



〈乳がん検診〉 女性のみ

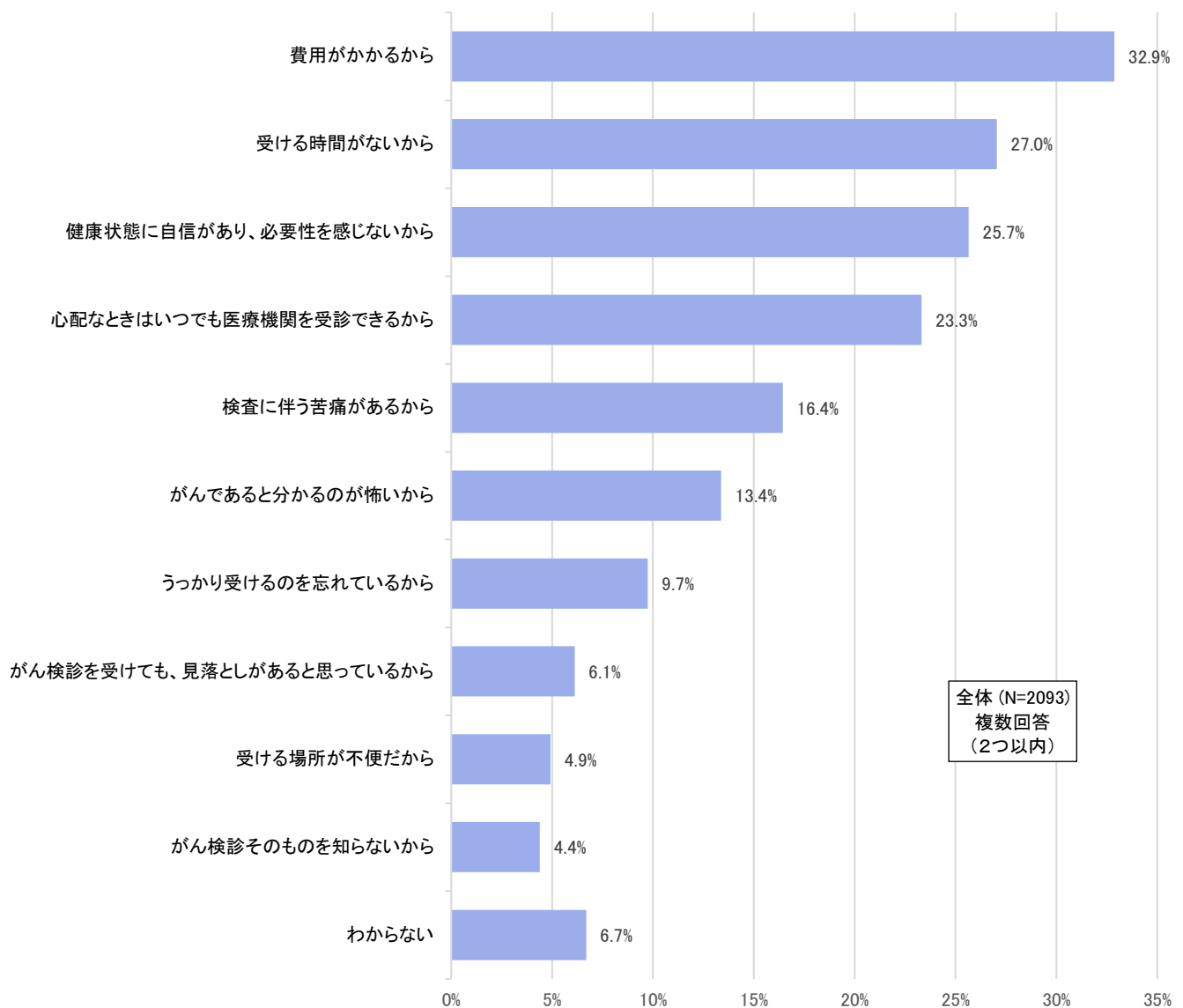


■ 受けた ■ 受けなかった ■ 無回答



問40 和歌山県のがん検診受診率は40%前後ですが、目標としている70%には届いていません。あなたは、多くの方ががん検診を受けないのはなぜだと思いますか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- がん検診を受けない方が多い理由として考えられるものについては、「費用がかかるから」(32.9%)が最も多く、以下「受ける時間がないから」(27.0%)、「健康状態に自信があり、必要性を感じないから」(25.7%)が続いています。
- 年齢層別で最も多かった回答は、20～30歳代、50歳代、60歳代前半で「費用がかかるから」、40歳代で「受ける時間がないから」、60歳代後半以上の年齢層で「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」となっています。



### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |          | 2位    |                       | 3位    |                        |
|----------------|-------|----------|-------|-----------------------|-------|------------------------|
|                | 割合(%) | 項目       | 割合(%) | 項目                    | 割合(%) | 項目                     |
| 男性<br>(N=894)  | 37.0  | 費用がかかるから | 28.0  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから | 25.5  | 受ける時間がないから             |
| 女性<br>(N=1195) | 29.9  | 費用がかかるから | 28.3  | 受ける時間がないから            | 24.7  | 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

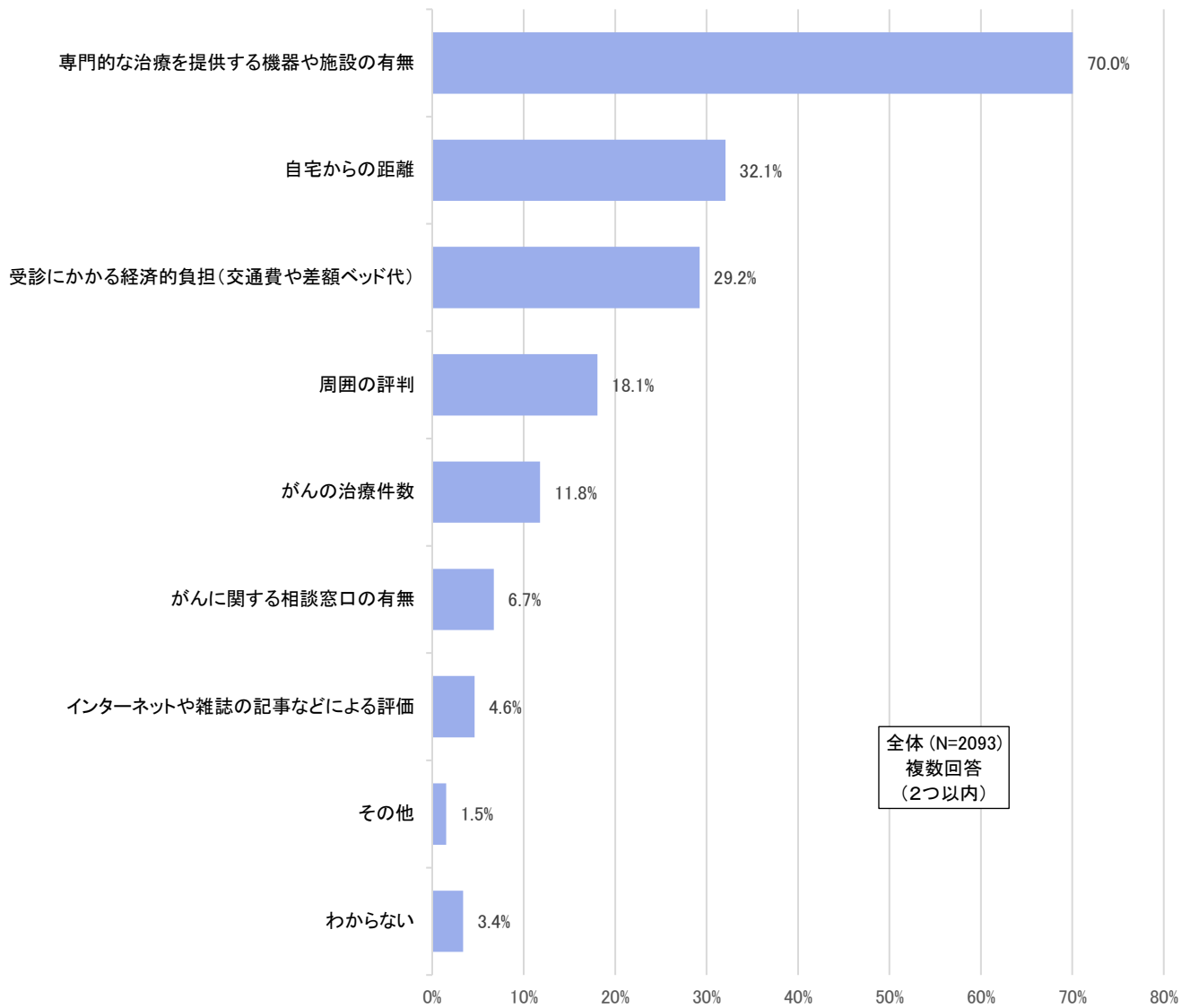
| 年齢層                | 1位    |                        | 2位    |                       | 3位    |                        |
|--------------------|-------|------------------------|-------|-----------------------|-------|------------------------|
|                    | 割合(%) | 項目                     | 割合(%) | 項目                    | 割合(%) | 項目                     |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 43.0  | 費用がかかるから               | 41.1  | 受ける時間がないから            | 28.5  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから  |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 55.3  | 費用がかかるから               | 42.1  | 受ける時間がないから            | 21.1  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから  |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 44.6  | 受ける時間がないから             | 38.7  | 費用がかかるから              | 23.9  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから  |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 36.5  | 費用がかかるから               | 35.1  | 受ける時間がないから            | 23.2  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから  |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 32.9  | 費用がかかるから               | 25.2  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから | 21.5  | 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 35.4  | 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから | 32.6  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから | 28.3  | 費用がかかるから               |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 40.4  | 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから | 23.0  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから | 20.4  | 費用がかかるから               |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 47.0  | 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから | 29.0  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから | 15.5  | がんであると分かるのが怖いから        |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |   | 2位    |                                     | 3位    |                        |
|----------------|-------|---|-------|-------------------------------------|-------|------------------------|
|                | 割合(%) | 項目  | 割合(%) | 項目                                  | 割合(%) | 項目                     |
| 和歌山<br>(N=909) | 38.6  | 費用がかかるから  | 25.9  | 受ける時間がないから                          | 22.2  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから  |
| 那賀<br>(N=244)  | 34.0  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから                           | 29.9  | 費用がかかるから<br>受ける時間がないから              |       |                        |
| 橋本<br>(N=199)  | 30.2  | 受ける時間がないから                                      | 29.1  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから               | 24.6  | 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから |
| 有田<br>(N=161)  | 29.2  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから<br>心配なときはいつでも医療機関を受診できるから |       |                                     | 27.3  | 受ける時間がないから             |
| 御坊<br>(N=136)  | 36.8  | 費用がかかるから  | 27.2  | 受ける時間がないから                          | 25.0  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから  |
| 田辺<br>(N=276)  | 29.7  | 費用がかかるから  | 28.6  | 健康状態に自信があり、必要性を感じないから<br>受ける時間がないから |       |                        |
| 新宮<br>(N=128)  | 32.8  | 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから                          | 26.6  | 費用がかかるから                            | 23.4  | 受ける時間がないから             |

問41 あなたは、がんと診断されたら、治療を受ける病院を選ぶにあたり重視するのはどれですか。あてはまるものを2つまでお選びください。

○ がんと診断された場合、治療を受ける病院を選ぶにあたって重視するのは「専門的な治療を提供する機器や施設の有無」(70.0%)が最も多く、以下「自宅からの距離」(32.1%)、「受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代)」(29.2%)が続いています。



男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                     | 2位    |                         | 3位    |                         |
|----------------|-------|---------------------|-------|-------------------------|-------|-------------------------|
|                | 割合(%) | 項目                  | 割合(%) | 項目                      | 割合(%) | 項目                      |
| 男性<br>(N=894)  | 71.9  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 32.7  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) | 26.2  | 自宅からの距離                 |
| 女性<br>(N=1195) | 68.7  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 36.5  | 自宅からの距離                 | 26.8  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) |

年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                     | 2位    |                         | 3位    |                         |
|--------------------|-------|---------------------|-------|-------------------------|-------|-------------------------|
|                    | 割合(%) | 項目                  | 割合(%) | 項目                      | 割合(%) | 項目                      |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 72.8  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 34.4  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) | 29.8  | 自宅からの距離                 |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 67.5  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 36.0  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) | 33.3  | 自宅からの距離                 |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 70.5  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 34.8  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) | 31.1  | 自宅からの距離                 |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 71.1  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 34.9  | 自宅からの距離                 | 30.5  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 69.9  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 28.9  | 自宅からの距離                 | 25.2  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 74.8  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 29.5  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) | 28.0  | 自宅からの距離                 |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 64.9  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 36.6  | 自宅からの距離                 | 24.9  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 68.5  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 32.5  | 自宅からの距離                 | 17.5  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) |

保健医療圏別回答割合 上位3項目

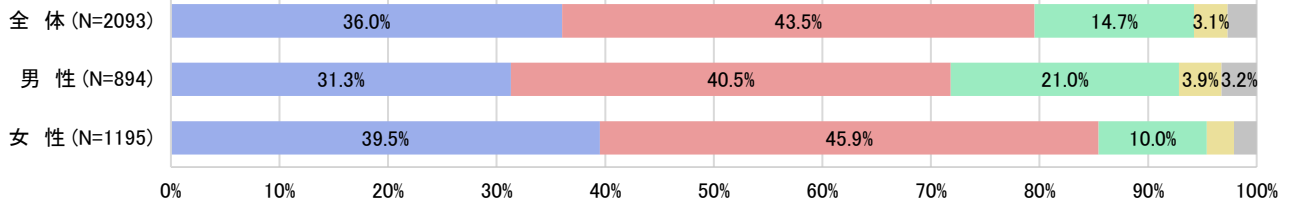
| 保健医療圏          | 1位    |                     | 2位    |                         | 3位    |                         |
|----------------|-------|---------------------|-------|-------------------------|-------|-------------------------|
|                | 割合(%) | 項目                  | 割合(%) | 項目                      | 割合(%) | 項目                      |
| 和歌山<br>(N=909) | 70.2  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 31.0  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) | 30.9  | 自宅からの距離                 |
| 那賀<br>(N=244)  | 73.8  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 34.0  | 自宅からの距離                 | 31.6  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) |
| 橋本<br>(N=199)  | 74.9  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 38.2  | 自宅からの距離                 | 30.7  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) |
| 有田<br>(N=161)  | 74.5  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 24.8  | 自宅からの距離<br>周囲の評判        |       |                         |
| 御坊<br>(N=136)  | 72.1  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 29.4  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) | 26.5  | 自宅からの距離                 |
| 田辺<br>(N=276)  | 63.8  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 36.6  | 自宅からの距離                 | 26.1  | 受診にかかる経済的負担(交通費や差額ベッド代) |
| 新宮<br>(N=128)  | 68.0  | 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 | 33.6  | 自宅からの距離                 | 21.9  | 周囲の評判                   |

問42 治療法を決定するなどの際に、主治医以外の医師の意見を聞く方法を「セカンド・オピニオン」といいますが、あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」という方法があることを知っていますか。

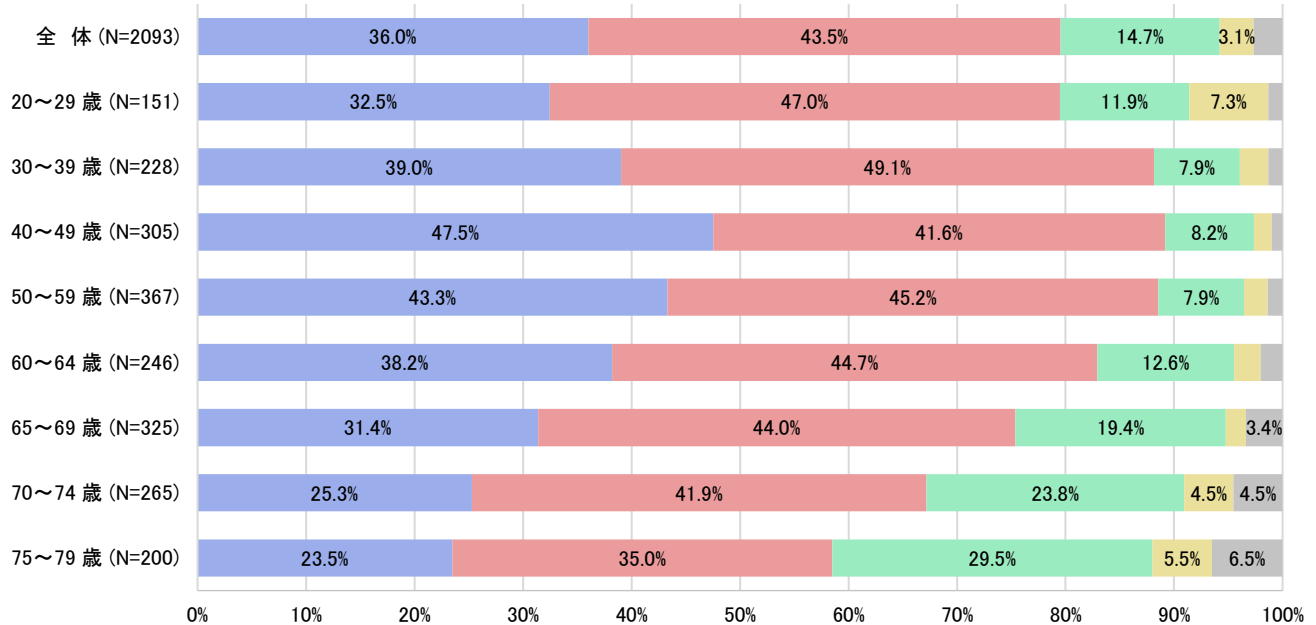
○ がん治療にあたっての「セカンド・オピニオン」の認知度については、全体では「言葉だけは知っている」(43.5%)が最も多く、「よく知っている」は 36.0%でした。

○ 年齢層別では、40 歳代において「よく知っている」との回答が最も多くなっています。

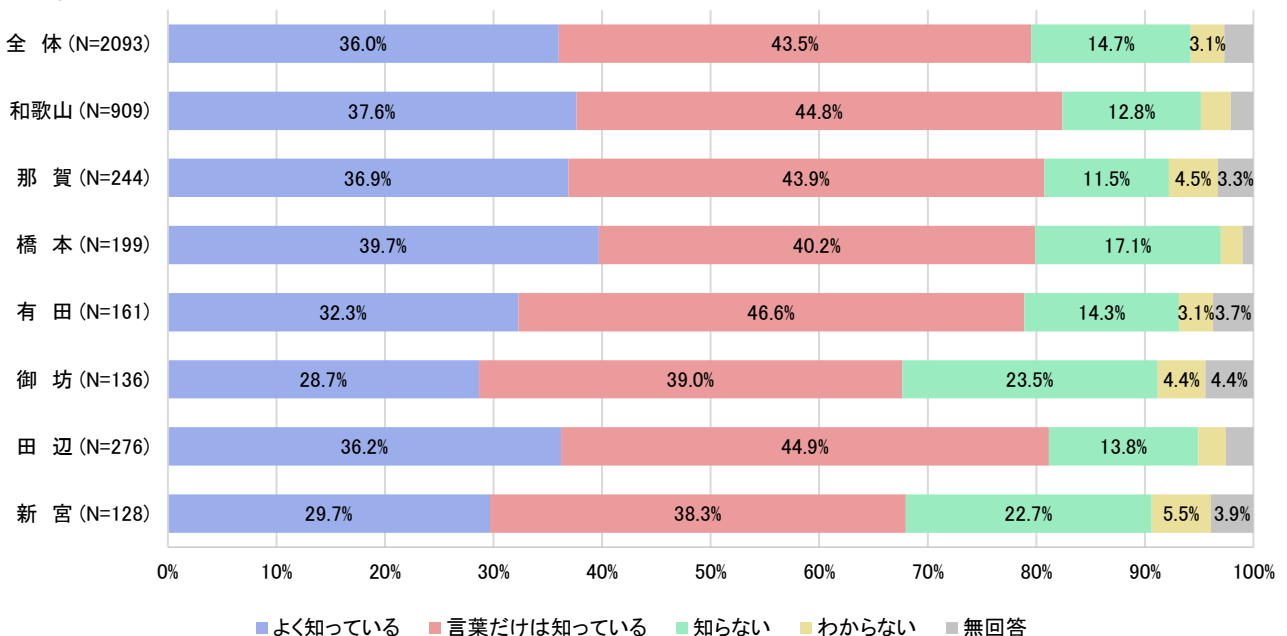
男女別



年齢層別



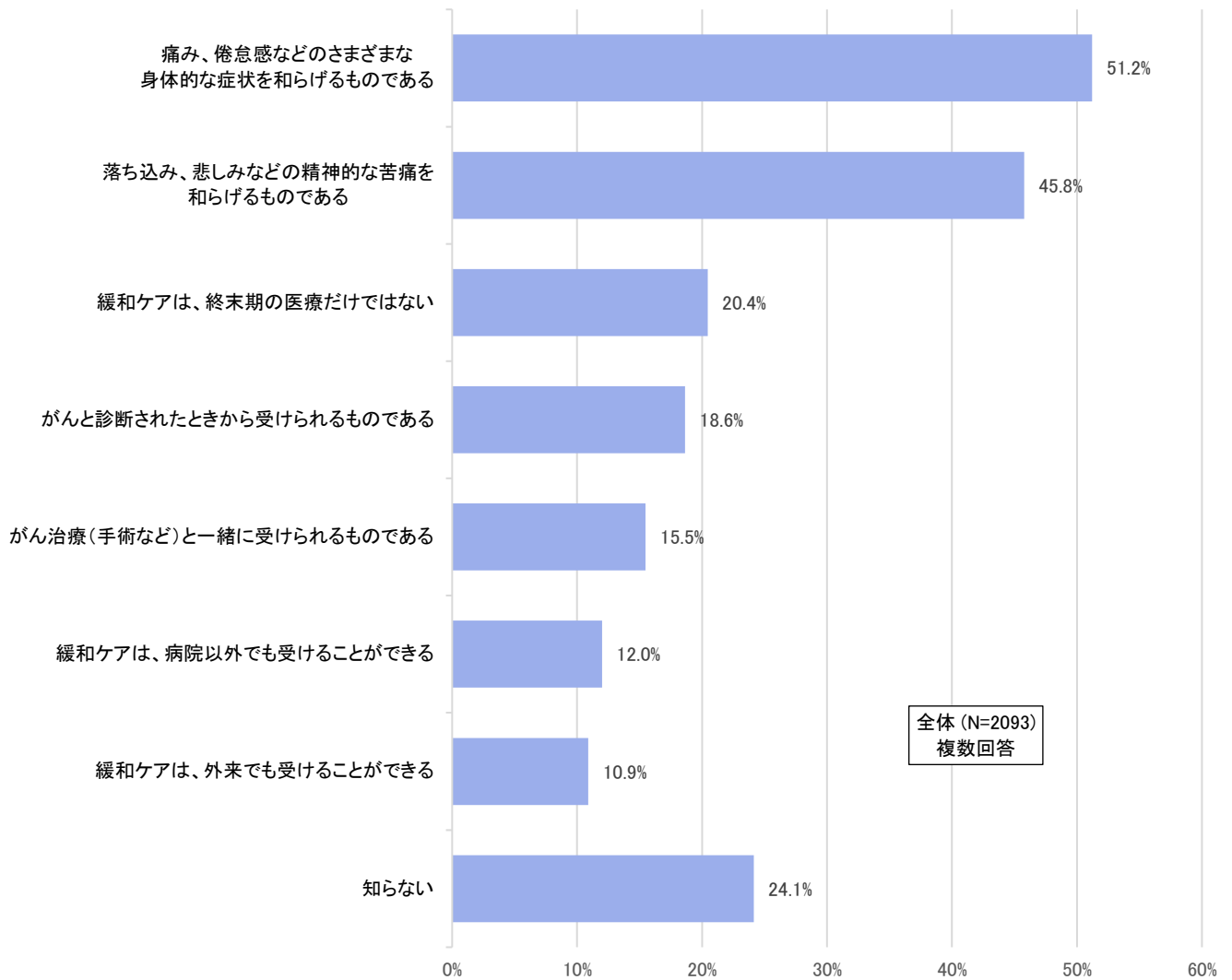
保健医療圏別



■ よく知っている ■ 言葉だけは知っている ■ 知らない ■ わからない ■ 無回答

問43 がん治療において、患者やその家族の療養生活の向上のため「緩和ケア」は重要ですが、あなたは、「緩和ケア」についてどのようなことだと思っていますか。あなたが理解していることを全てお選びください。

○ 「緩和ケア」については、身体的な症状や精神的な苦痛を和らげるものであるとの認識が多くを占めています。一方、「知らない」との回答も、比較的高い値(24.1%)を示しています。



### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                                | 2位    |                                | 3位    |                    |
|----------------|-------|--------------------------------|-------|--------------------------------|-------|--------------------|
|                | 割合(%) | 項目                             | 割合(%) | 項目                             | 割合(%) | 項目                 |
| 男性<br>(N=894)  | 40.7  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 39.8  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである | 31.7  | 知らない               |
| 女性<br>(N=1195) | 59.8  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである | 49.6  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 23.0  | 緩和ケアは、終末期の医療だけではない |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |   | 2位    |                                | 3位    |                        |
|--------------------|-------|---|-------|--------------------------------|-------|------------------------|
|                    | 割合(%) | 項目  | 割合(%) | 項目                             | 割合(%) | 項目                     |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 45.0  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである                                | 41.7  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 37.1  | 知らない                   |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 57.9  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである                                | 42.5  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 27.6  | 知らない                   |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 56.7  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである                                | 48.9  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 24.3  | 知らない                   |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 58.9  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである                                | 49.9  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 21.0  | 緩和ケアは、終末期の医療だけではない     |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 58.5  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである                                | 46.7  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 22.4  | 緩和ケアは、終末期の医療だけではない     |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 50.5  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである                                   | 47.7  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである | 26.2  | 緩和ケアは、終末期の医療だけではない     |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 42.3  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである<br>落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである |       |                                | 27.5  | 知らない                   |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 37.0  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである                                   | 36.0  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである | 23.5  | がんと診断されたときから受けられるものである |

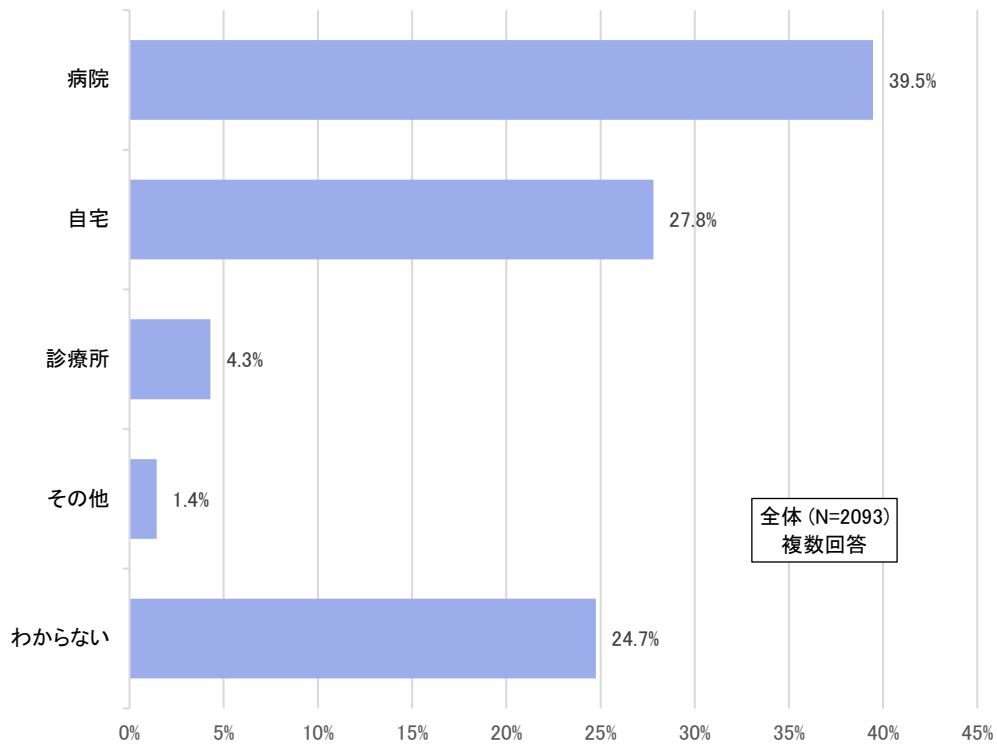
### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |                                | 2位    |                                | 3位    |                    |
|----------------|-------|--------------------------------|-------|--------------------------------|-------|--------------------|
|                | 割合(%) | 項目                             | 割合(%) | 項目                             | 割合(%) | 項目                 |
| 和歌山<br>(N=909) | 52.7  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである | 44.1  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 24.4  | 知らない               |
| 那賀<br>(N=244)  | 49.6  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである | 44.3  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 24.2  | 知らない               |
| 橋本<br>(N=199)  | 46.2  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである | 43.7  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 28.1  | 知らない               |
| 有田<br>(N=161)  | 49.7  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 48.4  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである | 21.1  | 緩和ケアは、終末期の医療だけではない |
| 御坊<br>(N=136)  | 42.6  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである | 41.9  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 33.8  | 知らない               |
| 田辺<br>(N=276)  | 59.8  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである | 53.3  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 22.5  | 緩和ケアは、終末期の医療だけではない |
| 新宮<br>(N=128)  | 46.9  | 痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状を和らげるものである | 45.3  | 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるものである    | 25.8  | 知らない               |

問44 あなたは、がん治療における緩和ケアをどこの場所で受けたいですか。

(注) 複数回答を有効として集計しています。

- がん治療における緩和ケアを受けたい場所としては、「病院」(39.5%)が最も多く、次いで「自宅」(27.8%)となっています。一方、「わからない」との回答も、比較的高い値(24.7%)を示しています。
- 年齢層別では、30～40歳代で「自宅」、それ以外の年齢層で「病院」との回答が最も多くなっています。





### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |    | 2位    |       | 3位    |       |
|----------------|-------|----|-------|-------|-------|-------|
|                | 割合(%) | 項目 | 割合(%) | 項目    | 割合(%) | 項目    |
| 男性<br>(N=894)  | 40.8  | 病院 | 25.3  | わからない | 24.4  | 自宅    |
| 女性<br>(N=1195) | 38.6  | 病院 | 30.4  | 自宅    | 24.4  | わからない |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |    | 2位    |       | 3位    |       |
|--------------------|-------|----|-------|-------|-------|-------|
|                    | 割合(%) | 項目 | 割合(%) | 項目    | 割合(%) | 項目    |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 32.5  | 病院 | 31.1  | わからない | 29.8  | 自宅    |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 37.7  | 自宅 | 28.9  | わからない | 27.2  | 病院    |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 35.4  | 自宅 | 30.2  | わからない | 29.2  | 病院    |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 37.6  | 病院 | 31.3  | 自宅    | 25.6  | わからない |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 43.9  | 病院 | 26.8  | 自宅    | 24.0  | わからない |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 43.4  | 病院 | 24.3  | 自宅    | 20.9  | わからない |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 50.6  | 病院 | 22.3  | わからない | 17.7  | 自宅    |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 51.5  | 病院 | 18.0  | 自宅    | 15.5  | わからない |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

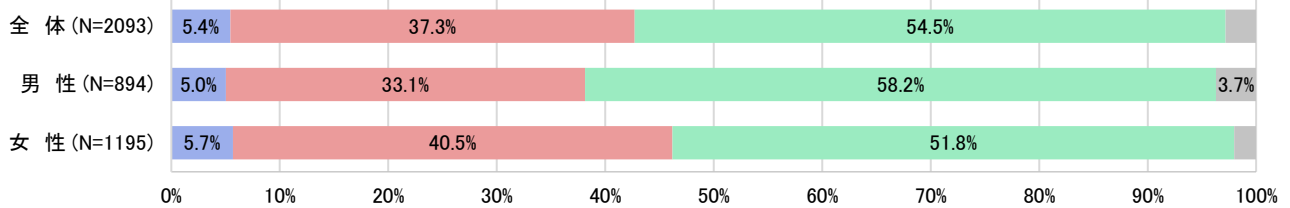
| 保健医療圏          | 1位    |    | 2位    |       | 3位    |       |
|----------------|-------|----|-------|-------|-------|-------|
|                | 割合(%) | 項目 | 割合(%) | 項目    | 割合(%) | 項目    |
| 和歌山<br>(N=909) | 38.6  | 病院 | 29.4  | 自宅    | 24.3  | わからない |
| 那賀<br>(N=244)  | 41.4  | 病院 | 26.2  | わからない | 23.4  | 自宅    |
| 橋本<br>(N=199)  | 42.2  | 病院 | 26.1  | 自宅    | 25.1  | わからない |
| 有田<br>(N=161)  | 34.8  | 病院 | 30.4  | わからない | 21.7  | 自宅    |
| 御坊<br>(N=136)  | 39.0  | 病院 | 31.6  | わからない | 25.0  | 自宅    |
| 田辺<br>(N=276)  | 40.2  | 病院 | 34.4  | 自宅    | 17.8  | わからない |
| 新宮<br>(N=128)  | 37.5  | 病院 | 28.9  | わからない | 26.6  | 自宅    |

## 12 「人生の最終段階における医療」について

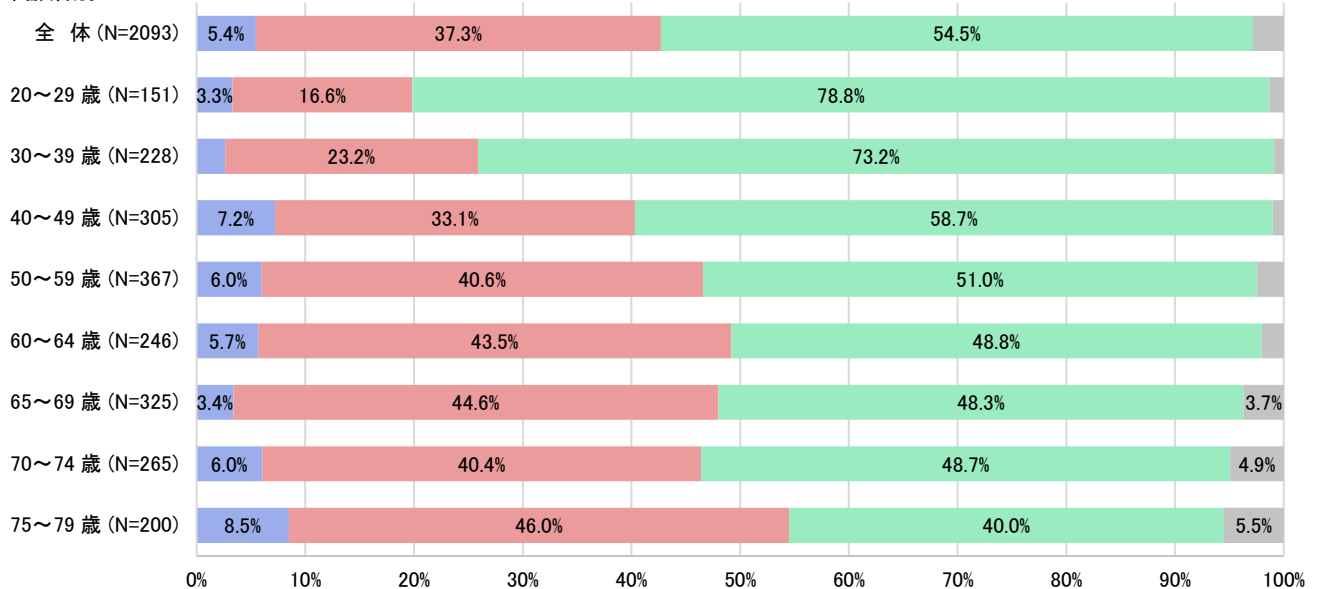
問45 あなたは、ご自身やご家族の死が近い(可能な限りの治療によっても病気から回復の見込みがなく、近い将来の死が避けられない)場合に受けたい医療や受けたくない医療について、日頃からご家族と話し合ったことがありますか。

- 自身や家族の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、家族と話し合った経験については、「詳しく話し合ったことがある」「話し合ったことはある」を合わせると、全体の4割強となっています。
- 年齢層別では、概ね年齢層が高いほど、話し合った経験のある傾向が見られます。

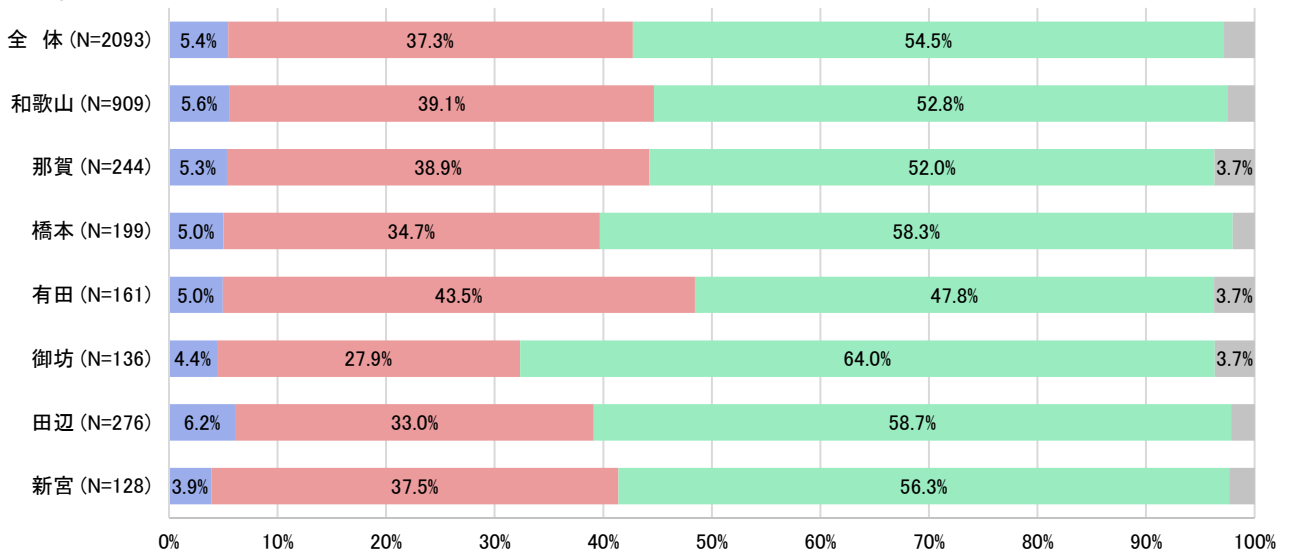
### 男女別



### 年齢層別



### 保健医療圏別

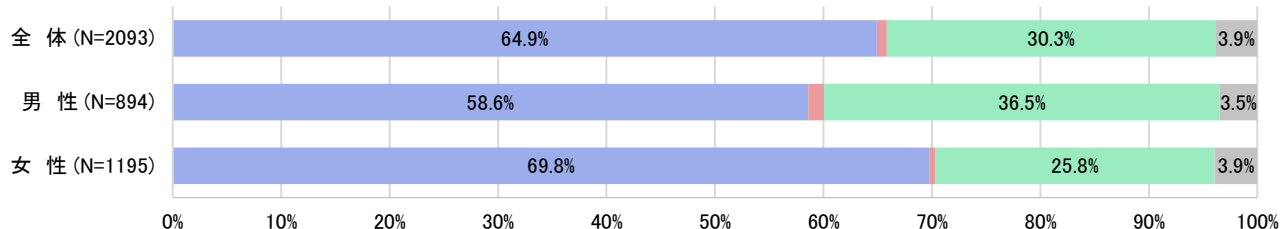


■ 詳しく話し合ったことがある ■ 話し合ったことはある ■ ない ■ 無回答

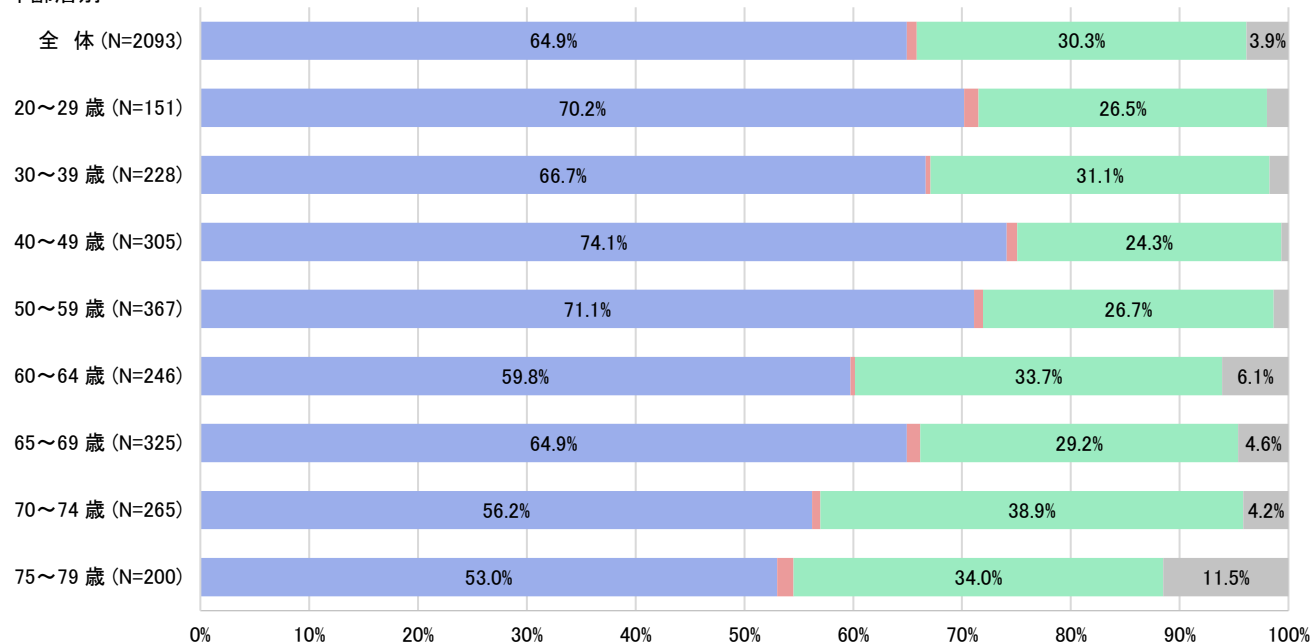
問46 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについて、どう思いますか。

○ 自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについては、「賛成である」(64.9%)が最も多くなっていますが、「わからない」も全体の3割を占めています。

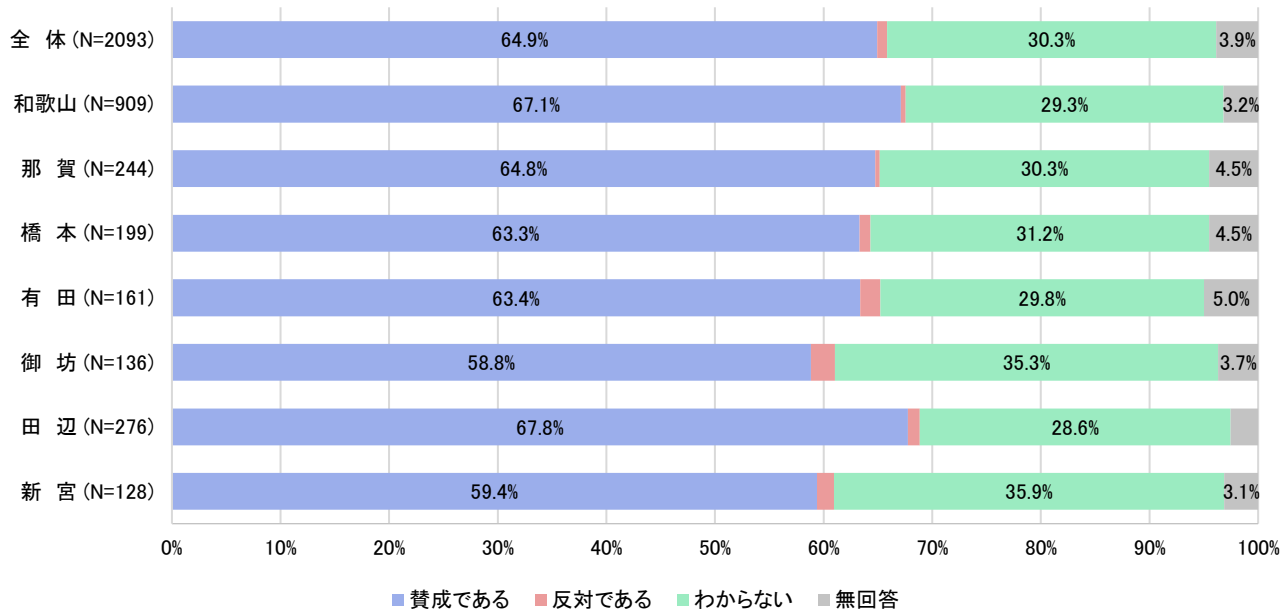
#### 男女別



#### 年齢層別



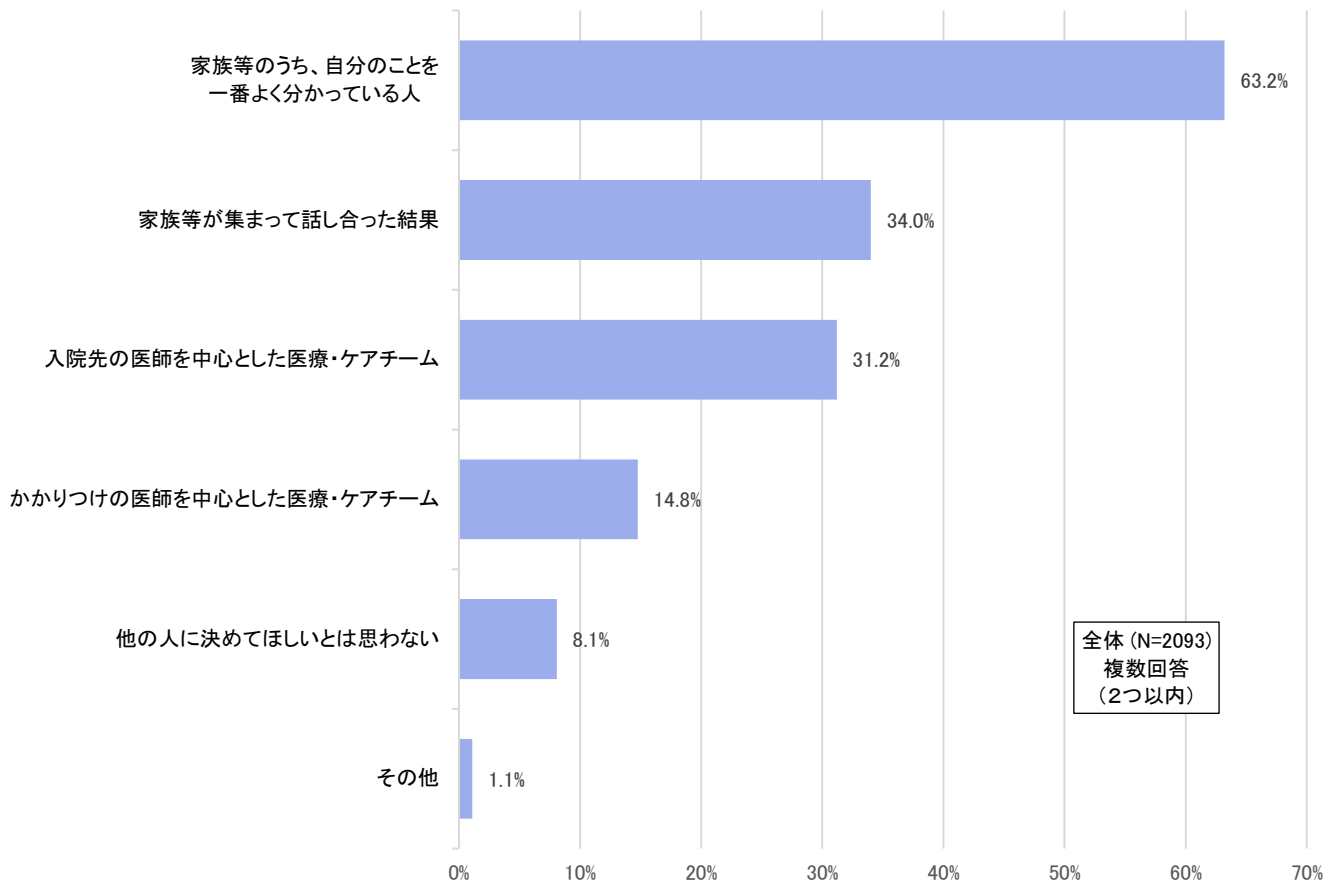
#### 保健医療圏別



■ 賛成である ■ 反対である ■ わからない ■ 無回答

問47 あなたは、治療の選択について自分で判断できなくなった場合には、誰に治療方針を決めてもらいたいですか。あてはまるものを2つまでお選びください。

○ 治療の選択について自分で判断できなくなった場合、治療方針を決めてもらいたいのには「家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人」(63.2%)が最も多く、以下「家族等が集まって話し合った結果」(34.0%)、「入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム」(31.2%)が続いています。



男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                          | 2位    |                      | 3位    |                      |
|----------------|-------|--------------------------|-------|----------------------|-------|----------------------|
|                | 割合(%) | 項目                       | 割合(%) | 項目                   | 割合(%) | 項目                   |
| 男性<br>(N=894)  | 63.6  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 33.0  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム | 32.2  | 家族等が集まって話し合った結果      |
| 女性<br>(N=1195) | 62.9  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 35.5  | 家族等が集まって話し合った結果      | 30.0  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム |

年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                          | 2位    |                      | 3位    |                        |
|--------------------|-------|--------------------------|-------|----------------------|-------|------------------------|
|                    | 割合(%) | 項目                       | 割合(%) | 項目                   | 割合(%) | 項目                     |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 55.0  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 54.3  | 家族等が集まって話し合った結果      | 24.5  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム   |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 64.0  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 42.5  | 家族等が集まって話し合った結果      | 20.2  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム   |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 65.9  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 34.4  | 家族等が集まって話し合った結果      | 27.9  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム   |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 66.8  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 33.5  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム | 31.6  | 家族等が集まって話し合った結果        |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 60.6  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 37.8  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム | 30.9  | 家族等が集まって話し合った結果        |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 63.4  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 36.3  | 家族等が集まって話し合った結果      | 33.2  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム   |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 62.6  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 35.5  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム | 26.8  | 家族等が集まって話し合った結果        |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 62.5  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 33.5  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム | 26.5  | かかりつけの医師を中心とした医療・ケアチーム |

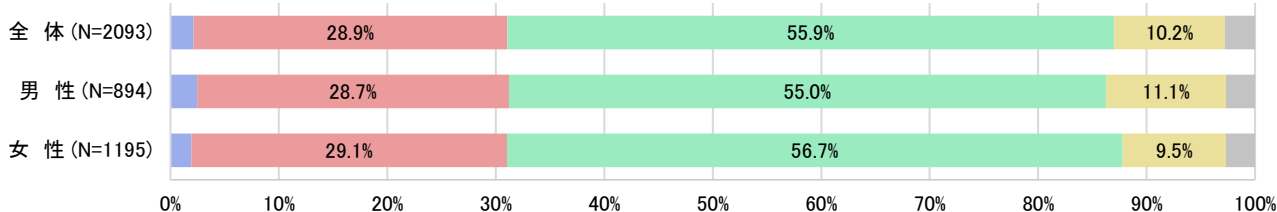
保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |                          | 2位    |                      | 3位    |                      |
|----------------|-------|--------------------------|-------|----------------------|-------|----------------------|
|                | 割合(%) | 項目                       | 割合(%) | 項目                   | 割合(%) | 項目                   |
| 和歌山<br>(N=909) | 65.7  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 33.0  | 家族等が集まって話し合った結果      | 29.0  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム |
| 那賀<br>(N=244)  | 63.5  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 32.0  | 家族等が集まって話し合った結果      | 28.7  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム |
| 橋本<br>(N=199)  | 60.8  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 40.2  | 家族等が集まって話し合った結果      | 33.7  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム |
| 有田<br>(N=161)  | 60.9  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 42.2  | 家族等が集まって話し合った結果      | 31.1  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム |
| 御坊<br>(N=136)  | 61.0  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 38.2  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム | 27.9  | 家族等が集まって話し合った結果      |
| 田辺<br>(N=276)  | 62.7  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 34.4  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム | 34.1  | 家族等が集まって話し合った結果      |
| 新宮<br>(N=128)  | 60.2  | 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている人 | 34.4  | 家族等が集まって話し合った結果      | 30.5  | 入院先の医師を中心とした医療・ケアチーム |

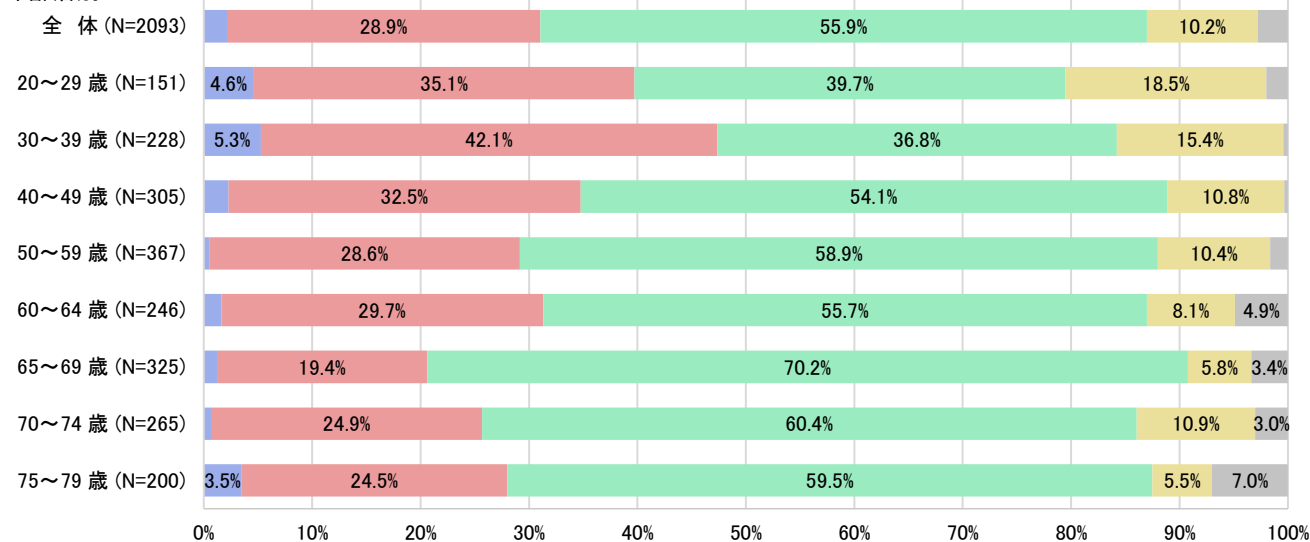
問48 あなたは、もし自分の病気が治る見込みがなく、死期が迫っていると告げられた場合、延命医療(※)を望みますか。

○ 延命医療を「望まない」との回答は、「どちらかという望まない」も含めると、全体の8割強を占めています。

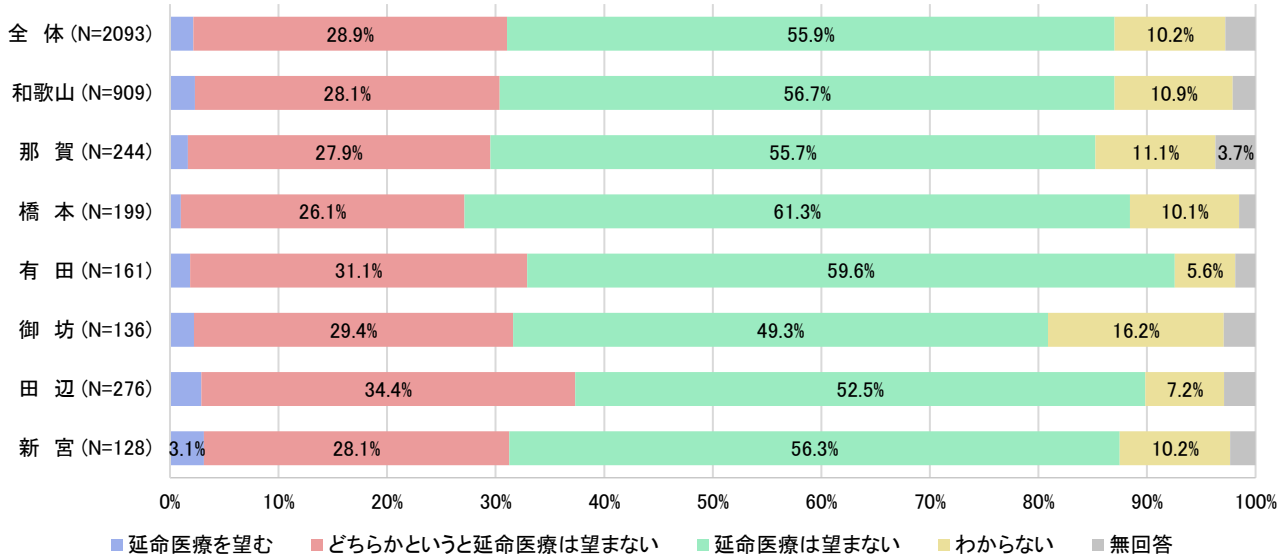
男女別



年齢層別



保健医療圏別

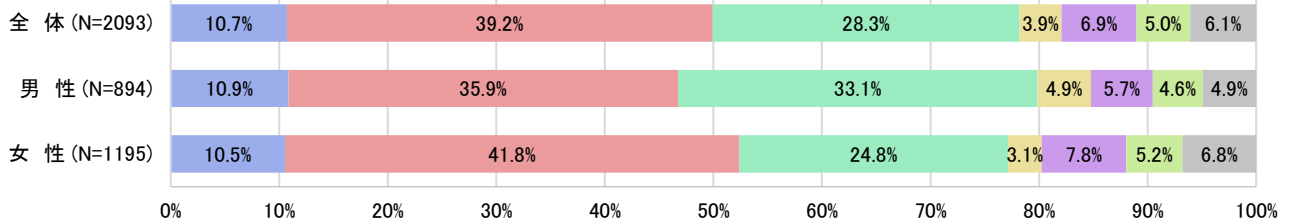


(※) ここでいう「延命医療」は、治る見込みがなく死期が迫っている方に対し、人工呼吸器や中心静脈栄養、胃ろう等を生命の維持のためのみに行うものを指します。

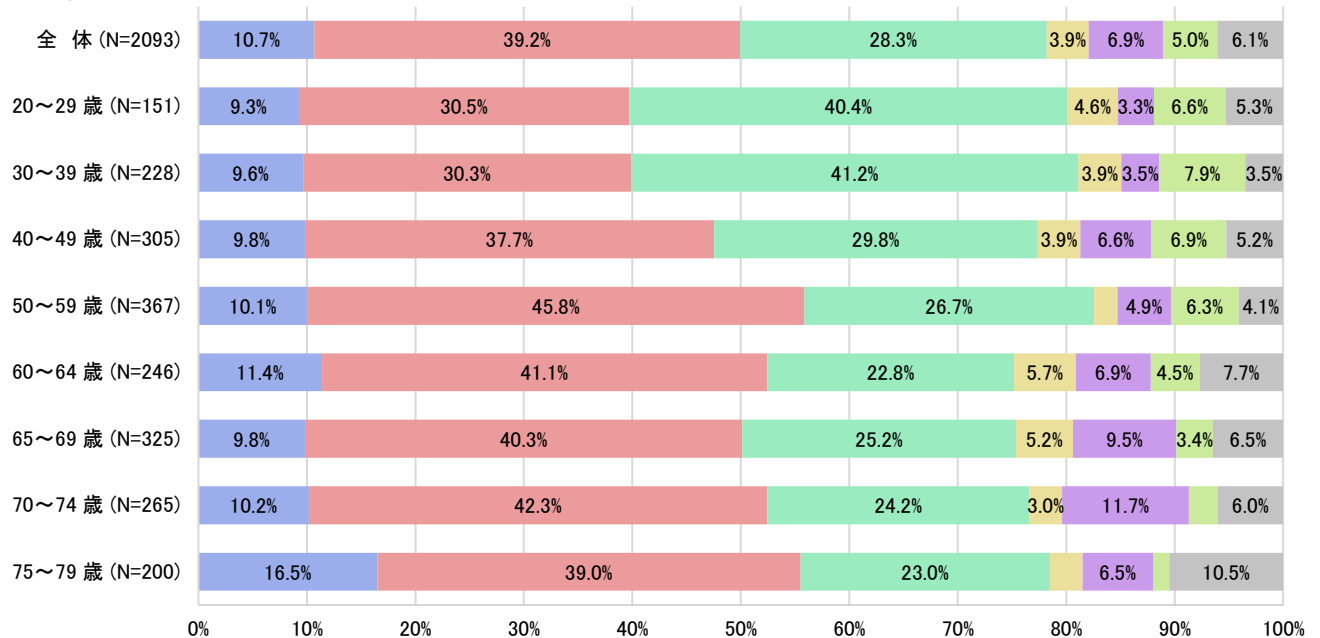
問49 あなたは、自分の最期をどのように過ごしたいと考えていますか。

- 人生の最期の過ごし方については、全体では「自宅で療養して、最後は医療機関に入院したい」(39.2%)が最も多く、次いで「自宅で最後まで療養したい」(28.3%)となっています。
- 年齢層別では、20～30歳代では「自宅で最後まで療養したい」との回答が、その他の年齢層では「自宅で療養して、最後は医療機関に入院したい」との回答が、それぞれ最も多くなっています。

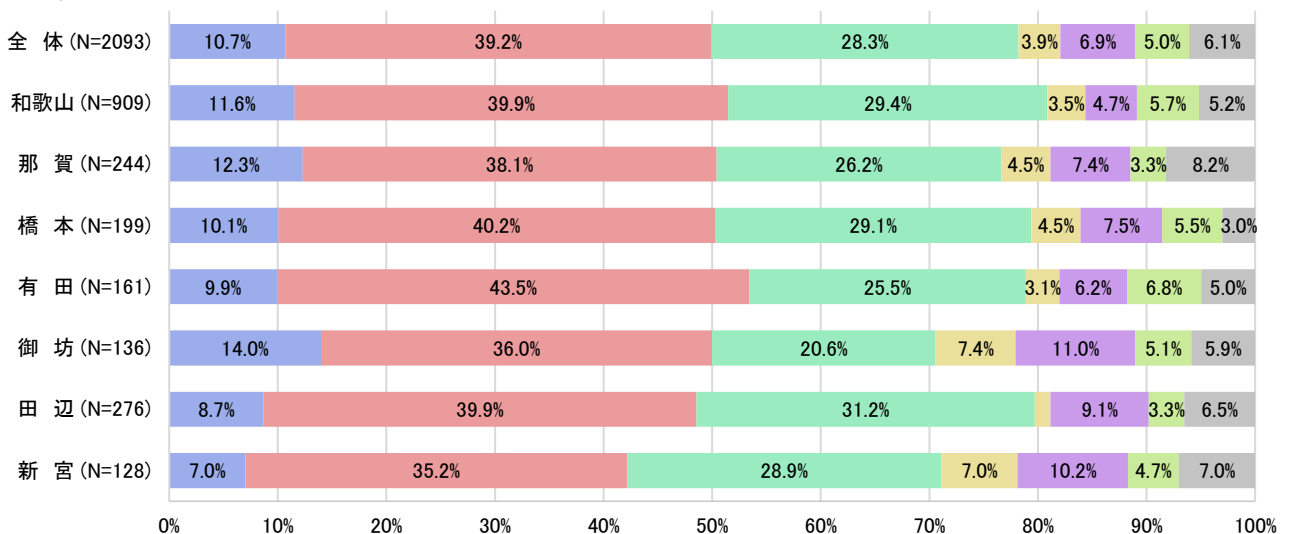
男女別



年齢層別



保健医療圏別



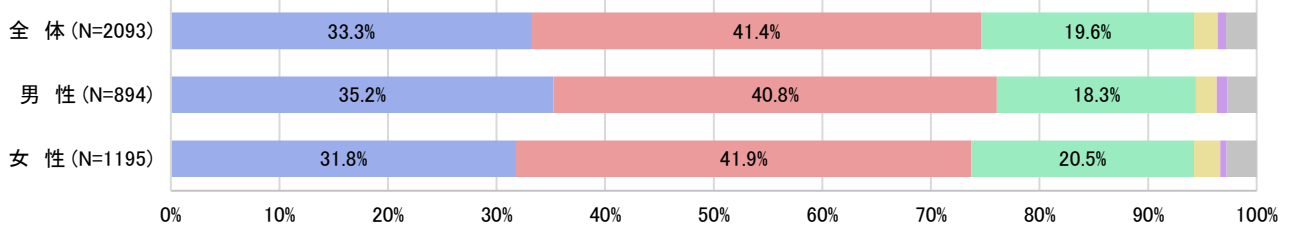
- なるべく早く医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、最後は医療機関に入院したい
- 自宅で最後まで療養したい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい
- 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい
- その他
- 無回答

### 13 地域の医療提供体制について

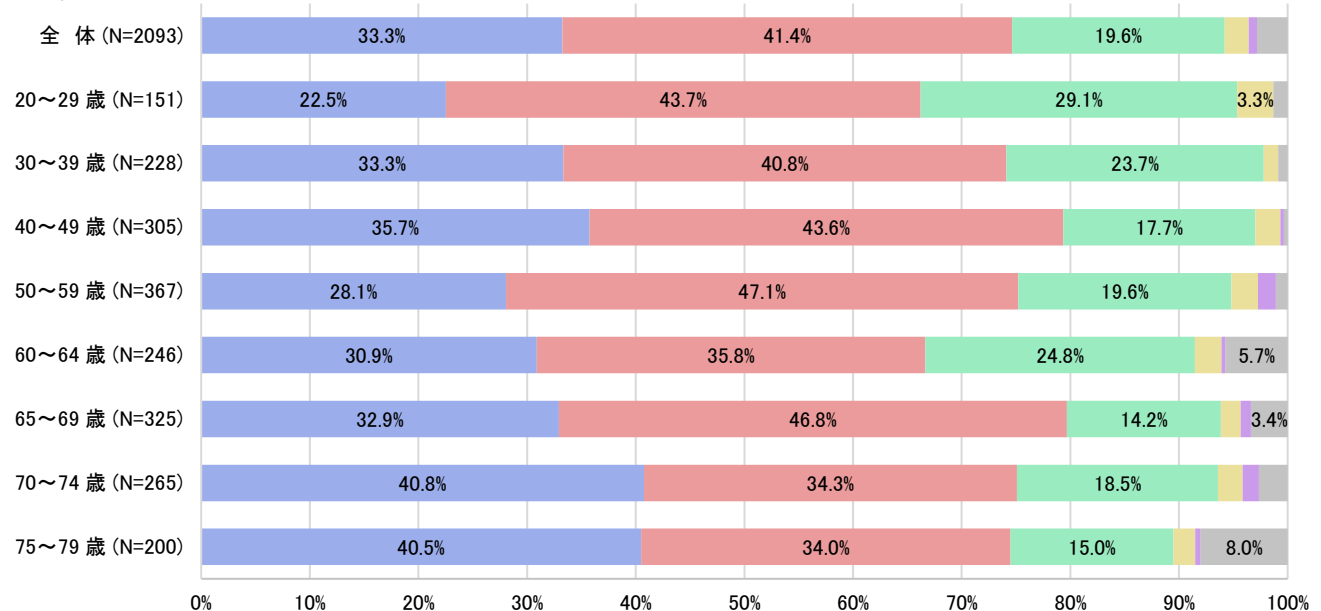
問50 「比較的軽い病気やけがについては、患者の近くの診療所が治療を受け持ち、比較的大きな病院は、病状が進んだ患者の治療に専念すべきである」という考えについて、あなたはどのように思われますか。

- 「比較的軽い病気やけがについては、患者の近くの診療所が治療を受け持ち、比較的大きな病院は、病状が進んだ患者の治療に専念すべきである」という考え方については、「大いに賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせると、全体の7割強となっています。
- 一方、「どちらともいえない」との回答も、約2割を占めています。

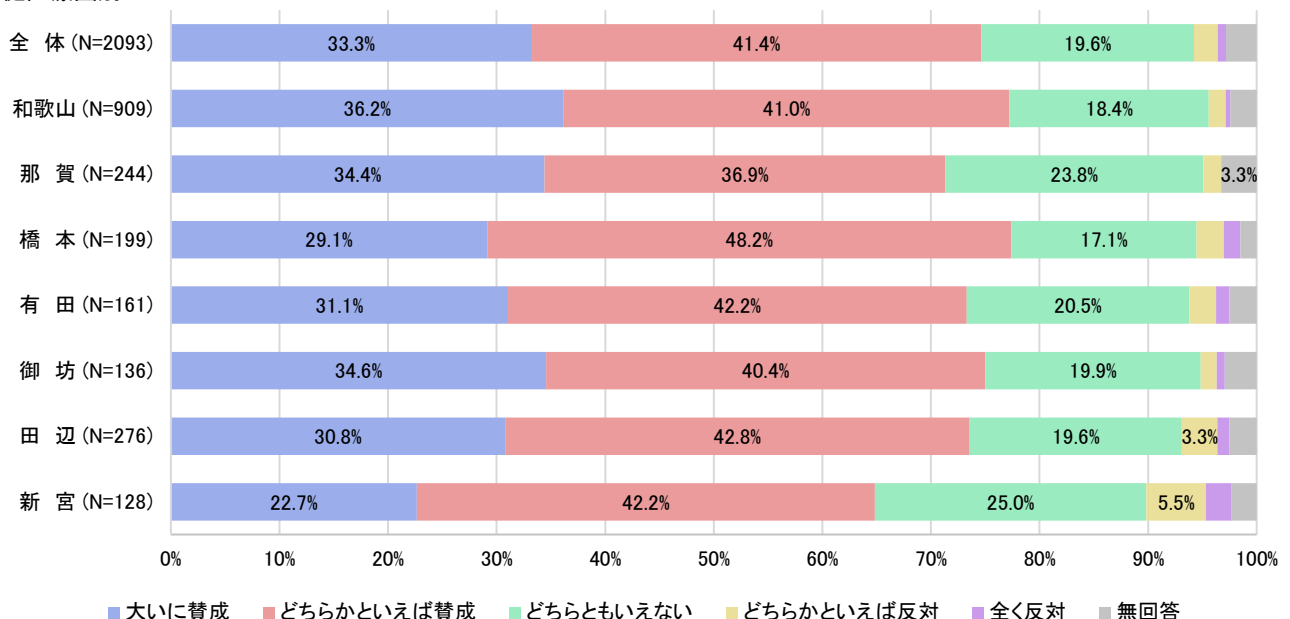
#### 男女別



#### 年齢層別



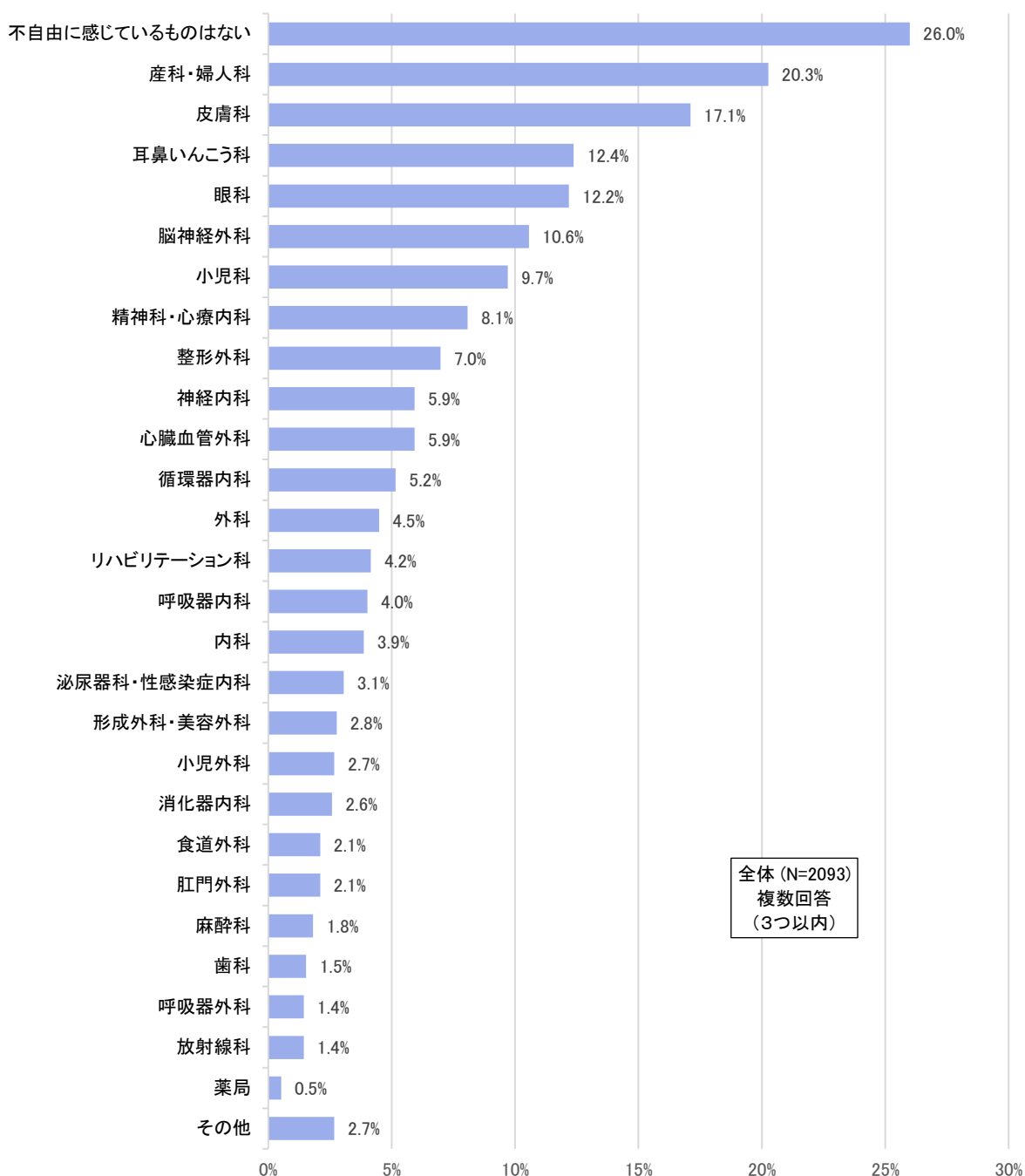
#### 保健医療圏別





問51 あなたのお住まいの地域で、受診する医療機関が無い、あるいは不足しているため必要と感じている診療科等は、下記のどれですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- 地域で不足しており必要と感じている診療科については、「不自由を感じているものはない」(26.0%)との回答が最も多くを占めており、以下、「産科・婦人科」(20.3%)、「皮膚科」(17.1%)、「耳鼻いんこう科」(12.4%)の順となっています。
- 年齢層別で最も多かった回答は、30歳代から60歳代前半にかけては「産科・婦人科」、その他の年齢層では「不自由に感じているものはない」となっています。
- 保健医療圏別では、那賀、橋本、有田、御坊の各圏域において「産科・婦人科」との回答が最も多くなっており、特に有田圏域において、その割合が高くなっています。



### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                | 2位    |                | 3位    |     |
|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|-----|
|                | 割合(%) | 項目             | 割合(%) | 項目             | 割合(%) | 項目  |
| 男性<br>(N=894)  | 31.3  | 不自由に感じているものはない | 14.5  | 産科・婦人科         | 12.4  | 皮膚科 |
| 女性<br>(N=1195) | 24.6  | 産科・婦人科         | 22.0  | 不自由に感じているものはない | 20.7  | 皮膚科 |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

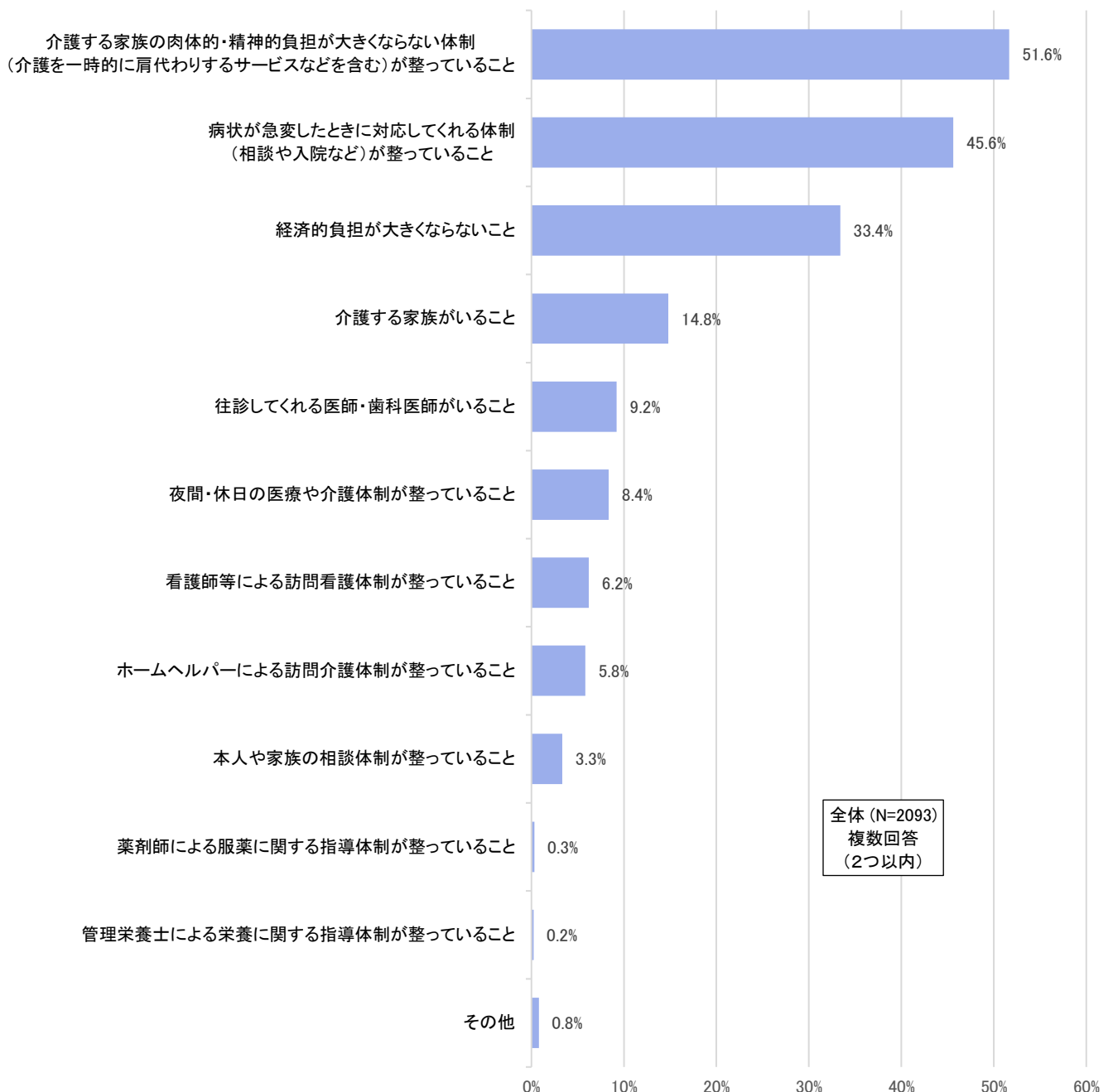
| 年齢層                | 1位    |                | 2位    |                | 3位    |                |
|--------------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|
|                    | 割合(%) | 項目             | 割合(%) | 項目             | 割合(%) | 項目             |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 31.8  | 不自由に感じているものはない | 21.2  | 産科・婦人科         | 15.9  | 皮膚科            |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 29.8  | 産科・婦人科         | 26.8  | 皮膚科            | 21.9  | 不自由に感じているものはない |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 24.9  | 産科・婦人科         | 23.3  | 不自由に感じているものはない | 20.7  | 皮膚科            |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 24.3  | 産科・婦人科         | 21.0  | 不自由に感じているものはない | 20.2  | 皮膚科            |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 26.0  | 産科・婦人科         | 22.8  | 不自由に感じているものはない | 15.0  | 皮膚科            |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 29.5  | 不自由に感じているものはない | 15.4  | 耳鼻いんこう科        | 14.8  | 産科・婦人科         |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 30.9  | 不自由に感じているものはない | 11.7  | 皮膚科<br>耳鼻いんこう科 |       |                |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 31.0  | 不自由に感じているものはない | 10.5  | 皮膚科<br>耳鼻いんこう科 |       |                |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |                          | 2位    |                          | 3位    |                |
|----------------|-------|--------------------------|-------|--------------------------|-------|----------------|
|                | 割合(%) | 項目                       | 割合(%) | 項目                       | 割合(%) | 項目             |
| 和歌山<br>(N=909) | 33.3  | 不自由に感じているものはない           | 15.4  | 皮膚科                      | 14.2  | 産科・婦人科         |
| 那賀<br>(N=244)  | 25.0  | 産科・婦人科                   | 18.9  | 不自由に感じているものはない           | 16.8  | 皮膚科            |
| 橋本<br>(N=199)  | 24.6  | 不自由に感じているものはない<br>産科・婦人科 |       |                          | 17.6  | 皮膚科            |
| 有田<br>(N=161)  | 45.3  | 産科・婦人科                   | 24.8  | 皮膚科                      | 15.5  | 耳鼻いんこう科        |
| 御坊<br>(N=136)  | 26.5  | 産科・婦人科                   | 25.0  | 皮膚科                      | 23.5  | 不自由に感じているものはない |
| 田辺<br>(N=276)  | 25.4  | 眼科                       | 21.4  | 不自由に感じているものはない           | 18.1  | 産科・婦人科         |
| 新宮<br>(N=128)  | 18.0  | 耳鼻いんこう科                  | 16.4  | 不自由に感じているものはない<br>産科・婦人科 |       |                |

問52 在宅医療(入院以外の医療)や看護について。あなたが自宅での医療や介護を受け入れるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを2つまでお選びください。

○ 自宅での医療や介護を受け入れるために必要なこととしては、「介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること」(51.6%)が最も多く、以下「病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること」(45.6%)、「経済的負担が大きくなること」(33.4%)が続いています。



### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                                  | 2位    |                             | 3位    |               |
|----------------|-------|----------------------------------|-------|-----------------------------|-------|---------------|
|                | 割合(%) | 項目                               | 割合(%) | 項目                          | 割合(%) | 項目            |
| 男性<br>(N=894)  | 47.7  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること | 43.2  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること | 35.3  | 経済的負担が大きくなること |
| 女性<br>(N=1195) | 54.7  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること | 47.5  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること | 32.1  | 経済的負担が大きくなること |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |   | 2位    |                                  | 3位    |               |
|--------------------|-------|---|-------|----------------------------------|-------|---------------|
|                    | 割合(%) | 項目  | 割合(%) | 項目                               | 割合(%) | 項目            |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 50.3  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること<br>介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること |       |                                  | 33.1  | 経済的負担が大きくなること |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 55.3  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること                                | 50.4  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること      | 39.0  | 経済的負担が大きくなること |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 58.4  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること                                | 43.0  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること      | 39.3  | 経済的負担が大きくなること |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 60.2  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること                                | 44.7  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること      | 33.2  | 経済的負担が大きくなること |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 50.8  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること                                | 48.0  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること      | 36.6  | 経済的負担が大きくなること |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 52.3  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること                                | 44.9  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること      | 31.7  | 経済的負担が大きくなること |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 43.8  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること                                | 41.1  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること      | 33.2  | 経済的負担が大きくなること |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 48.0  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること                                     | 34.0  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること | 18.5  | 経済的負担が大きくなること |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

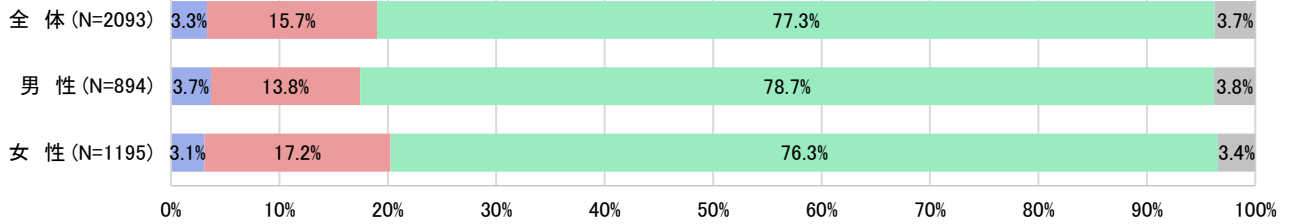
| 保健医療圏          | 1位    |                                  | 2位    |                             | 3位    |               |
|----------------|-------|----------------------------------|-------|-----------------------------|-------|---------------|
|                | 割合(%) | 項目                               | 割合(%) | 項目                          | 割合(%) | 項目            |
| 和歌山<br>(N=909) | 54.0  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること | 46.1  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること | 33.2  | 経済的負担が大きくなること |
| 那賀<br>(N=244)  | 50.8  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること | 45.1  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること | 36.9  | 経済的負担が大きくなること |
| 橋本<br>(N=199)  | 51.8  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること | 49.2  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること | 30.7  | 経済的負担が大きくなること |
| 有田<br>(N=161)  | 48.4  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること | 44.1  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること | 31.1  | 経済的負担が大きくなること |
| 御坊<br>(N=136)  | 50.7  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること | 47.1  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること | 28.7  | 経済的負担が大きくなること |
| 田辺<br>(N=276)  | 48.2  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること | 46.0  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること | 37.3  | 経済的負担が大きくなること |
| 新宮<br>(N=128)  | 53.9  | 介護する家族の肉体的・精神的負担が大きくなる体制が整っていること | 42.2  | 病状が急変したときに対応してくれる体制が整っていること | 32.8  | 経済的負担が大きくなること |

## 14 医療行政について

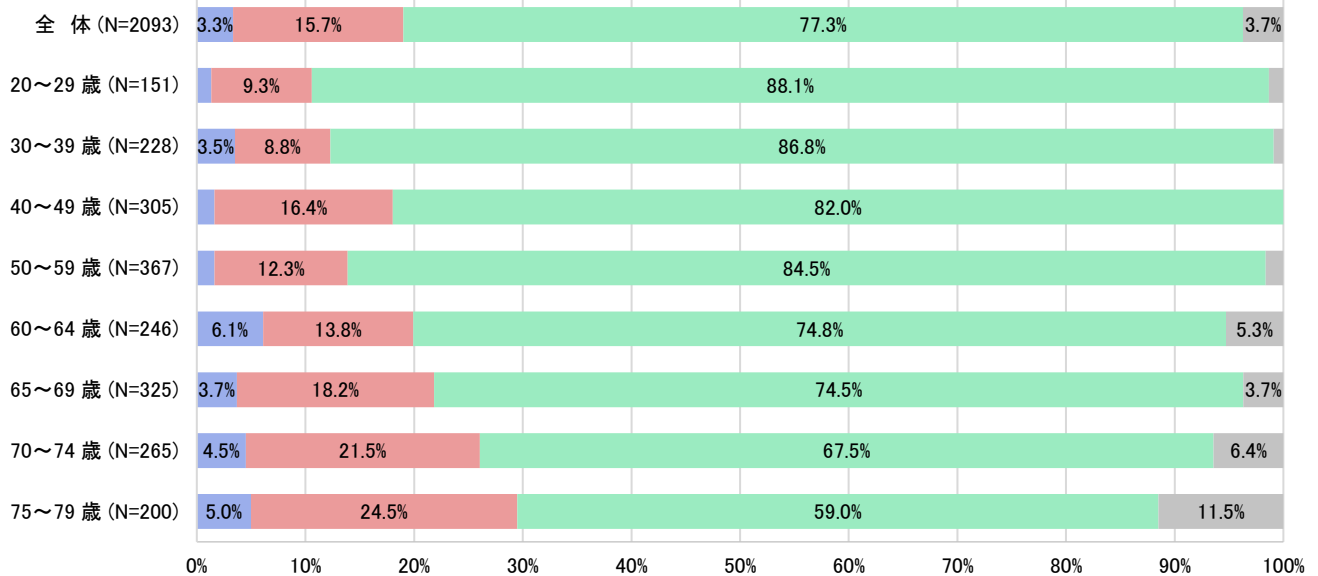
問53 和歌山県では、将来の医療需要を踏まえて、患者の病状に合った質の高い医療提供体制を構築する必要があるため、平成28年5月に「和歌山県地域医療構想」を策定しました(別添パンフレット)。「和歌山県地域医療構想」をご存じでしたか。(注)パンフレットの内容は、巻末の「資料3」をご覧ください。

○「和歌山県地域医療構想」の認知度については、「聞いたことがある」を含めても、全体の2割弱に留まっています。

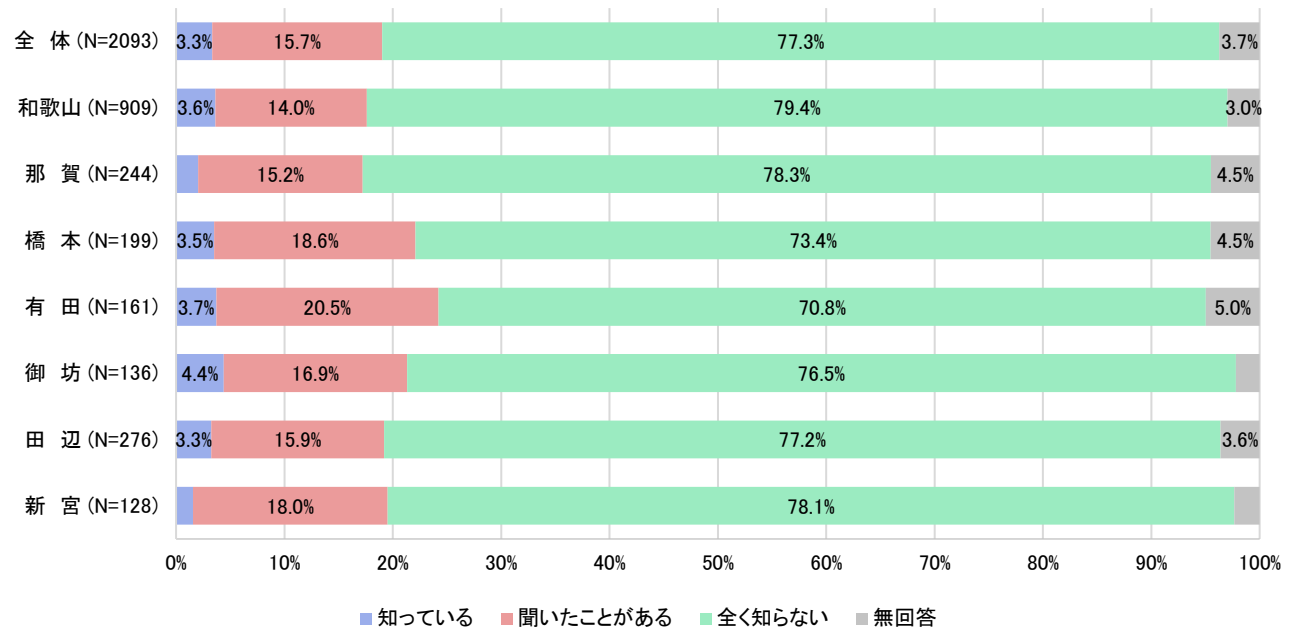
### 男女別



### 年齢層別

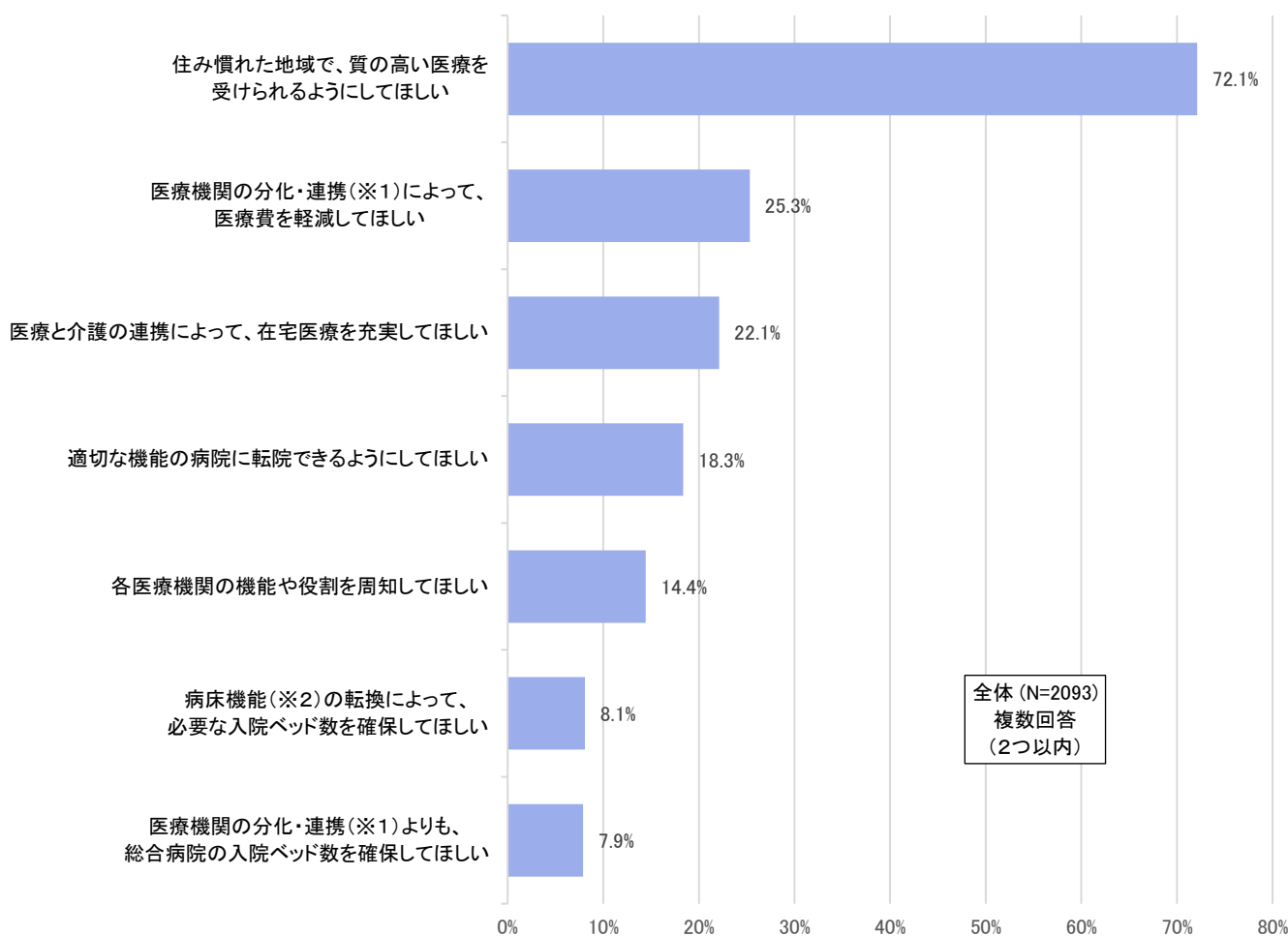


### 保健医療圏別



問54 地域医療構想を踏まえ、今後の地域医療の施策にどのようなことを望みますか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- 今後の地域医療の施策に望むこととしては、「住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい」(72.1%)が最も多く、以下「医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい」(25.3%)、「医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい」(22.1%)が続いています。
- 年齢層別では、「住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい」が、全ての年齢層で7割前後を占めています。また、「医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい」は30～40歳代、「医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい」は70歳代において、比較的高い値を示しています。



(※1) 「医療機関の分化・連携」とは、地域の医療機関がそれぞれ役割を分担し、かつ連携することを意味します。

(※2) 「病床機能」とは、入院ベッドが担う機能をいい、国が区分を定めています。具体的には、救急患者に医療を提供する「急性期機能」、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する「回復期機能」などの区分があります。

### 男女別回答割合 上位3項目

| 男女の別           | 1位    |                               | 2位    |                            | 3位    |                           |
|----------------|-------|-------------------------------|-------|----------------------------|-------|---------------------------|
|                | 割合(%) | 項目                            | 割合(%) | 項目                         | 割合(%) | 項目                        |
| 男性<br>(N=894)  | 71.1  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 24.7  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 22.5  | 医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい |
| 女性<br>(N=1195) | 73.0  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 25.9  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 21.9  | 医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい |

### 年齢層別回答割合 上位3項目

| 年齢層                | 1位    |                               | 2位    |                            | 3位    |                           |
|--------------------|-------|-------------------------------|-------|----------------------------|-------|---------------------------|
|                    | 割合(%) | 項目                            | 割合(%) | 項目                         | 割合(%) | 項目                        |
| 20～29 歳<br>(N=151) | 68.9  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 29.1  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 28.5  | 各医療機関の機能や役割を周知してほしい       |
| 30～39 歳<br>(N=228) | 69.7  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 34.6  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 19.3  | 各医療機関の機能や役割を周知してほしい       |
| 40～49 歳<br>(N=305) | 77.4  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 32.1  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 19.7  | 医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい |
| 50～59 歳<br>(N=367) | 72.5  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 27.2  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 23.2  | 医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい |
| 60～64 歳<br>(N=246) | 75.2  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 24.0  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 18.3  | 適切な機能の病院に転院できるようにしてほしい    |
| 65～69 歳<br>(N=325) | 73.5  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 24.3  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 21.5  | 医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい |
| 70～74 歳<br>(N=265) | 67.5  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 33.6  | 医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい  | 21.5  | 適切な機能の病院に転院できるようにしてほしい    |
| 75～79 歳<br>(N=200) | 70.0  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 28.5  | 医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい  | 19.5  | 適切な機能の病院に転院できるようにしてほしい    |

### 保健医療圏別回答割合 上位3項目

| 保健医療圏          | 1位    |                               | 2位    |                            | 3位    |  |
|----------------|-------|-------------------------------|-------|----------------------------|-------|--|
|                | 割合(%) | 項目                            | 割合(%) | 項目                         | 割合(%) | 項目   |
| 和歌山<br>(N=909) | 68.6  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 27.1  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 22.9  | 医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい                            |
| 那賀<br>(N=244)  | 73.4  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 30.7  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 20.9  | 適切な機能の病院に転院できるようにしてほしい                               |
| 橋本<br>(N=199)  | 76.9  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 20.6  | 医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい  | 19.1  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい<br>適切な機能の病院に転院できるようにしてほしい |
| 有田<br>(N=161)  | 72.0  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 24.2  | 適切な機能の病院に転院できるようにしてほしい     | 23.0  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい                           |
| 御坊<br>(N=136)  | 75.7  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 21.3  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 17.6  | 適切な機能の病院に転院できるようにしてほしい                               |
| 田辺<br>(N=276)  | 73.9  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 27.2  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい | 23.2  | 医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい                            |
| 新宮<br>(N=128)  | 81.3  | 住み慣れた地域で、質の高い医療を受けられるようにしてほしい | 31.3  | 医療と介護の連携によって、在宅医療を充実してほしい  | 17.2  | 医療機関の分化・連携によって、医療費を軽減してほしい                           |

## 15 医療に関する意見について

問55 ここまでご回答いただいた内容を踏まえ、医療に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

<主なものを抜粋>

- 今後の医療の充実に期待すること等
  - ・ 引き続き、住み慣れた地域で安心して質の高い医療を受けたい。
  - ・ 命に関わる医療に関しては、地域格差を無くしてほしい。
  - ・ 救急時の対応をしっかりしてほしい。特に、緊急性の高い病気に罹患する場合もあるので、最善の対応をしてくれる医療機関の確保を最優先してほしい。
  - ・ 高齢者が今後増えていくので、在宅医療をさらに充実してほしい。
  - ・ へき地(過疎地)における医師や医療の充実をお願いしたい。
  - ・ 近くの病院から産科が無くなり、近くの診療所から小児科が無くなった。子供を持つ親として、近くに小児科がないことは不便に感じている。
  - ・ 都会に比べて、医療の質が劣るようなことのないようにしてほしい。
  - ・ 県内全体で平均的に充実した医療体制を求めたい。紀南地方が置き去りでは困る。
  
- 医療機関に期待すること等
  - ・ 身近な医療機関では診療科に偏りもあるので、診療科を充実してほしい。
  - ・ 総合的な医療を充実してほしいと思う。
  - ・ 大病院の負担を軽減し、医師の就労時間を短縮するべき。開業医と大病院との間の役割分担を明確にする方がよい。
  
- 医療従事者に期待すること
  - ・ スタッフがいなければどうにもならない。医療従事者の確保が重要。
  - ・ 在宅医療を任せられる医師を増やしてほしい。
  - ・ 今回のアンケートにより、かかりつけ医の重要性を認識できた。
  - ・ 医療従事者の技術には残念ながら個人差も大きい。今後の資質向上等を期待。
  - ・ 地域の医師が高齢化してきており不安。しっかりと医師の確保を。
  
- がんに関して
  - ・ がん検診については、機会の拡充など更なる充実をお願いしたい。
  - ・ がん検診の助成対象を引き下げることで、さらに早期発見につながるのでは。
  
- 地域医療構想について
  - ・ 構想を構想で終わらせないようにしっかりと取り組んでほしい。
  - ・ 急性期を受け入れる病床が減少していくことには不安を感じる。
  - ・ 地域においてバランスの取れた病床の確保と、在宅医療を同時に充実してほしい。
  - ・ 地域医療構想だけでなく、福祉や介護についても同時に充実してほしい。
  - ・ 地域住民の理解が必要。各医療機関の機能や役割を周知することも重要と思う。



○ 「人生の最終段階における医療」について

- ・ 人生最終段階の医療に関して考えるよい機会となった。
- ・ 人生最終段階の医療に関しては、社会が引き受ける体制の充実が求められる。そのためには行政、地域、家族が一体となって取り組む必要がある。

○ その他

- ・ 住民に呼びかけ、住民の意識を変えていくことは大事。啓発は重要。
- ・ 生活習慣病改善や、喫煙による肺がんリスクなどを、学校教育等においても小さい子供の頃から教えていく必要がある。
- ・ 健康のすばらしさを伝えるイベントの開催等を期待。
- ・ 「セカンド・オピニオン」についても広めていくべき。
- ・ 延命治療に多額の医療費が投じられていることも問題。
- ・ 風邪などの軽い症状でも大病院を受診する患者も多く、住民自身も医療費負担等も考えながら今後対応していく必要があるのでは。

